

令和6年度使用小学校教科用図書 調査研究報告書

国語 pp.1-3	音楽 p.22
書写 pp.4-6	図画工作 . . pp.23-24
社会 pp.7-9	家庭 p.25
地図 pp.10-11	保健 pp.26-28
算数 pp.12-14	外国語 . . . pp.29-31
理科 pp.15-17	道徳 pp.32-34
生活 pp.18-21	

令和5年7月

大分市教科用図書調査研究員会

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (国語)

報告者 部長：中西 勇

副部長：射場 雅子

発行者番号	2
発行者名	東京書籍
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習(言語活動等)が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・学習指導要領及び子どもの能力等に応じた単元・題材の構成、取り上げ方になっており、適切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の冒頭に「言葉の力」として身に付けさせたい内容が短い言葉で示されているため、最終目的を意識して学習に取り組める。 「読む」→「書く」の結び付きが自然である。 <p>②・単元末に、その単元で付けたい力が端的にまとめられており、習得すべき内容が明確に示されている。</p> <p>③・単元で身に付けたい力を「言葉の力」として位置付けており、何を学ぶかを捉えやすく、学習活動の充実が図られている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「見通す」「取り組む」「振り返る」の学習の流れが明示されている。 振り返りでは「言葉の力」を踏まえて図やイラストとともに記述されており、学習のポイントが分かりやすい。 <p>④・「本は友だち」「こんな本もいっしょに」では、豊富な図書紹介で、読書に親しむ習慣と態度を育むことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学習の流れ」を明示し、子どもの活動や思考の流れが具体的に記述され、子どもに見通しをもたせたり、学習意欲を喚起したりできるようになっている。 「国語ノートの作り方」「デジタルノートの作り方」が提示され、学習に生かすことができる。
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・学年相応の文章表現であり、発達の段階に応じ指導内容ごとに吟味され学習効果が高まるように工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2年までは、全単元分から書きで表現されている。 1年下巻における1ページの文字数は10行、150字程度で、適当な分量である。 新出漢字の読みを太字で強調し、読みと送り仮名の区別を分かりやすくしている。 1、2年では、通常より太い字体で表記し、読みやすくしている。 ユニバーサルデザインフォントを採用している。 <p>②・巻末付録として、デジタル資料の活用・読書教材・学習用語・言語事項・学習の系統表など示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年間、ともに学習していくキャラクターを登場させ、子どもが楽しく学習できるようにしている。 全学年、紙面上に二次元コードが多く掲載されており、動画・漢字の練習など様々な学習で活用できるようになっている。 上巻に国語ノートの作り方(第3学年以降はデジタルノートの作り方も導入)、話し合いの進め方を発達の段階に応じて示している。
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・発達の段階に応じ、指導内容ごとに吟味され、学習効果が高まるように工夫されている。(カラーユニバーサルデザインが配慮されている)</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容に応じて適切な挿絵・図表・統計資料・写真が配置されている。 <p>②・B5版 1年～4年上下分冊、5年～6年1冊</p>
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p> <p>(1)「情報の扱い方に関する事項」の内容</p> <p>(2)「A話すこと・聞くこと」の内容</p> <p>(3)「B書くこと」の内容</p> <p>(4)「C読むこと」の内容</p>	<p>(1)・2年以上において、「書くこと」単元の前に、「情報のとびら」を設け、ポイントを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「デジタルノートの作り方」にある二次元コードを読み取った中に、座標軸やベン図等の具体例が示されている。 6年に「インターネットの投稿を読み比べよう」という教材が設定されている。 <p>(2)・「話すこと・聞くこと」は発達の段階に応じたテーマが設定されており、学習を広げることができる。</p> <p>(3)・「書くこと」の学習内容は、読み物教材との接続や他教科との関連が図れる題材で、子どもたちが必然性をもって臨むことができるようになっている。また、発達の段階を考慮して、多彩な文種、言語活動が系統的にバランスよく配置されている。身近でタイムリーで興味深い、誰もが取り組んで書きたくなる題材が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元にメモ等を活用した構成の検討や記述の整理、マッピングを用いた言葉の選択がなされている。 思考を広げたり整理したりするために、メモやカード、図表などを発達の段階に応じて例示している。 <p>(4)・「読むこと」では、学習過程を「見通す」→「取り組む」→「振り返る」として課題解決的な構成にしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」では、単元の導入に大きなイラストや写真が用いられ、教材への興味・関心を引き出す工夫がある。
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・4～6年は、学力調査で「書くこと」領域に課題が見られる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」の教材数は37。 単元冒頭の大きな写真や絵、ページいっぱいの魅力的なモデル作品が提示され学習への期待感を引き出している。 付けたい力が「言葉の力」として明示され、学習のポイントが分かりやすい。 付箋や共有アプリの活用を想定した具体的なメモづくりの例が提示されている。 「言葉の力」を身に付ける土台となる大切な語彙や文法に特化した小教材「言葉の相談室」が設定されている。指導事項を焦点化して書く活動を取り入れ、実の場で使える表現を増やす工夫がなされている。 子どもたちが苦手とする条件作文(6年 p.236「どう立ち向かう?もしもの世界」)や文章の書き換え(5年 p.264「わたしの文章見本帳」)などが設定されている。
<p>備考</p>	

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (国語)

報告者 部長：中西 勇

副部長：射場 雅子

発行者番号	17
発行者名	教育出版
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・学習指導要領及び子どもの能力等に応じた単元・題材の構成、取り上げ方になっており、適切である。</p> <p>②・単元末に、その単元で付けたい力が端的にまとめられており、習得すべき内容が明確に示されている。</p> <p>③・「学習のてびき」では、学習の大きな流れが示されており、学び方が分かりやすい。また、下段には、図や例文、解説など学習を支える内容が記されており、学習活動の充実が図られている。</p> <p>・それぞれの単元のめあての下には、言語活動が明記されており、見通しをもって学習に取り組める。</p> <p>④・日常の様々な場面を想定した教材があり、学習意欲を高めている。</p>
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・学年相応の文章表現であり、発達の段階に応じ指導内容ごとに吟味され学習効果が高まるように工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年上巻第4単元（夏休み前までの学習時期にあたる教材）まで分ち書きで表現されている。 ・1年下巻における1ページの文字数は10～11行、150字程度で、適当な分量である。 ・見やすさ読みやすさに配慮したオリジナルフォントが採用されている。 <p>②・巻末付録として、読書教材・図書紹介・言葉の工具箱・言語事項・学習のまとめなど示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間、ともに学習していくキャラクターを登場させ、子どもが楽しく学習できるようにしている。 ・全学年、二次元コードを通じたウェブサイトで、学習時に資料を参照できるようになっている。 ・目次に、SDGsの学習に取り組めるようにマークが記入されている。
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・発達の段階に応じ、指導内容ごとに吟味され、学習効果が高まるように工夫されている。（カラーユニバーサルデザインが配慮されている。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容に応じて適切な挿絵・図表・統計資料・写真が配置されている。 <p>②・B5版 全学年で上下分冊</p>
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p> <p>(1)「情報の扱い方に関する事項」の内容</p> <p>(2)「A話すこと・聞くこと」の内容</p> <p>(3)「B書くこと」の内容</p> <p>(4)「C読むこと」の内容</p>	<p>(1)・2学年以上において、「読むこと」「書くこと」単元の前に、情報に関する単元を設け、ポイントを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」「話すこと・聞くこと」単元の中でマッピングやベン図、表、座標軸等の具体例が示されている。 <p>(2)・「話すこと・聞くこと」では、学習の進め方が示されており、見通しをもって学習に臨める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」に至るまでに準備する構成、事例や事実との結び付け方などの内容が充実している。 <p>(3)・「書くこと」の学習内容は、他教科との関連が図れる題材で、子どもが必然性をもって臨むことができるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元にメモ等を活用した構成の検討や記述の整理、マッピングを用いた言葉の選択がなされている。 ・発達の段階を考慮して、多彩な文種、言語活動が系統的にバランスよく配置されている。 <p>(4)・「読むこと」単元では、「学びの扉」として、学習のめあてと意欲を喚起する一文を示している。（例：2年下巻「スイミー」 うみにはすばらしいものがありました。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」では、学習過程を「たしかめよう」→「くわしくよう」→「まとめよう」→「つたえあおう」としており、内容の定着を図っていくことができる。
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・4～6年は、学力調査で「書くこと」領域に課題が見られる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」の教材数は45。 ・学習過程の中に「読み返す」が明記され、低学年からエラーモデルの修正（2年下巻 p.116）や校正記号（3年上巻 p.65）などが扱われている。 ・重点となる学習ステップでは、「ここが大事」にポイントが明記されている。 ・メモを膨らませたり構成を考えたりする過程では、付箋の書き方や対話の仕方などの具体例が多く、考えの形成の手立てとなっている。 ・書く過程では、接続語や文末表現の文型例が「大事な言い方」として提示されていて、文章を書くときの手掛かりになる。巻末にも、一覧としてまとめられていて活用しやすい。 ・小教材では、付けたい力に特化した学習が設定されている。
<p>備考</p>	

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (国語)

報告者 部長：中西 勇

副部長：射場 雅子

<p>発行者番号</p>	<p>38</p>
<p>発行者名</p>	<p>光村図書出版</p>
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか ②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか ③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習(言語活動等)が充実し、深い学びにつなげることができるか ④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・学習指導要領及び子どもの能力等に応じた単元・題材の構成、取り上げ方になっており、適切である。 ②・単元末に、その単元で付きたい力が端的にまとめられており、習得すべき内容が明確に示されている。 ③・「学習の手引き」では、上段に学習の流れ、下段には具体的に例を挙げ、言葉の着目の仕方を示しており、学習活動の充実が図られている。 ・巻頭には「どうやって学んでいくのかな」という項を設け、みんなで考え、学びを深めていくための学習の進め方を確認し、協働と個の学びを意識させている。 ④・「問いをもとう」で「あなたはどうか考えますか」と問われることにより、主体的に考えることができる。 ・単元末に「いかそう」を設けており、学んだことを他教科の学習や日常生活、読書生活の場面で活用できる。 ・「ふりかえろう」では、「知る」「読む」「つなぐ」の3つの観点から、自分の言葉で振り返り、成長を実感できるように工夫されている。</p>
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか ②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・学年相応の文章表現であり、発達の段階に応じ指導内容ごとに吟味され学習効果が高まるように工夫されている。 ・2年上巻まで分ち書きで表現されている。下巻からは、分ち書きが少しずつ減り、通常の文章へと段階的に移行している。 ・1年下巻における1ページの文字数は10行、150字程度で、適当な分量である。 ・1、2年では、通常より太い字体で表記し、読みやすくしている。 ・ユニバーサルデザインフォントを採用している。 ②・巻末付録として、読書教材・図書資料・学習用語・言語事項・図を用いたまとめ方・学習のまとめなど示している。 ・1年平仮名・片仮名、カタカナ表、3年手紙の書き方・原稿用紙の使い方、5年点字など、発達の段階に応じた指導ができる資料が付いている。 ・巻頭には、学習の進め方の手引きやできるようになりたいことを記入する箇所がある。</p>
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか ②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・発達の段階に応じ、指導内容ごとに吟味され、学習効果が高まるように工夫されている。(カラーユニバーサルデザインが配慮されている。) ・内容に応じて適切な挿絵・図表・統計資料・写真が配置されている。 ②・B5版 1年～4年上下分冊、5年～6年1冊</p>
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか (1)「情報の扱い方に関する事項」の内容 (2)「A話すこと・聞くこと」の内容 (3)「B書くこと」の内容 (4)「C読むこと」の内容</p>	<p>(1)・2年以上において、情報に関する内容について、「関係をとらえよう」「集めて整理して伝えよう」の2系列に整理して示している。 ・巻末に「図を使って考えよう」として、マッピングや座標軸の具体例が示されている。 ・6年に「インターネットでニュースを読もう」という教材が設定されている。 (2)・「話すこと・聞くこと」では、メモや話合いの例とともに、学習の重要なポイントをまとめたり、チェックしたりして、大事なことは何かを考えられるように構成されている。 ・学習活動の終末までモデル例が示されている。 (3)・「書くこと」の学習内容は、読み物教材との接続や他教科との関連が図れる題材で、子どもたちが必然性をもって臨むことができるようになっている。発達の段階を考慮して、多彩な文種、言語活動が系統的にバランスよく配置されている。 ・各単元にメモ等を活用した構成の検討や記述の整理、マッピングを用いた言葉の選択がなされている。 ・子どもの思考の流れに沿って、具体的な手立てが示されている。 (4)・「読むこと」では、単元の導入ページに学習のめあて・既習の関連する学習内容・意欲を喚起する一文を示している。 ・「学習」(手引き)で、「見通しをもとう」→「とらえよう」→「ふかめよう」→「まとめよう」→「ひろげよう」という学習過程を意識して内容の定着を図ることができる。 下段には、言葉に着目して深く学べるように明示されている。 ・説明文は、3年以上で、短い第1教材で身に付けた力を生かして、長い第2教材に取り組めるように構成されている。(例：3年上巻「文様」〔練習教材〕➡「こまを楽しむ」)</p>
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・4～6年は、学力調査で「書くこと」領域に課題が見られる。 ・「書くこと」の教材数は50で、どの学年もバランスよく配置されている。 ・苦手意識をもたせないよう、学年初めに「楽しく書こう」が設定され、書くことを通じて友達とつながり、今後も意欲的に書こうとする素地をつくることことができる。また、日記や授業の振り返りなどの書き方のページが設定され、書くことの日常化を促している。 ・学習の積み重ねを実感できるよう、指導事項を焦点化した小教材「書くときに使おう」が設定され、他の単元で生かせる。 ・単元冒頭で問いから目標を設定し、そのために何をしたらよいかをおさえている。単元の重点箇所では、ポイントをチェックさせたり他に大事なことはないかを考えさせたりするようになっていて、付きたい力を意識しながら学習することができる。 ・目的意識や相手意識を自覚させる導入や、集材や選材の場面の扱いが丁寧で、主体的な学びへの手助けとなっている。 ・付きたい力につながる明確な条件がありながらも、個人の選択の余地やレベルアップの方法もあり、個別最適な学びの充実につながる。 ・対話活動例が具体的、多数かつ多様で、付きたい力につながる活発な交流ができる。 ・巻末付録「図を使って考えよう」では、思考ツールと思考を表す表現をまとめていて、考えを形成したり表現したりする手がかりになっている。 ・言語感覚が身に付くよう、エラーモデルの修正や、推敲前後の例文の比較などが設定されている。</p>
<p>備考</p>	

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (書写)

報告者 部長：渡辺 ゆかり

副部長：羽田野 和尚

<p>発行者番号</p>	<p>2</p>
<p>発行者名</p>	<p>東京書籍</p>
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・書写体操や準備の仕方など丁寧に扱っている。(1年 p.2, 2年 pp.4-5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書写のかぎ」や「たしかめよう」で大切な点を示し、「ふり返ろう」でまとめにつながるようにしている。 ・日常で使う硬筆を導入して扱い、毛筆につながりやすくしている。(3年 p.10, 5年 p.10) ・「とん」「すう」「びたっ」など音声化したり、穂先の向きを分かりやすく表したり、思考が動きとつながりやすくなっている。(3年 pp.13-14) ・「見つけよう」「たしかめよう」「生かそう」「ふり返ろう」の学習過程で学べるようになっている。これまでは「生かそう」で終わっていたが、「ふり返ろう」が加わっている。 ・3年以上の表紙裏に、6年間で学習する内容が書かれており、見通しをもちやすい。 <p>②・「書写のかぎ」右下で筆の運び(3年)、組み立て方(4年)、つながりや文字の大きさ(5年)(6年)など文字を整えて書くポイントが挙げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年はなぞったり、手を重ねてみたりと真似することから習得につながる工夫がある。(1年 p.4 (実物大)) 左利き用も載っている。 <p>③・用紙に合った文字、分かりやすく伝える書き方(6年)など、どちらがよいか比較する活動から、よりよい書き方を自ら考える教材が充実している。(6年 p.20, p22)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書写のかぎ」で1年間学んだことをつなげられる単元構成になっている。 <p>④・「生活に広げよう」では、他教科とつながる「観察カード」「ポスター」「リーフレット」等で日常生活に生かし、まとめと兼ねている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品作りにつなげている。(2年 p.25, 4年 p.38) ・3年から振り返りが、「考えた 分かった 書けた」の3段階が学習指導要領に合っている。 ・1, 2年の振り返りも分かりやすい。自己評価しやすい。
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・文章や文字の大きさは、学年相応である。1・2年は「～しよう。」「～かな。」、3・4・5・6年は「～だろう。」という表現で、着眼点を明確にして取り組めるようになっている。</p> <p>②・1, 2年の課題文字が水色と灰色で構成されている。(色覚特性に配慮されている)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3～6年の巻末に平仮名、片仮名、ローマ字表が載っている。 ・巻末の漢字一覧表には、前学年のものも付いている。必要なものには、筆順も書かれている。 ・書き初めは実物大課題で学習できるようになっている。 ・2～6年の裏表紙には「文字といっしょに」という文字に込めた思いを伝えるページがある。
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・持ち方、姿勢等が写真になっていて分かりやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コウジ」という穂先キャラクターの吹き出しで、学習のポイントを提示している。(3年 p.10) ・運筆方法(1, 2年)を、動物の動作入りで分かりやすく示している。(1年 pp.8-9) ・字を書く姿勢については、写真で示している。(3年 p.6) ・1年の鉛筆の持ち方を合言葉と写真で示している。左手用も写真で大きく掲載している。(1年 pp.4-5) ・手本のページの端にポイントの図が入っている。 <p>②・B5版で机上に置きやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中綴じ製本で開きやすい。 ・ユニバーサルデザイン採用。フォントをより実際の字に近いものにしてている。(色覚問題研究グループ) ・再生紙、植物油インキ使用。 ・環境配慮基準を満たす「グリーンプリンティング認定工場」で印刷。
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・「見つけよう」マークで本時のねらいが示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいを確認する動画が二次元コードで付いており、本時のねらいをキャラクターで説明しているので分かりやすい。 ・新しく習う書写用語や、ポイントとなる言葉、うまく書くためのコツなど、注目してほしい部分を朱書きで書いている。 ・3年より、既習漢字も含めて毛筆で書かれている。(3年 p.42) ・1・2年に水書用紙の付録が付いている。また、その使い方が二次元コードで見られるようになっていて分かりやすい。(1年 p.10)
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・「日常化」の視点…日常につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はじめのがくしゅう」…姿勢や鉛筆の持ち方(左手の持ち方) ・「せいかつにひろげよう」…縦書き横書きの名前、連絡帳、原稿用紙、実験記録、ノート、メモなどより日常的な場面で書写で学習したことを生かして書くよう書かれている。(1年 p.29, 2年 pp.14-15) ・「まなびをいかそう」では「できるようになったよ」(1年 p.44)「ありがとうをつたえよう」(2年 p.38)「はがきでつたえよう」「お礼の気持ちを手紙で伝えよう」など相手を意識させ、書く用紙に変化をもたせている。 ・「ゆっくり書く」「なるべく速く書く」など、メモを取る際などに対応できるよう考えるページがある。(6年 pp.14-15) ②にも関連 ・「書く時の動き」点画のつながりで行書を意識させている。(5年 p.12, p.16) (6年 p.10, p.12) ・文字の変形(6年 P.16)、書いて味わおう 漢文「論語」(6年 p.32)
<p>備考</p>	

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (書写)

報告者 部長：渡辺 ゆかり

副部長：羽田野 和尚

発行者番号	17
発行者名	教育出版
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・「えんぴつの持ちかたあいことば」など伝わりやすい言葉を入れている。（1年 pp.4-7）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの単元も、「めあて」「ふり返ろう」とつながっていて、その学習を生かして硬筆の学習になっている。 ・学習の始めと終わりの変化が分かるように「ためし書き」と「まとめ書き」を取り入れている。 ・着眼点をはっきりしているので、見通しをもって学習を進めることができる。考えようのところが課題になっている。見通しをもちやすい。 ・「とん」、「すうっ」、「びたっ」など音声化したり、穂先の向きを分かりやすく表したり、思考が動きとつながりやすくなっている。 ・つかむ、考える→確かめる→振り返る→生かす、広げるの進め方になっている。 <p>②・「ここが大切」という中で、文字の整うポイントを押さえている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年では「こんなかきかたをしていないかな」とやってしまいがちな書き方を載せている。（1年 p.21, 5年 p.23） <p>③・「どちらの方が読みやすいか」（5年）や作品を見て気付いたことを伝え合う（6年）文字をくらべて話し合う（2年）など話し合い、伝え合う活動が入っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書いて伝え合う活動もある。（6年 p.31, 5年 p.32） ・練習用紙の作り方。 <p>④・手書きポスター、招待状等、人に見せる、伝える単元を取り入れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・りんごマークでめあてとまとめをつなげている。（1, 2年） ・一つのマスをもつ部屋として、どの位置からスタートかなど考える場を与えている。（1年 p.13） ・振り返りが焦点化されている。
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・学年に応じた文字の大きさである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあて「～しよう。」と振り返りの「～かな。」がきちんと明記、対応している。 <p>②・巻末の漢字一覧表には、前学年までのものも付いている。必要なものに、筆順が書かれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に1年は片仮名表、2～4年までは平仮名・片仮名表が、5・6年は平仮名表が付いている。 ・1年の片仮名表には、その文字を使った言葉がイラスト付きで添えられている。（1年 pp.46-47） ・3年の巻頭に毛筆に関する資料が載っている。
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・筆の持ち方、姿勢、穂先の動きなどが写真になっており分かりやすい。（3年～6年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山本先生」「水野先生」「ひな子」「太一」「コアラの『こうちゃん』」「りすの『すうちゃん』」のイラストの吹き出しで、学習事項やポイントを提示している。 ・終筆の方法を、動物の動作入りで分かりやすくしている。（1年 p.10） ・字を書く姿勢については、写真で示している。同ページにタブレット使用時の姿勢にも触れている。 ・1年の鉛筆の持ち方のポイントを、合言葉と写真で細かく示している。 ・左手用の写真も掲載している。 ・手本となるページには、文字のみで図は入れない方針。 <p>②・B5版で机上に置きやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中綴じ製本で開きやすい。 ・ユニバーサルデザイン採用。 ・環境に優しい再生紙、植物油使用。
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・「めあて」がはっきり書かれていて、新大分スタンダードに沿っており、分かりやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物のキャラクターが多く使われており、子どもにとって分かりやすい。 ・「ふりかえろう」欄で、本時の課題について振り返れる。 ・「資料」「ワークシート」「動画」の3種類のコードがある。 ・1, 2年に水書用紙の付録がある。 ・3年では、最初の「準備の仕方」「片づけ方」について写真を多く使って説明するページがある。
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・「日常化」の視点…日常につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はじめのがくしゅう」…姿勢や鉛筆の持ち方（左手にも対応）消しゴムの使い方（1年 p.5） ・高学年からタブレットでの姿勢 ・「レッツトライ」…他教科、普段の生活に書写で学習したことを生かして書くよう書かれている。（3年 p.27） ・「はってん」…次学年での学習内容に触れている。「字の大きさ」（1年 p.39） ・5年「書く時の速さ」で場面に合った書く速さについて考えさせている。②に関連 ・「書いて伝え合おう」では、「ありがとうカード」「招待状」「本の紹介カード」「メモ」、高学年では、「学級新聞」「年賀状」「絵葉書」卒業に向けてなど、相手を意識させた各活動を取り入れている。 ・6年「発展」として「行書」を取り上げている。（p.44）
<p>備考</p>	

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (書写)

報告者 部長：渡辺 ゆかり

副部長：羽田野 和尚

発行者番号	38
発行者名	光村図書出版
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・低学年では書写体操や姿勢・持ち方等を丁寧におさえている。(1年 pp. 4-9)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年「できたかな」、2年「ふりかえろう」、3年以上「たいせつ」というかたちで目標を振り返る場をつくっている。 ・3年以上は、「たいせつ」で、文字を整えて書くためのポイントを言葉と図で視覚的に表している。(3年 p. 16, 6年 p. 12) ・学習の進め方(考えよう→確かめよう→生かそう)を示し、流れが分かるようにしている。(3年以上) ・点画のつながりを分かりやすく点線で示している。(5年 p. 14, 6年 p. 10) <p>②・穂先の向きが分かるように、濃さの違いで示している。(3年 p. 18)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターを取り入れた、「トン・スー」などで、力の入れ具合を示すと同時に、実際の筆先の写真を入れ、穂先の力のかかり具合を見やすくしている。(3年 P. 18) ・タブレットの活用で自分の課題を見付ける。(5年 p. 5) <p>③・「どちらが読みやすいか」など理由も一緒に考えるようにしている。(3年 p. 42)</p> <p>④・「書写を広げたい」で他教科と関連付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs (4年 p. 21), 感染症対策, 防災教育等 (5年 p. 12), 他教科との横断的な教育課程が組みやすい。 ・「書写ブック」(6年)で1～6年までの書写の学習を振り返るページを付け、日常生活に生かせるようにしている。 ・著名人の「私の文字」を掲載し、手書き文字のよさを伝えている。(6年 pp. 44-46) ・今日習う漢字が、他者よりもはっきりと示されている。
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか。</p>	<p>①・学年に応じた文字の大きさである。全体的にシンプルで見やすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいが「～しよう。」と提示され、学習の進め方、「たいせつ」という流れで確かめるようになっている。見通しをもって学習を進めることができる。 ・1, 2年の課題文字が朱色で示されている。 <p>②・巻末に「たいせつのまとめ」という、その学年の学習を振り返るページがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に1年は平仮名・片仮名・漢字表が、2年は1年に加えて数字表もある。 ・3年は平仮名・片仮名表が硬筆と毛筆で分けて書かれている。(3年 pp. 54-55) ・4年～6年は平仮名・片仮名・ローマ字・漢字表が付いており、充実している。 ・3年の巻頭に「毛筆スタートブック」が載っている。 ・6年に、日常の中で生かせるように書写ブックが綴じられている。
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・持ち方、姿勢などが写真になっていて分かりやすい。キャラクター使用も効果的である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「穂先ちゃん」や猫のキャラクターを用いて、穂先の動きや点画のきまり、運筆方法などを、音や動作を付けて提示している。(3年 p. 30) ・1年の鉛筆の持ち方をイラスト・写真と合言葉で細かく示している。左手用は二次元コードから検索できるようになっている。(1年 p. 8, 9) ・字を書く姿勢については、写真で示している。同ページにタブレット使用時の姿勢にも触れている。(1年 p. 6, 7) ・手本のページの端にポイントの図が入っている。(6年 p. 7) <p>②・B5版で机上に置きやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中綴じ製本で机上に置きやすい。 ・ユニバーサルデザイン採用。 ・環境に配慮した紙、植物油使用。他教科との横断的な教育課程が組みやすい。
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・3年の準備、片付けの仕方が分かりやすく写真で載っている。(p. 4, 5, 9)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードは他者よりも多い。 ・1ページがシンプルで見やすい。 ・左手で書く子どもに配慮した、二次元コードでの説明がある。(1年 p. 8) ・1, 2年に水書用紙の付録がある。(枠付きのもの) ・裏表紙に、「先生・保護者の方へ」と、学びの系統性が示されている。また、この教科書を作った方のメッセージを二次元コードで見ることができる。
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・「日常化」の視点…日常につなげる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はじめのがくしゅう」…姿勢や鉛筆の持ち方(左手にも対応)1年からタブレットでの姿勢(1年 p. 7) ・「しよしゃ ひろげたい」…ノート、日記、数字、原稿用紙、手紙、メモなど他教科でも書写で学習したことを生かして書くよう書かれている。 ・「こんなことはないかな」「できているかな」(1～3年, 5年)でよくある書き方を例に挙げ、正しく書くよう示している。 ・5年「書く時の速さ」で場面に合った書く速さについて考えさせている。②に関連(5年 p. 10) ・5年「ことば」の竹取物語で歴史的仮名遣い(p. 18)漢字からひらがな(p. 38) ・6年点画のつながりと読みやすさ(p. 10)筆順と点画のつながり(p. 12) ・6年裏表紙中に「発展」として「楷書」「行書」という言葉を取り上げている。
<p>備考</p>	

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (社 会)

報告者 部長：小野 富広

副部長：大久保 京子

発行者番号	2
発行者名	東京書籍
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・学習指導要領の社会科の目標・学年目標・内容・内容の取扱いを踏まえて、社会的事象を適切に教材化した単元構成になっている。</p> <p>・単元構成は「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、「つかむ→調べる→まとめる→いかす」の順になっている。</p> <p>・各学年巻頭ページで、大単元の学習の流れを紹介しており、発達の段階に応じた学習の進め方を示している。</p> <p>・各学年1単元目の学習問題が設定された後に、「学習の進め方」を紹介しており、発達の段階に応じた学習の進め方を示している。</p> <p>・「まなび方コーナー」が掲載されており、基礎的な知識や資料が活用できるよう配慮されている。</p> <p>・1単位時間の学習内容が見開きページで示され、左ページに「本時のめあて」が位置付けられており、問題解決の意識が途切れないようにしている。</p> <p>②・「まなび方コーナー」が「見る・聞く・ふれる」「読み取る」「表す・伝える」の3観点で表記され、本文と資料を関連させながら読み取りができるよう紙面がレイアウトされている。</p> <p>・その時間ごとのキーワードとして「ことば」を設定し、その単元を学ぶ上で不可欠な社会用語を記述している。また、文章だけでなくイラスト等も合わせて記載することで、視覚的にも理解が深まるようにしている。さらに、6年では本文中で対応する箇所の文字は太字で示されている。</p> <p>・領土に関する記述では北方領土・竹島・尖閣諸島を取り上げ、個別に地図と写真を掲載し、日本固有の領土であることを明記している。（5年上 pp. 14-15, 6年歴史編 p. 153）</p> <p>③・大単元の終わりには、子どもたちが学習したことを多彩な表現活動で「まとめる」場面が設定され、身に付けた知識や技能を活用し、表現する力を付けることができるようになっている。</p> <p>④・6年では持続可能な社会に向けて、「いかす」の場面でSDGsの視点で考える活動が設定され、自分たちにできることなどを考えたり、選択・判断したりする場面がある。</p> <p>・アニメキャラクターを使い、「社会的な見方・考え方」に沿った問いかけがあり、学習意欲を喚起するよう工夫されている。</p>
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・学年の発達の段階に応じた文章である。</p> <p>・6人の登場人物のセリフを中心に本文が構成されており、語り口調の文が多く学年の段階に応じた文である。</p> <p>・文字、行間、鮮明度については、ユニバーサルデザインフォントを使用するなどの配慮がされている。</p> <p>②・巻末に索引を載せてあり、関係ページを活用しやすくしている。3、4年はことば・地名、5年はことば・地名・国名、6年はことば・人物の構成になっている。</p> <p>※収録語数（3年38、4年53、5年242、6年270）</p> <p>・学習場面に応じた学び方を「まなび方コーナー」で具体的に示し、系統的に身に付けられるようにしている。※「まなび方コーナー」の数（3年22、4年16、5年23、6年28）</p>
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・適切に配置されている。</p> <p>・写真や絵、地図やグラフなどの資料が多く、見やすく配置されている。また、カラーユニバーサルデザインの観点から、グラフや地図については見やすいように色調や色の組み合わせの区別がされている。</p> <p>②・本文と資料をはっきりと区別できるようレイアウトされている。また、図版には番号が振ってあり、指導しやすくなっている。</p>
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・各大単元の導入ページに、生き生きと活躍する子どもや働く人々の姿を捉えた大きな写真や資料を掲載することで、共感し、学習意欲を高めるように工夫している。</p> <p>・自然災害についての記載があり、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるようになっている。※（3年0、4年22、5年14、6年10）</p>
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・3年 「はたらく人とわたしたちの暮らし」では、大分県産の「ひろびろいけすプリ」が掲載されている。（pp. 76-77）</p> <p>・4年 「わたしたちの県」では、大分県の形が独特な文章で紹介されている。（p. 11）</p> <p>・5年 「わたしたちの生活と工業生産」の「工業のさかんな地域の生産額と分布」では、地図上に大分市の位置を示している。（下 p. 6）</p> <p>・5年 「わたしたちの生活と工業生産」の「ひろげる」では、大分県の造船所、製鉄所、石油化学コンビナートの位置が示されている。（下 pp. 24-26）</p> <p>・5年 「わたしたちの生活と工業生産」では、大分県日田市のバイオマス発電の写真が掲載されている。（下 p. 38）</p> <p>・5年 下の裏表紙には、地熱発電所として、大分県九重町八丁原発発電所の写真が掲載されている。</p> <p>・5年 「今に伝わる室町文化」では、雪舟が豊後（大分県）を巡ったという記載がある。（歴史編 p. 58）</p> <p>・5年 「戦国の世から天下統一へ」では、1570年ごろの主な戦国大名として、地図中に「大友」の記載がある。（歴史編 p. 65）</p> <p>・6年 「戦国の世から天下統一へ」では、キリシタン大名の印として大友義鎮のものが紹介されている。（歴史編 p. 68）</p> <p>・6年 「戦国の世から天下統一へ」では、ザビエルの足取りとして府内の記載がある。（歴史編 p. 68）</p> <p>・6年 「町人の文化と新しい学問」では、前野良沢の紹介で、中津藩（大分県）の医者であったことが記載されている。（歴史編 p. 94）</p> <p>・6年 「明治の国づくりを進めた人々」福沢諭吉と学問のすゝめの紹介（歴史編 p. 108）</p>
<p>備考</p>	<p>・教科書デジタルコンテンツが随所に示され、豊富な写真や動画、ワークシート、関連しているウェブサイトへのリンク等にアクセスできるようになっている。</p> <p>・5・6年の教科書は、分冊になっている。（5年 上下巻）（6年 政治・国際編、歴史編）</p>

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (社 会)	報告者 部長：小野 富広	副部長：大久保 京子
発行者番号	1 7	
発行者名	教育出版	
1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い	<p>①・学習指導要領の社会科の目標・学年目標・内容・内容の取扱いを踏まえて、社会的事象を適切に教材化した単元構成になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元構成は「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、「つかむ→調べる→まとめる→つなげる」の順になっている。 ・各学年巻頭ページで、大単元の学習の流れを紹介しており、発達の段階に応じた学習の進め方を示している。 ・ページ左部にインデックスがあり、単元の学習の進め方が分かるようになっている。 ・「学びのてびき」が掲載されており、基礎的な知識や資料が活用できるよう配慮されている。 ・1単位時間ごとに「この時間の問い」で始まり、「次につなげよう」で次時の課題を提示することで「問い」が繋がるなど、単元を通して一貫した追究を進められるようになっている。 <p>②・「学びのてびき」が「集める」「読み取る」「表す」の3観点で表記され、本文と資料を関連させながら読み取りができるよう紙面がレイアウトされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「キーワード」を設定し、その単元を学ぶ上で不可欠な社会用語を記述している。また、5・6年では本文中で対応する箇所の文字は太字で示されている。 ・領土に関する記述では北方領土・竹島・尖閣諸島を取り上げ、個別に地図と写真を掲載し、日本固有の領土であることを明記している。(5年 pp.14-18, p.99, 6年 p.230, p.231, p250) <p>③・小単元の終わりには、子どもたちが学習したことをひろげるための話合いの場面「まとめる」が設定され、身に付けた知識や技能を活用し、表現する力を付けることができるようになっている。</p> <p>④・持続可能な社会の実現に向け「SDG s とつなげて考えよう」を設定し、これからの地域や社会、くらしの在り方について考えることができるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6人のキャラクターの吹き出しが「社会的な見方・考え方」の視点や方法を具体的に分かりやすく例示している。 	
2 文章表現・資料等	<p>①・学年の発達の段階に応じた文章である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6人の登場人物のセリフを中心に本文が構成されており、語り口調の文が多く、学年の段階に応じた文である。また、セリフは吹き出し型になっており、本文とセリフの違いが分かりやすい。 ・文字、行間、鮮明度については、ユニバーサルデザインフォントを使用するなどの配慮がされている。 <p>②・巻末に発達の段階に応じ、キーワード一覧若しくは索引を載せて関係ページを活用しやすくしている。(3年46, 4年56, 5年79, 6年292)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習場面に応じた学び方を「学びのてびき」で具体的に示し、系統的に身に付けられるようにしている。(3年21, 4年19, 5年25, 6年26) 	
3 挿絵・図表及び紙質・造本	<p>①・適切に配置されている。また、単元ごとに基本色を変え、単元の違いが分かりやすく工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真や絵、地図やグラフなどの資料が多く、見やすく配置されている。また、カラーユニバーサルデザインに配慮するため、グラフや地図については見やすいように色調や色の組み合わせの区別がされている。 <p>②・本文と資料をはっきりと区別できるようレイアウトされている。また、図版には記号が振っており、指導しやすくなっている。</p>	
4 教科独自の特色や長所	<p>①・各大単元の導入ページに、生き生きと活躍する子どもや働く人々の姿を捉えた大きな写真や資料を掲載することで、共感し、学習意欲を高めるように工夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害についての記載が豊富にあり、自分たちにできることなどを考えたり、選択・判断したりできるようになっている。※(3年0, 4年34, 5年12, 6年14) ・掲載されているキャラクターの中には、車いすを使用している子どもや、外国にルーツをもつと思われる子どもが登場するなど、多様な子どもが互いに協力し合いながら学ぶ様子が掲載されている。 	
5 大分市の子どもの実態	<p>①・3年 「私たちの市の歩み」の単元末「もっと知りたい」のコーナーでは、大分市のメガソーラーが紹介されている。(p.158)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年 「県の地図を広げて」では、福岡県の隣接県として地図上に記載がある。(pp.18-24) ・5年 「未来をつくり出す工業生産」では、大分市を工業のさかんな地域として地図上に示している。(地名のみ)(p.158) ・5年 巻末の「日本の工業生産をふり返ろう」では、大分市を鉄鋼・石油化学がさかんな地域として地図上に示している。(項目と地名のみ)(p.256) ・5年 巻末の「環境にやさしい取り組みをふり返ろう」では、くじゅう坊ガツル・タデ原湿原の位置に「ラムサール条約」の印が記載されている。(印のみ)(p.258) ・6年 「全国統一への動き」では、「主な戦国大名とその領地」として、地図上に「大友」と記載されている。(p.130) ・6年 「全国統一への動き」では、大分にゆかりのあるザビエルの記載がある。※大分の記載なし(p.134) ・6年 「新しい文化と学問」では、前野良沢の紹介で、中津藩(大分県)の医者であったことが記載されている。(p.162) ・6年 「明治の新しい国づくり」では、福沢諭吉と学問のすゝめの紹介がある。※中津藩(大分県)の記載あり(p.181) 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書デジタルコンテンツが随所に示され、豊富な写真や動画、ワークシート、関連しているウェブサイトへのリンク等にアクセスできるようになっている。 	

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (社 会)	報告者 部長：小野 富広	副部長：大久保 京子
発行者番号	46	
発行者名	日本文教出版	
1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い	<p>① 学習指導要領の社会科の目標、学年目標、内容、内容の取扱いを踏まえて、社会的事象を適切に教材化した単元構成になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元構成は「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、「わたし（たち）の問題→学習問題→問題を追究→解決→新たな疑問→さらに考えたい問題→問題を追究→役立てる」の順になっている。 各学年巻頭ページで、大単元の学習の流れを紹介しており、発達の段階に応じた学習の進め方を示している。 左ページ下部（ページ数の横）に「脚注インデックス」（問題を発見する力）（問題を追究・解決する力）（問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力）を設定し、どのような力を身に付ける段階の学習であるかを提示している。また、見開き2ページごとに「わたし（たち）の問題」を示し、その学習問題を集団で追究・解決していく手がかりとして本文や資料が構成されている。さらに、単元末には「さらに考えたい問題」を示すことで、学級全体で話し合ったり、考えたりできるようにし、子どもの考えが深まるようになっている。 「学び方・調べ方コーナー」が掲載されており、基礎的な知識や資料が活用できるよう配慮されている。 1 単位時間ごとに前時からつながっている「学習問題」で始まり、その時間に生まれた課題が次の問題につながるなど、単元を通して一貫した問題解決的な学習を進められるようになっている。 <p>② 「学び方・調べ方コーナー」が「見る・調べる」「読み取る」「表現する」の3観点で表記され、本文と資料を関連させながら読み取りができるよう紙面がレイアウトされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「キーワード」コーナーを設定し、その単元を学ぶ上で不可欠な社会用語を記述している。また、文章だけでなくイラスト等も合わせて記載することで、視覚的にも理解が深まるようにしている。さらに、本文中で対応する箇所の文字は太字のゴシック体で示されている。 領土に関する記述では北方領土・竹島・尖閣諸島を取り上げ、個別に地図と写真を掲載し、日本固有の領土であることを明記している。※記載ページ（5年 p.18, 6年 p.224） <p>③ 小単元の終わりには、子どもたちが学習したことを表現するためのページが設定されており、「学び方・調べ方コーナー（表現する）」などで表現の仕方を提示している。また、深め合う活動に取り組む子どもの姿を示すことで、深い学びを獲得できるようにしている。</p> <p>④ 持続可能な社会の実現に向け「考えよう！SDGs コーナー」や特設ページ「未来につなげる～わたしたちのSDGs」を設定し、SDGs と関連のある現代的な諸問題を子どもが自分事として捉え、よりよい未来をつくるために自分に何ができるかを考えることができるようになっている。また、巻末にシールもあり、17のどの項目と関係があるか判断して貼ることができるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> キャラクターの会話に記号が付いており、疑問や発見が分かりやすく工夫されている。 	
2 文章表現・資料等	<p>① 学年の発達の段階に応じた文章である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 6人の登場人物のセリフを中心に本文が構成されており、語り口調の文が多く、学年の段階に応じた文である。また、セリフは吹き出し型になっており、本文とセリフの違いが分かりやすい。 文字、行間、鮮明度については、ユニバーサルデザインフォントを使用するなどの配慮がされている。 <p>② 巻末に索引を載せてあり、関係ページを活用しやすくしている。また、3～5年はキーワード・地名・国名、6年はそれに加えて主な事柄や人物も載せている。さらに、6年についてはキーワードとして取り上げた言葉に鍵マークも付いており、分かりやすくなっている。※収録語数（3年62, 4年89, 5年95, 6年366）</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習場面に応じた学び方を「学び方・調べ方コーナー」で具体的に示し、指導しやすくなっている。 ※「学び方・調べ方コーナー」の数（3年33, 4年23, 5年19, 6年11）。 	
3 挿絵・図表及び紙質・造本	<p>① 適切に配置されている。また、単元ごとに基本色を変え、単元の違いが分かりやすく工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真や絵、地図やグラフなどの資料が多く、見やすく配置されている。また、カラーユニバーサルデザインに配慮するため、グラフや地図については見やすいように色調や色の組み合わせの区別がされている。 <p>② 本文と資料をはっきりと区別できるようにレイアウトされている。また、図版には番号が振ってあり、指導しやすくなっている。</p>	
4 教科独自の特色や長所	<p>① 各大単元の導入ページに、生き生きと活躍する子どもや働く人々の姿を捉えた大きな写真や資料を掲載することで、共感し、学習意欲を高めるように工夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然災害についての記載が豊富にあり、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるようになっている。※（3年1, 4年40, 5年16, 6年6） 	
5 大分市の子どもの実態	<p>① 大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p> <p>① 3年 「わたしたちのくらしとまちではたらく人びと」では、野菜産地マップに大分県のピーマンが取り上げられている。(p.89)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 4年 「健康なくらしを守る仕事」の「ごみのしよりと活用」では、大分市が扱われている。(pp.32-49) 処理後の灰の一部ををセメントとしてリサイクルする津久見市も掲載されている。(pp.44-46) 5年 「日本の地形や気候」の「日本の地形や特色」では、大分県の由布岳などの位置を示している。(p.22) 5年 「くらしや産業を支える工業生産」の「工場の集まる場所」では、地図上に大分市の位置を示している。(p.140) 6年 「戦国の世の統一」では、ザビエルの日本での足あととして、府内（大分県）に向かったことが記されている。(p.130) 6年 「戦国の世の統一」のコラムでは、「キリシタン大名・大友宗麟（義鎮）」について大きく取り上げられている。(p.137) 6年 「江戸の社会と文化・学問」では、前野良沢の紹介で、中津藩（大分県）の医者であったことが記載されている。(p.154) 6年 「明治の新しい国づくり」では、福沢諭吉の紹介がある。※「中津藩（大分県）」の記載あり (p.176) 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> 教科書デジタルコンテンツが随所に示され、写真や動画、ワークシート、関連しているウェブサイトへのリンク等にアクセスできるようになっている。 	

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (地図)

報告者 部長： 小野 富広

副部長：大久保 京子

<p>発行者番号</p>	<p>2</p>
<p>発行者名</p>	<p>東京書籍</p>
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・構成は、「世界地図・日本地図」「地図帳の使い方」「日本とそのまわり」「都道府県別にみる地図」「世界の地図」「資料図・統計表」「さくいん」となっている。</p> <p>・後半にまとめられている資料は、4年の都道府県や自然災害、5年の日本の自然や産業、6年の歴史などに対応している。</p> <p>・導入学年である3年から始まる外国語活動を意識し、世界の国々の特産物や建造物、世界の「ありがとう」が分かりやすく掲載されている。</p> <p>・日本列島を500万分の1、地方を100万分の1、大都市周辺を50万分の1の縮尺に統一されているため比較しやすい。</p> <p>②・「地図のきまり」「地図の使い方」を、「空からまちを見てみよう」「地図のきまり」「地図帳の使い方」など、8ページに渡って記載し、地図の基本的な見方や使い方を学ぶことができる。</p> <p>・全般的に、5人のキャラクターによる問いや吹き出しを使い、学習の手がかりや地図を見る視点、地域の特徴、確認事項を分かりやすく説明している。</p> <p>・資料は、「日本の自然」「日本の産業」「日本の貿易」「日本の交通」「日本の歴史」「日本の伝統文化」「日本と世界の統計」となっており、充実している。また、「日本の災害」の資料が最後に掲載されている。</p> <p>③・キャラクターのセリフを通して、学習活動やその地図のポイントを説明している。</p> <p>④・「ホップ・ステップ・マップでジャンプ」を新設し、地図を見ながら、クイズや作業に取り組み、楽しみながら地図学習ができるように工夫している。</p>
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用する等の配慮がされている。また、全ての子どもの色覚特性に適応したデザインとなっている。</p> <p>・地図やイラスト等の発色が鮮やかなものが多い。</p> <p>・説明文や地名での振り仮名が適切である。</p> <p>・地図上の文字情報が多く、詳しい。</p> <p>②・「日本の統計・世界の統計」ページでは、表や数字、文字の大きさが適切である。また、項目が、国土に関するもの、農業・工業に関するデータ、国宝や文化財の数、主な農林水産物・郷土料理等で構成され、多くの情報が掲載されている。</p> <p>・世界地図では、海の深さや陸の高さも分かるようになっている。</p> <p>・索引ページでは、都道府県名や県庁所在地を赤字、市町村やそのほかの名所、史跡、世界遺産などを記号で表すなど工夫している。</p> <p>・目次が1ページ目にあり、分かりやすい。</p>
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・pp.1-6には、3年時の地図学習スタートに適した、動物や民族衣装、有名な建物や特産物のイラストが充実している。</p> <p>・地域別に見る地図では、その位置が日本のどの位置なのかを広域の地図で示している。</p> <p>・地域別に見る地図では、イラスト等を多く用い、都道府県の特徴が分かりやすくなっている。</p> <p>・世界の国々の地図では、主な国の料理や動物などのイラストを掲載し、世界の国々をより身近に感じながら学習できるようにしている。</p> <p>・国土に関する統計資料は、2020年のデータが用いられている。</p> <p>②・A4版で見やすい。</p> <p>・重さ347グラム、総ページ102、掲載地図数45、絵地図、鳥瞰図9。</p>
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・「ホップ・ステップ・マップでジャンプ」では、地図学習やそれぞれの地域の特徴を理解するためのクイズが70問掲載され、地図学習に興味をもって取り組めるようにしている。</p> <p>・人物キャラクター（はるき・なつみ・あきと・ふゆか）による説明や問題の投げかけにより、意欲的に学習できるようになっている。</p>
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・大分市の地図には、高崎山のサル、製鉄所、アジやサバ、ICチップなどのイラストがあり、興味を引く内容となっている。</p> <p>・「福岡県とそのまわり」では、大分県・大分市ともに50万分の1の縮尺で大きく掲載されている。</p>
<p>備考</p>	<p>・二次元コードが充実している。</p>

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (地図)

報告者 部長：小野 富広

副部長：大久保 京子

<p>発行者番号</p>	<p>46</p>
<p>発行者名</p>	<p>帝国書院</p>
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・構成は、「世界地図・日本地図」「地図帳の使い方」「広く見わたす地図」「日本とそのまわり」「都道府県別にみる地図」「世界の地図」「資料図・統計表」「さくいん」となっており、充実している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「広く見わたす地図」で日本列島全体を見渡し、「地域ごとの地図」で詳しく調べられるようになっており、発達の段階に応じた配慮がなされている。 ・後半にまとめられている資料は、4年の都道府県や自然災害、5年の日本の自然や産業、6年の歴史などに対応している。 ・導入学年である3年から始まる外国語活動を意識し、世界の国々の特産物や有名な建造物、世界の「あいさつ」が分かりやすく掲載されている。 ・「広く見わたす地図」では、160万分の1、「都道府県を見る地図」では、100万分の1、詳しく見る地図では、50万分の1の縮尺に統一されているため、比較しやすい。 ・3年の発達の段階や関心・意欲を高める工夫として、20ページまでは、文字を大きくしたり、イラストを多く使ったりしている。 <p>②・資料が、「日本の自然のようす」「日本の自然災害と防災」「日本の産業のようす」「日本と世界の結びつき」「日本の歴史」「日本・世界の統計」「さくいん」で構成されており、充実している。特に「日本の自然災害と防災」の資料が充実している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地図のきまり」「地図の使い方」を、「地図の世界へようこそ」「地図ってなんだろう」「地図の約束」「地図の使い方」など、14ページに渡って掲載し、キャラクターの吹き出しとともに、基本的な地図の見方をしっかり学ぶ工夫がされている。 ・「トライ！」コーナーでは、地図の学習における基本的な事項の確認と定着を図ることができるようになっている。 ・領土に関する記述では、北方領土・竹島・尖閣諸島を取り上げ、個別に写真を掲載し、日本固有の領土であることを明記している。(pp. 31-32) ・地図の使い方のところでは、3人のキャラクターと一緒に学習を進めていくように構成され、学習の手がかりや確認事項を分かりやすく説明している。 <p>③・地球的課題を把握し、自分事として解決策を考えられるSDGsの特設ページが設けられ、随所にSDGsのアイコンを設置している。</p> <p>④・「地図マスターへの道」という全100個の問題を通して、いろいろな視点で地図を見ることができ、より主体的な学びにつなげられるようになっている。</p>
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか。</p>	<p>①・「広く見わたす地図」では、記載内容を精選し、大きなイラストを多数掲載し、親しみやすい地図表現になっている。一方、「都道府県を見る地図」では、細かい情報が記載されており、3～6年まで見直しをもって活用できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育やユニバーサルデザインの観点から、色覚特性に配慮した色使いとなるよう工夫している。見やすく、間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。 ・地図の配色が工夫され、土地の高低差や使われ方・地名などの文字が分かりやすい。 ・説明文や地名での振り仮名が適切である。 <p>②・世界地図は、基本的に地勢図であるが、アジア・ヨーロッパだけは国別の色分け地図になっていて分かりやすい。アメリカ合衆国の州地図も掲載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本の統計」では、農産物・工業製品の生産が帯グラフで表されており、それぞれの項目の盛んな地域が一目で分かるようになっている。また、表の項目が豊富で、特に工業生産が鉄鋼・金属、機械、化学、食品の4項目に分類され、より多くの情報を得ることができる。また、一人当たりのごみの排出量や都道府県ごとの森林面積の記載をするなど、くらしと環境についても触れられている。 ・索引ページでは、都道府県名や県庁所在地名、歴史地名、世界遺産を4色で分類し、必要な情報を見付けやすい。 ・目次が1ページ目にあり、分かりやすい。 ・インデックスが右に付いており、地図帳を開くときに使いやすい。
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・pp. 1-6には、3年の地図学習のスタートに適した、世界のあいさつや民族衣装、日本の有名な建物や特産物のイラストが充実している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域別に見る地図では、その位置が日本のどの位置なのかを、広域の地図で示している。 ・地域別に見る地図では、イラスト等を多く用い、都道府県の特徴が分かりやすくなっている。 ・世界の地図では、主な国々の食べ物や有名な建物等などのイラストを掲載し、世界の国々をより身近に感じながら学習することができる。さらに、「集まれ世界の子ども」「世界のSDGs」コーナーを地域ごとに設け、より広い視野で学べる工夫をしている。 ・国土に関する統計資料は、2021年のデータが用いられている。 <p>②・A4版で見やすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重さ372グラム、総ページ132、掲載地図数64、絵地図、鳥瞰図22。
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・クイズ「地図マスターへの道」が100問掲載され、地図を使った学習内容が充実し、意欲的に取り組めるようになっている。また、124ページには、問題に答えるたびにすごろくを進んでいくカードが掲載され、3～6年の4年間を通して充実した学習ができるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物キャラクター（スパロウ先生・ななみさん・りくさん）による説明や問題の投げかけにより、学習に意欲的に取り組めるようになっている。
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・大分市の地図には、高崎山のサル、製鉄所、デジカメ、ICチップなどのイラストがあり、興味を引く内容となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「九州地方北部」では、大分県・大分市も50万分の1の縮尺で大きく掲載されている。
<p>備考</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードが充実している。

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (算数)

報告者 部長：吉永 公一郎

副部長：園田 和彦

発行者番号 発行者名	2 東京書籍	4 大日本図書
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・各単元の導入は、既習事項や身近なものを扱い、そこから課題を設定する構成になっている。 ・まとめに「〇〇と同じように」という文言があることで、統合的に考えられるようにしている。 ・「それなら」という吹き出しがあることで、本時から次時へと発展的に考えられるようにしている。 ・各単元の最後には「学習のしあげ」として、「たしかめよう」で練習問題を扱い、「つないでいこう算数の目」で、その単元で身に付けるべき「数学的な見方・考え方」を扱っている。</p> <p>②・単元の導入では、既習内容を振り返る部分が掲載されており、子ども一人一人が自身の既習内容の定着度を確認できるようになっている。 ・単元末の練習問題では、つまづいた際にどのページに戻ればいいのかを記載し、復習しやすいようにしている。</p> <p>③・思考を図や式に表す活動が本文や特設ページ「考える力をのぼそう」に取り入れられている。 ・既習と同じ考えを促進する吹き出し「同じように考えると」が設定され、既習を生かして考えようとする態度や力を育むことができる。 ・問題解決をした後、さらに発展的に考え理解を深めたり、見方・考え方の価値を再確認したりするための発問「それなら」や、新たな課題を見出す「それなら次は」が新設されている。</p> <p>④・単元冒頭では、内容に関連した学習の動機付け動画が用意されている。 ・よりよく問題解決しようとする姿や、発展的に考えようとする姿が例示されている。 ・日常生活と学習場面を関連付け、意義や有用性を実感できるように工夫されている。</p>	<p>①・学習内容の系統性を考慮した単元配列で、既習事項を想起しながら問題解決ができる構成になっている。 ・毎時間「問題」、「めあて」、「発問」、「まとめ」、「練習問題」という構成で、問題解決学習に沿った流れとなっている。 ・「友だちの式や図を読み取って、どのような考えか説明しましょう」という発問があり、自分にない考え方も理解させるような展開となっている。 ・学習の振り返りでは、「〇〇の考え方は△△のときと同じだと思いました」というような振り返りのひな形を記載し、振り返りの視点をもてるようにしているとともに、既習事項と統合的に考えられるようにしている。</p> <p>②・練習問題では、基礎的・基本的な問題に色を付けることで、取り組む問題を選択できるようにしており、個に応じて取り組めるようにしている。</p> <p>③・主体的・対話的で深い学びを実現するよう、重点となる時間を「じっくり深く学び合おう」と設定し、授業の流れや数学的活動の流れを丁寧に例示している。 ・巻頭に「算数の大切な考え方」のコーナーを新設している。単元内で見方・考え方を働かせて考えた部分には、まとめに「ひらめきアイテム」として提示してあり、巻頭のシートにまとめを記入することで、同じ見方・考え方が使える学習内容をまとめることができるようにしている。 ・単元末の問題に、見方・考え方を確かめる問題がある。</p> <p>④・単元や毎時の導入では、子ども自身が問題や疑問を見いだせるよう題材を工夫している。 ・学習したことを生活に生かすことができるよう題材を工夫している。1～3年では、学習したことを家庭や地域での生活に生かせるように「おうちで算数」が設定されている。</p>
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・「めあて」を？マークと緑色の文字で表記している。「まとめ」は鉛筆のマークと黒太字で緑色のラインで囲まれている。 ・2年以上は、重要な語句には背景に黄色く色付けしたり、練習問題には抜粋をして青く色付けしたりするなどの工夫がみられる。 ・ページ番号を他の数と区別し、色付に白抜き数字で上部に表示している。</p> <p>②・目次に、その単元の前後の学習を明示している。 ・巻頭等の「学びのとびら」の中に、「ノートづくり」を例示している。 ・単元の導入では、日常生活から既習を振り返り、生活に関連した場面や活動を設定している。 ・単元の最後に、「いかしてみよう（活用）」「たしかめよう（補充）」「つないでいこう算数の目（見方・考え方）」の問題を設定し、単元の内容の定着を図っている。これらの問題を解くヒントとなるページ数が書かれており、子どもの主体的な学びにつながるように工夫されている。 ・ブロック化した図によって、アルゴリズムを表現し、プログラミング的思考の土台を築いている。 ・二次元コードのあるところは各ページにDのマークで表示し、学習動機を創出するオープニングムービーや解説動画、表やグラフの作成、図形の操作、補充問題、演習の自動正誤判定などを取り入れている。 ・二次元コードを読み取ると、単元導入のための動画や解説動画、練習問題などにつながり、書き込みや保存ができるように工夫されている。 ・学習者用デジタル教科書発行予定。</p>	<p>①・「めあて」は赤太字で黄色の下線を引き、「発見」として見方・考え方を赤囲みで表示し、「まとめ」は「ふりかえるマーク」と太線で囲んでいる。 ・ページ番号は、枠で囲み太字で下部に表示している。</p> <p>②・目次に、その単元の前後の学習を明示している。 ・巻末には、「〇年の復習」という難易度の異なる補充問題や、「前学年までのまとめ」「数直線図」を設けている。「たしかめ問題」のページには子どもたちが自分で振り返り、チャレンジできる工夫がなされている。 ・単元の最後に「たしかめ問題」を多く設置し、単元の内容の定着を図っている。加えて活用の「算数まとめばこ」というページもあり、子どもたちの興味・関心を高めている。 ・1時間を区切る砂時計マークを表示し、楽しさが広がるコラムを充実させている。 ・1年の上巻では、幼保のつながりを示唆するオープニングページがある。 ・算数の楽しさが広がるコラム「ふくろう先生のなるほど算数教室」では、面白い算数の問題やお話、算数を生かした仕事をしている方へのキャリア教育インタビューが掲載されるなど、算数が社会で生かされていること実感させている。 ・二次元コードのあるところは、タブレットマークで表示し、レディネステスト・単元導入場面動画・解説動画・基礎基本の定着問題、補充問題・チャレンジ問題等につながる。</p>
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>①図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・イラスト、写真、図などカラーユニバーサルデザインで多様性に配慮している。 ・図、表、式等の数学的な表現の価値を強調している。 ・考えを説明するときの手助けとなる図が、多く配置されている。</p> <p>②・書き込みの仕様に適した再生紙、植物油インキ。視認性の高いUD教科書体。 ・1年上のみA4版、中綴じでフラットに開き、ブロック等が置きやすい。それ以外はB5版。 ・6年のみ年間1冊、他学年は年間2冊。</p>	<p>①・写真、図、挿絵が豊富で適切に配置されている。 ・4領域別に、単元名の色を変えて表示している。 ・異文化理解や障がい者理解につながるイラストを採用している。</p> <p>②・再生紙、植物油インキ。カラーユニバーサルデザインに配慮したUDフォントや色使い。 ・1年のみ開きやすいA4版とB5版の2冊、2～6年はB5版年間1冊。</p>
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・巻頭の「学びのとびら」では、教科書の使い方や学習の進め方、ノートのつくり方が分かりやすく示されている。 ・単元の導入は授業の様子のイラストや日常の場面から単元全体の問題設定を行っている。 ・巻末には、「補充問題」や「おもしろい問題にチャレンジ」とともに、これまでに学んだ内容を確認するための「ふりかえりコーナー」を設置している。</p>	<p>①・巻頭には、「学び方」、「ノートの書き方」、「話し方」、「聞き方」、「考え方」を分かりやすく示している。 ・単元の導入は、「新しい学習がはじまるよ」として、日常場面から単元全体の問題設定を行っている。 ・巻末の「プラスワン」には、難易度の異なる補充問題を設けている。</p>
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみが有り、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・図形の学習では、子どもが図形の定義や性質を手掛かりとしながら、自ら作図の仕方を見出すことが大切であることから、作図に用いる道具や既習の図形の特徴と、作図しようとしている図形の特徴を関連付けて考える学習活動を設定している。</p>	<p>①・5年江戸時代の高度な数学・・・大分市の柞原八幡宮の算額 (p.216) ・四則演算については、単に計算で求めるだけでなく、数直線に数を位置付け、それぞれの大きさを捉えさせる工夫がされている。</p>
<p>備考</p>		

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (算数)

報告者 部長：吉永 公一郎

副部長：園田 和彦

発行者番号	1 1	1 7
発行者名	学校図書	教育出版
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>① ・9種類の「考え方モンスター」という親しみやすいキャラクターを載せることで、数学的な見方・考え方を身に付けられるようにしている。</p> <p>・単元の導入では、既習を想起しながら新たな課題が見つかるような展開にしている。</p> <p>・単元末では、「できるようになったこと」で練習問題を扱い、「まなびをいかそう」で発展的問題を扱っている。さらに「考え方モンスターでふりかえろう！」では単元で身に付けた数学的な見方・考え方を振り返ることができるようにしている。</p> <p>・単元末には「算数パトロール隊」でよくある誤答例を示し、子どもがつまづきやすいところを重点的に扱えるようにしている。</p> <p>② ・練習問題には、ヒントとなるページ数を示し、必要に応じて見返せるようにしている。</p> <p>・練習問題で基礎的・基本的な問題は色分けし、個に応じて取り組む問題を選択できるようにしている。</p> <p>③ ・思考力を育むために、多様な考え方を示している。</p> <p>・言葉での説明、図や表を使った説明などの活動を取り入れ、表現力を育むことができるよう配慮している。</p> <p>・学びの中から、見方・考え方を見付けていけるように、代表的な見方・考え方を「考え方モンスター」として具現化し、適宜本文中に示すことによって、子どもが自然に活用できるように工夫している。</p> <p>④ ・導入や各題材において、身の回りや算数の学習の中で疑問に思うことを取り上げ、それを解決したいという気持ちが生まれるようにしている。</p>	<p>① ・単元の導入では、既習事項や身近なものを扱いながら課題を発見していく展開となっている。</p> <p>・「つながるミカタ」で、本時で子どもに使ってほしい数学的な見方・考え方を扱い、それを使って新たな課題を設定したり、課題解決できたりするようにしている。</p> <p>・本時の展開が、「問題」「課題（はてな）」「学びを深める問い（??）」「まとめ（なるほど）」「だったら」となっており、問題解決学習の流れに沿っている。</p> <p>・「よくあるまちがいがい」を示し、子どもがつまづきやすいところを重点的に扱えるようにしている。</p> <p>② ・学年を超えて既習事項を振り返る巻末「学びの手引き」が掲載されており、分らない箇所や関連する内容を振り返りたいときに使うことができる。（技能の習熟、学びのマップ、言葉等）また、前学年までの内容も「まとめアニメーション」で確認することができる。</p> <p>・単元末の練習問題では、知識・技能面の練習問題だけでなく、その問題を解くために必要な数学的な見方・考え方も扱っている。</p> <p>③ ・新たな問いとして「!？」マークがあり、学びをつなげ、深める場を設定していることから、問題解決型の授業展開の組みやすさ、1時間の学びの分かりやすさがある。（新大分スタンダードに沿っている）</p> <p>・学びを深める問い「??」で、学び合いを焦点化し、対話的な学びを通して見方・考え方を深めていけるようにしている。</p> <p>・単元の前半で見いだした数学的な見方・考え方を「つながるミカタ」で顕在化し、後半の学習で自ら活用していく構成になっているため、見方・考え方の働きを実感し、学びが深まるようにしている。</p> <p>・「つながるミカタプラス」では、見方・考え方を領域を超えてつなぎ、算数の学習のコツをつかめるようにしている。</p> <p>④ ・子ども自身の問いの連続「はてな？」→「なるほど！」→「だったら!？」によって、数学的活動を進めることができる。</p> <p>・単元導入の「きっかけ」では、学ぶ意義や目的意識をもって取り組める教材や活動を工夫している。</p> <p>・問題発見力・問題解決力・問題追究力の3つの力に焦点を当てたモデル単元をそれぞれ設定している。</p>
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>① ・「めあて」は葉っぱのマークに黒文字、「まとめ」は花のマークで黒文字を赤枠で囲んでいる。</p> <p>・2年以上は、計算の練習問題の質が変わるところに色が付けられており、取り組みやすい。</p> <p>・ページ番号は、下部に黒文字で表示している。</p> <p>② ・目次に、その単元の前の学習を明示している。</p> <p>・巻頭に「算数の学び方」「ノート名人になろう」「前学年で見つけた見方・考え方」を例示している。</p> <p>・単元の導入では「?を発見」として、日常生活の場面から単元全体の問題設定を行っている。</p> <p>・単元の内容の定着を図るために、巻末には「もっと算数」という補充問題を設けている。</p> <p>・子どもが間違えやすい内容に関しては、「算数パトロール隊」のページで、注意点を示している。</p> <p>・巻末に、その学年で身に付ける考え方を提示している。</p> <p>・二次元コードを表示し、解説動画や補充問題、振り返り等につながる。</p>	<p>① ・「課題」は?マーク、「分かったこと」は!マークで示している。</p> <p>・2年以上は、計算の練習問題の質が変わるところに色が付けられており、取り組みやすいようにしている。</p> <p>・ページ番号は、下部に緑の囲みの中に黒文字で表示している。</p> <p>② ・目次に、その単元の前の学習を明示している。</p> <p>・巻頭に「学びの手引き」、「見方・考え方」、「まなびリンクQRコードの使い方」を例示し、「既習事項とのつながり」のページを設置している。</p> <p>・単元の導入は「どんな学習がはじまるかな」として日常の場面から単元全体の問題設定を行っている。</p> <p>・単元の最後に2段階の補充問題があり、単元の内容の定着を図っている。巻末には「広がる算数（補充と活用）」があり、この問題を解くヒントとなるページ数が細かく書かれている。他にも、「図のかき方」「器具の使い方」「学びのマップ（既習内容）」を例示し、連続写真と説明で詳しくまとめられ、学年の巻末にも載せていて、活用できるように工夫されている。</p> <p>・巻末に、「既習事項のまとめ」がある。</p> <p>・デジタルコンテンツ「まなびリンク」があり、二次元コードを読み取ると、「まとめアニメーション」の解説動画やフラッシュカード、試行錯誤的な操作が可能なシミュレーション、作図や測定手順の動画、プログラミング教材、補充問題、表計算ソフト等につながるようにしている。</p>
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>① ・人権に配慮した写真、図、挿絵が適切に配置されている。</p> <p>・単元の導入が漫画から始まり、イラストや写真を大きく載せている。</p> <p>② ・環境に配慮した紙、植物油インキ。カラーユニバーサルデザインに配慮したUDフォントや色使い。</p> <p>・全学年A B版。</p> <p>・6年のみ年間1冊+別冊（中学校へのかけ橋）、他学年は年間2冊。</p>	<p>① ・人権に配慮した写真・図・挿絵が豊富で適切に配置されている。</p> <p>・子どもの写真や吹き出しによって理解を助ける箇所が多く、効果的である。</p> <p>② ・軽量な再生紙、植物油インキ。カラーユニバーサルデザインに配慮したUDデジタル教科書体や色使い。</p> <p>・全学年B 5版。</p> <p>・1年・5年・6年は年間1冊、他学年は年間2冊。</p>
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>① ・巻頭に、「学び方」、「ノートのつくり方」、「見方・考え方」を分かりやすく示している。</p> <p>・巻頭に、前学年での「〇年で見つけた見方・考え方」が見開きのイラストで示され、既習の振り返りができるようになっており、巻末には、その学年で身に付けた見方・考え方を提示している。</p> <p>・単元の導入は、「はてなを発見」として、日常の場面から単元全体の問題設定を行っている。</p> <p>・巻末の「もっと算数」には、単元ごとに補充問題を設けている。</p>	<p>① ・巻頭に、「学習の進め方」や「見方・考え方」を分かりやすく示している。</p> <p>・2単元目に「ノートの書き方」が示されている。</p> <p>・単元の導入は、「どんな学習がはじまるかな?」として、日常の場面などから単元全体の問題設定を行っている。</p> <p>・巻末の「ステップアップ算数」では、単元ごとに2種類の段階で練習問題を設けている。</p>
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>① ・6年対称・・・都道府県マーク 大分県のマーク (p.23)</p> <p>・6年データの活用・・・ぎょうぎに使う金額 大分市の金額 (p.216)</p>	<p>① ・2年下の表紙裏写真・・・大分市高崎山自然動物園（はこの形）</p> <p>・3年下の表紙裏写真・・・別府市二重式かんらん車（重さ）</p> <p>・6年広がる算数・・・竹田市音無井路十二号分水 (p.267)</p> <p>・四則が混合した計算は、各種調査において子どもがつまづきやすい内容であり、正しい順序で計算ができるように、確実な定着を図ることが大切であることから、補充的な学習や反復練習ができるようにしている。</p>
<p>備考</p>		

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (算数)

報告者 部長：吉永 公一郎

副部長：園田 和彦

発行者番号	6 1	1 1 6
発行者名	新興出版社啓林館	日本文教出版
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・1年では、「すたあと ぶっく」でスタートカリキュラムに対応し、6年の巻末では、総復習し、算数での学びを振り返る場が設けられている。</p> <p>・1時間が「問題」、「めあて」、「類似問題」、「まとめ」、「練習問題」という流れになっており、1問だけ扱って「まとめ」をするのではなく、類似問題を扱って統合的にまとめられるようになっている。</p> <p>・「〇〇を考えると」「〇〇と同じように考えると」等、解決に向けた着眼点が記載されている。</p> <p>・単元末の「ふりかえろう」では、その単元で大切な数学的な見方・考え方が記載されている。</p> <p>②・個に応じて取り組める選択内容の巻末の「学びのサポート」（じゅんぴ、もっと練習、学びをつなげよう）の2部構成になっている。</p> <p>・単元冒頭に既習事項を確認する「じゅんぴ」の問題を設けている。</p> <p>・巻末の「学びをつなげよう」は、前学年までの既習内容を一覧表の形に整理している。</p> <p>③・分かったことを表現したり、より良い方法を考えたりする活動の例示がある。</p> <p>・既習事項を生かす場面では、見通しを立てたり、根拠をもって考えを進めたりする様子を例示している。</p> <p>・学んだことを日常に生かすことができるように「学びをいかそう」のコーナーを設けている。</p> <p>④・身のまわりの事柄や既習事項から、算数の学習へ入っていけるようにしている。</p> <p>・単元末の「やってみよう」では、大切だと思ったことを生かす活動を例示して、学んだことを生かそうとする態度を育めるようにしている。</p>	<p>①・「めあて」と「まとめ」を具体的に示し、学習の流れを明確にしている。</p> <p>・「めあて」の後に「見方・考え方」の記載があり、課題解決へ向けた見通しをもてるようになっているとともに、本時で大切な数学的な見方・考え方が身に付けられるようになっている。</p> <p>②・単元前には、既習事項を確かめる「次の学習のために」を設け、必要な知識・技能を確認することができる。単元末の「わかっているかな」では、〈間違いやすい問題〉〈つまづきやすい内容〉〈見方・考え方をみがこう〉を取り上げ、数学的な見方・考え方や基礎・基本だけでなく、説明的言語事項をおさえる問題を取り上げている。</p> <p>・緑の鉛筆マークの練習問題では、色分けして、基礎的・基本的な問題について、個に応じて取り組めるようにしている。</p> <p>③・キャラクターの吹き出しで、解決の見通しをもったり、ヒントをつかんだりしやすくしている。</p> <p>・「見方・考え方」を提示し、単元末には、振り返ることができるようにしている。</p> <p>・単元末の「学習をたしかに」では各単元の内容を、「算数ジャンプ」では複数の単元や領域を結び付けた内容を用いて、理由や方法などを説明する記述式の問題を扱っている。</p> <p>④・身近な素材を取り上げ、学習に対する興味・関心をもちやすくするとともに、「使ってみよう」では生活と学習をつなぐ工夫がある。</p> <p>・はじめに既習問題(できること)を扱い、未習問題(できないこと)と比較できるようにしている。</p> <p>・「自分でみんなで」では、対話的・協働的な学び合いの場を設け、解決していくような学習の流れを提示している。</p>
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・葉っぱのマークで問いや気付きを示す「めばえ」、つばみのマークで「めあて」、花のマークで「まとめ」を提示している。</p> <p>・ページ番号は、下部に緑色に白抜きで表示している。</p> <p>②・目次に、その単元の前の学習を明示している。</p> <p>・巻末に、前学年までの既習事項の振り返りを設けている。</p> <p>・プログラミングやSDGsに関わる学習、次学年準備のためのおさらい問題がある。</p> <p>・二次元コードを読み取ると、創造的に取り組めるシミュレーション、数字や記号の書き方を動的に示すアニメーション、プログラミング体験、解説動画や誤答例の提示、補充問題、次の単元の準備、創造性を育む動画等につながるようにしている。</p> <p>・子どもの書き込みが保存できる学習者用デジタル教科書（有料）を発行。</p>	<p>①・「めあて」を葉っぱマークと黒太文字にオレンジ色の下線、まとめを花マークで黒文字にオレンジ色で囲んでいる。</p> <p>・ページ番号は、領域ごとに色を変えて、黒文字で表示している。</p> <p>②・目次に、その単元の前の学習を明示している。</p> <p>・巻頭の「算数の学習をはじめよう」には、「学習の仕方」や「ノートのつくり方」「教科書の使い方」を分かりやすく示している。</p> <p>・単元の始めに、既習事項の確認問題、単元の終わりに2段階の補充問題として「たしかめよう（補充）」を設置し、単元の内容の定着を図っている。</p> <p>・「なるほど算数」のコラムで学びを生活に広げている。</p> <p>・巻末に、「算数マイトライ」として「しっかりチェック」、「ぐっとチャレンジ」、「もっとチャレンジ」という難易度の違う3段階の補充問題と「既習内容」がある。</p> <p>・二次元コードを読み取ると、理解を深める動画、アニメーション、解決のヒントや解説動画、補充問題等につながるようにしている。</p> <p>・指導者用デジタル教科書、学習者用デジタル教科書を発行。</p>
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>③ 図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・人権等に配慮した、写真、図、挿絵が適切に配置されている。</p> <p>②・再生紙、植物油インキ。ユニバーサルデザインに配慮したUDフォントや色使い。</p> <p>・1年は、1冊目のワークブック機能を備えた「すたあとぶっく」がA4判、それ以外は全てB5版。</p> <p>・5・6年は年間1冊、他学年は年間2冊。</p>	<p>①・人権に配慮した写真、図、挿絵が豊富で適切に配置されている。</p> <p>②・再生紙、植物油インキ。カラーユニバーサルデザインに配慮したUDフォントや色使い。</p> <p>・全学年B5版。</p> <p>・5・6年は年間1冊、他学年は年間2冊。</p>
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・巻頭に「算数のとびら」として、「教科書の使い方」、「学習の進め方」、「ノートのつくり方」、「考えの進め方」を分かりやすく示している。</p> <p>・単元の導入には、「じゅんぴ」として、日常の場面から単元全体の問題設定を行っている。</p> <p>・吹き出しに、本時の大切な見方・考え方が色を付けて表されている。</p> <p>・巻末の「学びのサポート」（2年以上）には、「学びをつなげよう」の学習のまとめのコーナーがあり、必要に応じて活用することができるようにしている。</p> <p>・「算数ポケット」では、発展的な問題や生活の中での使用例などが書かれている。</p>	<p>①・単元の導入には、「学習のはじまり」として、日常の場面から単元全体の問題設定を行っている。</p> <p>・巻末に単元別の3段階（しっかりチェック・ぐっとチャレンジ・もっとジャンプ）の練習問題がある。</p> <p>・巻末の「学び方ガイド」は、切り離して使えるようになっている。裏面には「算数で使いたい見方・考え方」がまとめられており、自分の考えを表現する手がかりになるように工夫されている。</p> <p>・巻末に既習事項が見開きで示されている。</p> <p>・5、6年については、しおりひもが付いている。</p>
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・5年 整数と小数・・・特急「ゆふいんの森」(p.13)</p>	<p>①・6年 対称な図形・・・大分県のマーク(p.24)</p>
<p>備考</p>		

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (理科)

報告者 部長：野見山 準五

副部長：木下 順由

発行者番号 発行者名	2 東京書籍	4 大日本図書
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・「問題をつかもう」「問題」「予想しよう」「計画しよう」「観察・実験」「観察・実験の結果」「考察しよう」「まとめ」「広げる」という問題解決の過程に沿った構成になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題をつかむための活動や事象提示を「レッツトライ」として位置付けている。 ・「問題」に正対した「まとめ」を位置付けている。 ・その単元と関連がある単元（下学年あるいは同学年）を「思い出そう」で位置付けている。 ・同学年の関連単元はできるだけ学習時期をつなげ、子どもの思考に沿った単元配列になっている。 ・「広げる」で、発展として中学校の学習内容とのつながりが分かるようにしている。 ・安全指導の欄は、「キケンマーク」と色を変えて、見やすく掲載している。 <p>②・単元末に「ふりかえろう」「たしかめよう」を位置付け、基礎・基本の定着を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末にその学年で習得すべき知識をまとめて領域別で掲載している。 ・問題解決において必要な実験器具の使い方や調べ方について動画視聴できるようにしている。 <p>③・「理科の学び方」として問題解決の過程を示し、それぞれの学年で特に育成すべき問題解決の力を明示することで、思考力、判断力、表現力等の育成を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「理科の見方・考え方」が働かせられるようにイラストで示し、深い学びにつながる手立てを提示している。 ・「つかむ」場面では、二次元コンテンツの「話し合いの例」を設け、言語活動が進むような構成になっている。 ・予想や考察等の場面では、必ず登場人物同士が対話をしている様子を示し、対話的、協働的な学習活動場面を提示している。 ・考察する視点が焦点化されていて、事実と解釈を分けて考えられる構成になっている。 ・単元末に「たしかめよう」を位置付け、得た知識を他の場面や生活に活用できるようにしている。 <p>④・単元の始めには見開きで、問題をつかむために必要な写真やイラストを大きく提示し、興味・関心を喚起するよう工夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の始めに「学ぶ前に」、単元末に「学んだ後に」でその単元に関わる知識を書く構成になっており、自らの学びを自覚化できるように工夫している。 	<p>①・「問題を見つける」「問題」「予想」「計画」「観察・実験」「結果」「考察」「結論」という問題解決の過程に沿った構成になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「問題を見つける」ための活動や事象提示が明確に示されている。 ・「問題」に正対した「結論」を位置付けている。 ・その単元と関連がある単元（下学年あるいは同学年）を示している。 ・単元末に、「ふりかえろう」で、子どもが振り返りを書く視点を記載している。 <p>②・単元末に「確かめよう」を位置付け、基礎・基本の定着を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末にその学年で習得すべき知識をまとめて掲載している。（領域別に色分けをしている） ・問題解決において必要な実験器具の使い方や調べ方について動画視聴できるようにしている。 ・巻末にその学年で使用する実験器具の使い方や観察の仕方を「使い方を覚えよう」にまとめている。 <p>③・「理科の学び方」として問題解決の過程を示し、それぞれの学年で特に育成すべき問題解決の力を明示することで、思考力、判断力、表現力等の育成を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「理科の見方・考え方」が働かせられるように「ココに注目」を示し、深い学びにつながる手立てを提示している。 ・予想や考察などの場面では、必ず登場人物同士が対話をしている様子を示し、対話的、協働的な学習活動場面を提示している。 ・単元末に「学んだことを生かそう」を位置付け、その単元で得た知識を他の場面や生活に活用できるようにしている。 ・粒子領域では4年時からイメージ図の例を示し、目に見えない事象をモデル化する術を提示している。 <p>④・単元の始めには見開きで、問題を見付けるために必要な写真を大きく提示し、興味・関心を喚起するよう工夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末に「ふりかえろう」を位置付け、その単元での学びを自覚できるようにしている。 ・「深めよう」や「理科のたまたまばこ」「サイエンスワールド」などで、学習内容を自然や日常生活につなげやすくしている。
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・文章表現が簡潔で分かりやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・行間が適切である。 ・重要語句は太字とアンダーラインで示している。 ・問題解決の過程ごとに色分けをしている。 <p>②・巻末資料の「理科の調べ方を身に付けよう」において、他教科とのつながりや理科のノートの書き方、話し合いの進め方、理科室の使い方、実験器具の使い方など豊富な資料を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入で理科ノートの書き方について二次元コンテンツがある。 ・単元末の「理科の世界探究部」でさらに子どもの興味・関心を高める工夫をしている。 ・画像や動画などコンテンツ数が豊富である。 ・SDGsの関連資料が豊富である。 	<p>①・文章表現が簡潔で分かりやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・行間が適切である。 ・重要語句は太字で示している。 ・問題解決の過程ごとに色分けをしている。 <p>②・巻末資料の「理科の学びに役立てよう」において、他教科とのつながりや下学年とのつながり、理科のノートの書き方や理科室の使い方など豊富な資料を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末の「りかのたまたまばこ」でさらに子どもの興味・関心を高める工夫をしている。 ・画像や動画などコンテンツ数が豊富である。 ・SDGsの関連資料が豊富である。
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・カラーユニバーサルデザインに配慮している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラスト、写真をバランスよく配置している。 <p>②・写真や図、表の大きさが適切で分かりやすい。</p>	<p>①・カラーユニバーサルデザインに配慮している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラスト、写真をバランスよく配置している。 <p>②・写真や図、表の大きさが適切で分かりやすい。</p>
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p> <p>(1) プログラミング教育</p> <p>(2) 自然災害の扱い</p>	<p>(1)・巻末にプログラミング的思考の育成を図った内容を全ての学年で示している。(3年「電気の通り道/じしゃくの性質」p.176, 4年「天気と気温」p.200, 5年「植物の発芽と成長」p.168, 6年「変わり続ける大地」p.200, 「電気と私たちの暮らし」pp.147-150)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・端末などを活用しながら学ぶ場面を設け、ICT機器に親しみ、それらの使い方の基礎を身に付けることができるようになっている。 <p>(2)・自然災害や防災、減災について各学年で扱い、合計15事例扱っている。</p>	<p>(1)・プログラミング的思考の育成を図った内容を示している。(3年「学びをリンク」p.173, 4年「ものの温度と体積」p.149, 6年「私たちの生活と電気」pp.185-189)</p> <p>(2)・自然災害や防災、減災について各学年で扱い、合計13事例扱っている。(「防災」マークで提示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年の巻末に「災害に備えようブック」が付いている。
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・子どもの生活経験不足を補うため、動植物や自然の写真や動画を導入場面で多く用いることにより、子どもの興味・関心を高めている。</p>	<p>①・子どもの生活経験不足を補うため、動植物や自然の写真や動画を導入場面で多く用いることにより、子どもの興味・関心を高めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県の自然の写真を複数枚使用している。
<p>備考</p>		

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (理科)

報告者 部長：野見山 準五

副部長：木下 順由

発行者番号 発行者名	1 2 学校図書	1 7 教育出版
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・単元を「問題を見つける」「予想する」「計画を立てる」「調べる」「整理する」「結果から考える」「まとめる」「いかす」で構成しており、その学習過程をページの端に記載して分かりやすくなっている。</p> <p>・安全指導の欄は、「注意」として色を変えて表示している。</p> <p>・単元の始めに付けたい力をキャラクター付きで示して単元の見通しをもたせるようにしている。また、自己評価を三段階でできるようにしている。</p> <p>・「問題」に正対した「まとめ」を位置付けている。</p> <p>・単元によって感染症対策や災害の写真等、教師や保護者の指導上の配慮が掲載されている。</p> <p>②・基礎的・基本的な知識及び技能は「わかったこと」のマークで示され、問題解決の流れに合わせた「器具」「記録」「まとめる」等のキャラクターを設定して、親しみやすく取り組めるようにしている。</p> <p>・単元末に「ふりかえろう」を位置付け、基礎・基本の定着を図り、活用問題を取り入れ、学んだことを生かすようにしている。</p> <p>・ノートやワークシートのまとめ方が載っていて、結果や考察のまとめ方が分かりやすくなっている。</p> <p>・問題解決において必要な実験器具の使い方や調べ方について動画視聴できるように二次元コードを掲載している。</p> <p>・巻末にその学年で使用する実験器具の使い方や観察の仕方を「考えよう調べよう」にまとめて掲載している。</p> <p>③・「理科の学び方」として問題解決の過程を示し、それぞれの学年で特に育成すべき問題解決の力をキャラクターを用いて明示することで、思考力、判断力、表現力等の育成を図っている。</p> <p>・問題を見付ける場面で話し合いを設定し、対話により課題を生み出すようにしている。</p> <p>・3年「しぜんのかんさつ」ではタブレットで記録したものを並び替えて整理するなどICTの活用が紹介されている。</p> <p>④・自ら疑問をもち、進んで主体的に学習に取り組めるよう、導入部分において活動や自然の事物・現象、写真の提示などがある。</p> <p>・「もっと知りたい」や「やってみよう」で発展的内容、防災、次学年への学習などにつなげている。</p>	<p>①・単元を「見つけよう」「問題」「予想しよう」「計画しよう」「観察・実験」「結果から考えよう」「結論」「学びを広げよう」で構成しており、学習の過程をページの端に記載して、分かりやすくなっている。</p> <p>・「学年のチカラ」として、その学年で付けたい力が示されている。</p> <p>・「問題」に正対した「まとめ」を位置付けている。</p> <p>・巻頭に前学年で学んだことの振り返りがある。</p> <p>・安全指導の欄には「注意」「危険」として色を変えて表示している。</p> <p>・結果のまとめ方をノートやワークシートの形式で記載されているので子どもたちが結果の書き方を理解しやすい。</p> <p>・単元の始めに「学習のつながり」を示して、単元の系統と既習事項を明らかにし、「おもいだそう」で前学年の学習で関連したことを記載している。</p> <p>②・単元末に「ふりかえろう」や「たしかめよう」で基礎・基本の定着を図り、巻末にはその学年で学んだことをまとめて記載している。</p> <p>・学習を通して、習得すべき基礎的・基本的な知識については、「結論」マークを付して明確に示している。</p> <p>③・登場する人物が対話をしながら学習を進めており、学びのモデルになっている。</p> <p>・問題を見い出す場面では、分かりやすい事象を写真等で提示し、比較し既有的知識と関係付けることにより、思考力、判断力、表現力等の育成を図っている。</p> <p>④・単元ごとに主人公を設定し、その主人公が問題を解決していく姿を表現することで、子どもが主体的に学習を進めていくような構成になっている。</p> <p>・「見方のカギ」「考え方のカギ」で視点を与え、対話しながら考えを深めるようにしている。</p> <p>・「資料」や「科学のまど」「チャレンジ」で発展的内容、防災、次学年への学習などにつなげている。</p>
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・文章表現が簡潔で分かりやすい。</p> <p>・ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>・重要語句は太字や枠囲みで示している。</p> <p>②・巻末資料の「考えよう調べよう」において、「学習の仕方」「調べ方」「器具の使い方」を掲載している。</p> <p>・画像や動画などコンテンツ数が豊富である。</p> <p>・SDGsの関連資料が豊富である。</p>	<p>①・文章表現が簡潔で分かりやすい。</p> <p>・ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>・重要語句は太字・マーカー処理で示している。</p> <p>・行間が適切である。</p> <p>②・巻末資料として、「使い方・調べ方」「科学館や博物館の利用」「算数とのつながり」を掲載している。</p> <p>・画像や動画などコンテンツ数が豊富である。</p> <p>・SDGsの関連資料が豊富である。</p>
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・色使いやレイアウトなどユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>・イラスト、写真をバランスよく配置している。</p> <p>②・写真や図、表の大きさが適切で分かりやすい。</p> <p>・裏表紙に単元とSDGsとのつながりを表記しており、関連資料が豊富である。</p>	<p>①・色使いやレイアウトなどユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>・イラスト、写真をバランスよく配置している。</p> <p>②・写真や図、表の大きさが適切で分かりやすい。</p>
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p> <p>(1) プログラミング教育</p> <p>(2) 自然災害の扱い</p>	<p>(1)・プログラミング的思考の育成を図った内容を示している。(6年「電気とわたしたちの生活」p.198)</p> <p>(2)・全学年「もっと知りたい」で自然災害や防災、減災について扱い、合計17事例について扱っている。</p>	<p>(1)・プログラミング的思考の育成を図った内容を示している。(6年「電気の利用」p.187)</p> <p>(2)・4, 5, 6年で自然災害や防災、減災について扱い、合計8事例を扱っている。</p>
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・子どもの生活経験不足を補うため、動植物や自然の写真や動画を導入場面で多く用いることにより、子どもの興味・関心を高めている。</p> <p>・県出身の著名人の内容を「もっと知りたい」に掲載している。(6年 p.112)</p>	<p>①・子どもの生活経験不足を補うため、動植物や自然の写真や動画を導入場面で多く用いることにより、子どもの興味・関心を高めている。</p>
<p>備考</p>		

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (理科)

報告者 部長：野見山 準五

副部長：木下 順由

発行者番号 発行者名	26 信州教育出版社	61 新興出版社啓林館
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・「ふれる・見つける」「問題」「予想」「観察・実験」「結果」「考察」「まとめ」「発展」という、問題解決の過程に沿った構成になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習単元と関連のある単元（下学年または同学年）を「思い出そう」で位置付けている。 ・「発展」で、上学年・中学校の学習内容を位置付けている。 ・安全指導の欄は、「危険マーク」と色で囲みをして、見やすく掲載している。 <p>②・単元末に二次元コンテンツの「ふりかえろう」と「たしかめよう」を設け、基礎的・基本的な事項の定着を図るようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な内容については、イラストや写真入りで掲載している。 <p>③・学習過程の随所に、思考・判断・表現の視点を、イラストの吹き出しで示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の終わりの振り返りでは、まとめで使った言葉をつなげて学びの流れや言語的な理解が進むように工夫している。 ・単元の始めは、問題を出し合えるように吹き出しで話し合い活動を促すように工夫している。 <p>④・子どもの興味・関心を引くような資料を多く掲載し、意欲付けを図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な事象と関連付けたり多様な方法を体験したりすることができるような「しらべてみよう」「やってみよう」のコーナーを設け、興味・関心をさらに高められるようになっている。 	<p>①・「問題をつかもう・問題→予想・計画→実験・観察→結果→考察→まとめ→もっと知りたい」と一連の流れが線でつなげて教科書に位置付けており、問題解決的な学習過程の構成になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「問題」に正対した「まとめ」を位置付けている。 ・5, 6年では単元の始めに「はじめに考えよう」、単元の終わりに「もう一度考えよう」という、同じ問いがあり、自分の変化や成長を振り返ることができる構成になっている。 ・単元の始めに「思い出してみよう」という、下学年の学習内容を想起させるものが記載している。 ・単元の始めにこれから学習する内容にあった動画や写真をタブレットなどで読み込み、子どもが見ることができるようになっており、興味・関心をもつのに効果的である。 <p>②・単元の最後にまとめがあり、学習した内容が見やすく記載している。二次元コードを読み取って、フラッシュカード形式の問題で、復習ができるように工夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験器具の使い方や実験の方法などにページを費やすとともに、二次元コードで実験器具の使い方が見られるようになっており、実験の習得がしやすいようになっている。 ・ノートのまとめ方や学んだことの伝え方、算数のまど（グラフの見方や百分率の表し方）などをまとめたページが巻末にあり、学んでいく上でノートの書き方や考えを整理しやすい構成になっている。 <p>③・「問題をつかもう」「予想・計画」「考察しよう（結果から考えよう）」などで、話し合い活動を設定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末の「活用しよう」では、図や写真から情報を読み取り、学習内容を使って説明する問題があり、思考力、表現力を高められるようになっている。また、二次元コードで問題の解説も動画で見られ、個別最適な学びにもつながるように工夫している。 ・理科の「見方・考え方」を説明しているページがあり、生活場面との関連が実感できるように工夫している。 <p>④・「まとめ」の後に、「もっと知りたい」という、新たな問題に向かう学びの連続性につながるような表記をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容とSDGsやSTEAMなどと関連付けて説明しているコーナーがあり、自分たちの生活にどう関わるのかを考えられるように工夫している。
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・文字表現が簡潔で分かりやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・学習過程によって文字の大きさや太さ、フォントを使い分けている。 <p>②・巻頭資料として、「学習の進め方」「記録の仕方」「理科室の使い方」を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年において、資料としてSDGsについて掲載している。(pp.184-185) 	<p>①・文章表現が簡潔で分かりやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントが使用され、フォントサイズも発達の段階によって調整されている。 ・重要語句は、太字・別フォントで表し、適宜ルビ付きになっている。 <p>②・単元の中に適宜、実験器具の使い方のページがある。また、二次元コードから動画も見られ、巻末に様々な資料を掲載している。</p>
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・カラーユニバーサルデザインに配慮しているが、彩度がやや低い。(3年 p.81, 4年 p.89)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラスト、写真を多用している。 <p>②・写真や図、表が大きく、分かりやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の始めにこれから学習内容にあった写真を見開きで使うなど、子どもが興味・関心をもつのに効果的な掲載をしている。 	<p>①・カラーユニバーサルデザインに配慮され、写真も鮮明である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラスト、写真を多用し、バランスよく配置している。 <p>②・写真や図、表が大きく、分かりやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結果を比較して見やすいレイアウトになっている。
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p> <p>(1) プログラミング教育</p> <p>(2) 自然災害の扱い</p>	<p>(1)・6年「電気の利用」(p.171)において、課題解決の過程の中でプログラミング的思考を扱っている。また、同単元のものづくりでプログラミングを体験することができるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの単元で端末などを活用して学習を進めるように構成されている。また、端末を有効に使う必要情報を集め、学習に活用できるようになっている。 <p>(2)・4, 5, 6年において、防災・減災について扱い、合計10事例を扱っている。</p>	<p>(1)・課題解決の過程の中で、プログラミング的思考を扱っている。(6年「発電と電気の利用」p.183)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年でプログラミング的思考を取り入れた内容を扱い、発達の段階に応じて論理的思考が身に付くようにしている。 <p>(2)・全学年に「ウィズアース」として、「防災・減災」「恵み」の要素で構成された内容があり、合計15事例を扱っている。</p>
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・子どもの生活経験不足を補うため、動植物や自然の写真を導入場面で多く用いることにより、子どもの興味・関心を高めている。</p>	<p>①・子どもの生活経験不足を補うため、動植物や自然の写真を導入場面で多く用いることにより、子どもの興味・関心を高めている。</p>
<p>備考</p>		

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (生活)

報告者 部長：安藤 稔

副部長：五十川 恭子

発行者番号	2	4
発行者名	東京書籍	大日本図書
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・興味・関心、疑問、表現などの学習過程が子どもの思考に沿った単元構成になっている。また、「つながる」という項目で他教科との関連が示されている。(下 p. 29)</p> <p>・「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」の具体例が書かれており、スタートカリキュラムも充実している。</p> <p>・カリキュラム・マネジメントの参考となるよう、連携や接続などイメージができるように様々な活動例が掲載されている。(上 pp. 12-13, 下 pp. 12-13)</p> <p>②・生活上必要な習慣や技能を身に付けることを意図して、一日の生活のリズム、公共の乗り物の使い方、言葉遣い、電話のかけ方が示されている。</p> <p>・「やくそく」や「かつどうべんりてちょう」など、学習活動に即した習慣や技能を身に付けられる資料が設けられている。</p> <p>③・言語活動を通して気付きを関連付けたり、視点を変えて捉え直したりするなど、気付きの質が高まる姿を具体化することで、深い学びの過程を例示している。(下 pp. 14-15)</p> <p>・学習活動に応じて、具体的な掲示物や板書例など、教室の環境構成例をイラスト等で具体化されている。</p> <p>・他教科等で身に付けた資質・能力を生活科の学習の中で生かす場面を例示している。(上 p. 15)</p> <p>・振り返りと表現活動の例が充実しており、2年間で徐々に質が高まるように配慮されている。(下 pp. 16-17)</p> <p>④・活動の「めあて」や「課題」が「がっこうたんけんをしよう」や「なにがみつかるかな」等で示されているので疑問等から学びの意欲を引き出す部分が多い。</p>	<p>①・学習指導要領の目標、内容に即し、多様で具体的な活動、体験について、子どもの興味・関心や発達の段階に応じて円滑に対応できるように配慮している。動植物や町の人など、学習対象となるものと、どのように関わっていけばよいか分かるように単元構成されている。</p> <p>・スタートカリキュラムでは、学校の一日の流れを確認できたり、子どもの不安を減らす仲間づくりの活動が多く示されたりしている。また、生活科を中心とした合科的、関連的活動の例が示されている。</p> <p>②・生活上必要な習慣や技能を身に付けることを意図して、安全な暮らし、病気の予防、公共施設の使い方、言葉遣い、掃除の仕方が示されている。</p> <p>・「きらきらことば(上 p. 97) や「せいかつことば(下 p. 27, p. 43)」等、他者との関わり方や文章表現に関する知識の習得に役立つ項目が設けられている。</p> <p>・特設ページ「がくしゅうどうぐばこ」に資料を豊富に掲載し、子どもが活動に即して具体的な知識や技能の習得が図れるように配慮している。</p> <p>③・発表や話し合いの様子を表した絵が多く、イメージしやすくなっている。タブレットを活用した表現方法の例示を多く掲載している。</p> <p>④・気持ちマーク等、学年の段階に応じて振り返りができるよう工夫されている。夏休みにも学びが継続できるような小単元が掲載されている。</p> <p>・子どもの意欲をさらに引き出し、活動の視点を示唆する表現としてビンゴカードを活用している。(上 pp. 86-87 下 pp. 42-43)</p>
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・字体・・・UDフォント</p> <p>・色覚・・・カラーUD、落ち着いた淡い色調で統一</p> <p>・文章・・・文節改行、分かち書き</p> <p>・漢字・・・総ルビ</p> <p>・レイアウト・・・小単元名、本文、手洗いマーク、約束などを同じ位置に配置</p> <p>②・単元末ごとに、「生きものずかん」や「なつのあそびずかん」等が上下巻末の合計で52ページあり、子どもが調べやすいように配慮している。</p> <p>・資料には、季節ごとの生き物や季節ごとの遊び方が示されている。</p> <p>・巻末に「かつどうべんりてちょう」「ポケットずかん」があり、学習活動に即した習慣や技術を身に付けることができる。</p> <p>・上巻末「ほんとうのおおきさいきものずかん」があり、実物大の動植物を見ることができる。</p>	<p>①・字体・・・UDフォント</p> <p>・色覚・・・カラーUD</p> <p>・文章・・・文節改行、分かち書き</p> <p>・漢字・・・ルビ</p> <p>・レイアウト・・・書き込みスペース、気持ちマーク、課題文と本文を合わせて見ることで、何をすればよいのか分かる</p> <p>②・単元末や巻末に「がくしゅうどうぐばこ」のページが上下巻の合計で27ページある。内容が多岐に渡り、様々な活動の中で参考にできるように配慮している。</p> <p>・資料には、手紙の出し方、話し合いの進め方、発表の仕方が示されている。</p> <p>・世界のじゃんけんや言葉を紹介している。</p>
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・A4判。紙面が広い。紙質もよく、硬くないので教科書を開きやすく、情報量が多い。</p> <p>・写真や挿絵がクリアで明るい。</p> <p>・子どもの写真が国際的である。</p> <p>・学校生活をスタートさせるに当たって、表情豊かで明るい写真が多く、楽しみなことが詰まっている。</p> <p>・「はなをさかせよう」では、10種の花の種→芽→花がインデックスのように配列されていて分かりやすい。(上 pp. 26-37)</p> <p>・各単元の始めには、見開きで活動の様子が、次ページの見開きで自分の経験で考えられるテーマの写真や挿絵が掲載されていて、見通しをもって意欲的に学習できる構成になっている。</p> <p>・子どもが、思考・判断・表現している様子が、挿絵や吹き出し、作品などで表現されている。</p> <p>・公園で遊ぶ子どもたちのイラストが季節ごとに掲載されており、活動の見通しをもたせることができる。</p> <p>・スタートカリキュラム時は、段差をつけて分かりやすくしている。</p> <p>②・図版の大きさやカットが多様で配置も工夫されており、楽しさが伝わってくる。</p> <p>・ページのそばに、大切な生活習慣の見出しが付いていて、分かりやすい。</p>	<p>①・A4判。紙面が広い。紙質は少し薄く、サラサラしている。</p> <p>・写真や挿絵は多様であるが、色合いは落ち着いた。</p> <p>・自分の気持ちや考えを自由に書き込める欄がある。</p> <p>・紙面の端に、豆知識的な情報が、イラストや写真で入っている。</p> <p>・子どもの作品が、教科書のページの端に配置されている。</p> <p>・自分なりのめあてや振り返りを書き込むことができる。(上 p. 75)</p> <p>・あさがおの様子が、詳しく描かれており、観察カードに書く際、参考になる。</p> <p>・モノクロ写真を使用し、想像力を膨らませるようにしている。(上 p. 82)</p>
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・子どもたちに分かりやすいイラストや写真が多く、子どもたちがどのように考えたり、発表したりしたらよいかをイラストの中の吹き出しで書かれている。</p> <p>・子どもたちが話し合っているところがイラストになっており、主体的・対話的に学ぶ姿が分かりやすい。(上 pp. 104-105, 下 pp. 70-79, p. 89)</p> <p>・同じ公園や町の様子が、季節によって変わっているところをイラスト化していることで、子どもたちが自然の変化を進んで探することができる。</p> <p>・作ってみたいくなるおもちゃやおもちの作り方、遊び方や育て方が載っている。</p> <p>(なつのあそびずかん上 p. 50, あきのおもちやずかん上 p. 76, ふゆのあそびずかん上 p. 98, おもちやずかん下 p. 54, やさいずかん下 p. 18 等、図鑑が充実しているので子どもたちが興味をもって取り組むことができる)</p> <p>・「もっとなかよしまちたんけん」では、ゲートボール場、和菓子や農家、交番を訪ねインタビューし、町のすてきを発表している。イラストや写真、吹き出し、探検マップなどを利用して学習を進められるよう配慮している。</p>	<p>①・「ようこそあきのテーマパークへ」で、年長を招いて活動。計画では、話し合いの様子のイラストや吹き出し、板書などで見通しをもたせ、活動場面もイラストでイメージできるようにしている。(上 pp. 96-99)</p> <p>・書き込むページが多く、子どもたちが興味をもって取り組んだり、振り返りをしたりすることができる。</p> <p>・シャボン玉を作る道具や水遊びの道具がイラストで載っており、自分で工夫して準備できるようになっている。(上 pp. 56-59 二次元コードがついている)</p> <p>・身近な野菜を使った料理が載っており、自分でも野菜を育ててみたいという気持ちになる。</p>
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・身近な植物や野菜、虫を扱っており、「ポケットずかん」に身近な虫や草花が載っているので、子どもたちが興味をもって探することができる。</p> <p>・大分市でも育てることができる植物や野菜の育て方が掲載されている。</p> <p>・近くの公園等でも探せるような虫を扱っている。</p>	<p>①・虫の餌や入れ物も自分たちで準備できそうなものを扱っている。(下 pp. 36-37)</p> <p>・あさがお、さつまいもなどの栽培の仕方や、育てた後の活用方法が提示されている。(上 pp. 62-63, pp. 74-77)</p>
備考		

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (生活)

報告者 部長：安藤 稔

副部長：五十川 恭子

発行者番号	1 1	1 7
発行者名	学校図書	教育出版
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・活動や体験の内容ごとテーマをもった単元構成となっているため、単元の流れが把握しやすく、具体的な活動を通して「何を、どのように学習する」が分かりやすくなっている。</p> <p>・上巻の冒頭では、「はじまるよ しょうがっこう」と「がっこうたんけん」を設け、入学したばかりの子どもが学校生活にスムーズかつ安心して適応できるよう構成されている。</p> <p>・4人のキャラクターが登場し、絵本のようにストーリーが読み取りやすい構成となっている。</p> <p>②・生活上必要な習慣や技能を身に付けることを意図して、衛生、遊びの場所とルール、あいさつ、道具の使い方が示されている。</p> <p>・習慣や技能は、各単元において「やくそく」「ものしりノート」などのコーナーとして示すことで、それらを学習するという形ではなく、活動や体験の中で、子どもの思いや願いを実現する過程において身に付けられるよう工夫している。</p> <p>③・単元最後の「もっと〇〇したい（下 p. 58）」のページは、活動を通して自信をもった子どもたちが、さらに意識をもって取り組める活動などを示している。</p> <p>・「どうしてかな」というミニコーナー（下 p. 65）で単元ごとの大切なことについて考えさせる内容が示されている。</p> <p>・子どもの自発的な言葉をもとにしたリード文や、親しみやすい4人のキャラクターと適切な吹き出しなど、子どもの「自分もやってみたい」という主体的な活動意欲が引き出されるよう工夫されている。</p> <p>④・「もっと〇〇したいね。」などの会話が示されており、単元終了後も関わりをもちたいという意欲を引き出すような工夫がみられる。また図や写真が大きく、野菜や生き物の種類も豊富に掲載されているので、関心を広げやすい。</p> <p>・子どもの主体的な活動を支援する「学び方図かん」を上下巻に設け、子どもが常に参考にし、自ら活動を広げていけるように配慮している。</p>	<p>①・導入「わくわくスイッチ」で動機付け、「はっけんロード」と「はてな」で、自ら活動を組み立て、「ぐんぐんはしご」で振り返って自分の成長を自覚するメタ認知を育む構成で、主体的・対話的で深い学びへ導くよう工夫されている。</p> <p>・生活科で育成する資質・能力を「サイコロ」のアイコンに当てはめ、各活動においてめあてが明確になるようにしている。</p> <p>・「幼稚園教育要領」の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（上 pp. 4-8 下段）がイラストで描かれ、小学校生活の同じ姿が（同ページ 上段）写真で掲載され、幼児期の総合的な学びが生活科を中心に各教科へ円滑に移行することが表現されている。生活科を中心とした合科的・関連的な指導や、弾力的な時間割の設定など、「スタートカリキュラム」の編成方法を具体的にイメージできる構成となっている。</p> <p>・巻末の学びのポケット（下 p. 109）に各教科との関連も示されている。</p> <p>②・生活上必要な習慣や技能を身に付けることを意図して、あいさつ、道具の整理整頓、ごみの分別、手紙の書き方、電話のかけ方が示されている。</p> <p>・小さな動植物が大きく拡大表示されており、観察しやすい。（上 p. 31）「ひんと」や写真から学び方の技能を身に付けることができるよう工夫されている。（上 p. 27）</p> <p>③・学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりして、自分自身の学びや変容を自覚できる学習活動が繰り返し設けられている。</p> <p>④・各単元のとびらに設定されている「わくわくスイッチ」はフローチャート形式になっており、期待感をもって学習をスタートできるよう工夫されている。</p>
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>① 字体・・・UDフォント 色覚・・・カラーUD 文章・・・文節改行、分ち書き 漢字・・・総ルビ レイアウト・・・右ページ下に、次時へつなげるコメントが書かれている。</p> <p>②・単元末や巻末に「ものしりノート」等のページが上下巻合計で27ページある。四季の遊び、野菜の育て方、生き物の飼い方、動くおもちゃの作り方などを紹介している。</p> <p>・上下巻末に「学び方ずかん」があり、活動の参考にできるよう、学習の観点ごとに書かれている。</p> <p>・資料には、草の種類や、電車・バスの乗り方が示されている。</p>	<p>① 字体・・・UDフォント 色覚・・・カラーUDフォント 文章・・・文節改行、分ち書き 漢字・・・ルビ レイアウト・・・リード文が課題文になっている。</p> <p>②・単元末や巻末に「学びのぼけっと」のページが上下巻合計で44ページあり、他教科に関連付けている。</p> <p>・「かながまとめいる」で、子どもの活動意欲を高めている。</p> <p>・資料には、生き物の育て方やSDGsの取組が示されている。</p>
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・A4判より少し小さい。紙質もよく、硬くないので教科書を開きやすい。</p> <p>・写真や挿絵がクリアで明るい。</p> <p>・「わたしのあさがお」では、4種の花の種→芽→花が紹介されている。特に、あさがおの成長については、20ページに渡って写真や挿絵、ワークシートによって構成されている。（上 pp. 26-47）</p> <p>・あさがおや野の植物、夏の虫などは、実物大のものが使われていて、図鑑的である。</p> <p>・「まなびかたずかん」（上 pp. 125-136）では、「みる・はなす・きく・かながえる・はっぴょうする・かく・あんぜん」等、学習や生活の基本について写真や挿絵を用いて分かりやすく説明している。</p> <p>・子どもが書いたワークシート例を、随所で紹介している。</p> <p>②・表紙には、身の回りの生き物や遊びなどの写真や挿絵を、楽しみが膨らむような配列にしている。</p>	<p>①・A4判。紙面が広い。紙質もよく、硬くないので教科書を開きやすく、情報量が多い。</p> <p>・写真や挿絵がクリアで明るい。</p> <p>・子どもの写真が多様性に配慮されたものとなっている。</p> <p>・「きれいにさいてね わたしのはな」では、7種の花の種→芽→花が掲載されている。</p> <p>・「あきであそぼう」では、たくさんの木の実や落ち葉の写真とその遊び方が多く掲載されている。</p> <p>②・紙面右端に、ヒントや約束がイラストで描かれている。</p>
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・「ものしりノート」のページが充実しており、単元の学習が終わっても、自分で他の学習に挑戦してみたい工夫がされている。具体的には以下の5つである。</p> <p>・身近な草花での遊び方がたくさん紹介されている。</p> <p>・「だるまさんがころんだ」など、友達との遊び方が示されているので、休み時間にも友達と遊びたくなる工夫がされている。（上 pp. 58-59）</p> <p>・おもちゃの作り方、野菜の育て方などの説明が豊富に掲載されている。</p> <p>・電車やバスの乗り方、インタビューの仕方などを例示している。（pp. 16-17）</p> <p>季節の草花の遊びや季節の遊びや、四季それぞれの生き物についての表記がされている。（上 p. 47, pp. 54-55, pp. 58-59, 下 pp. 86-89）</p> <p>・苗の植え方、野菜の育て方、お世話のヒントなどを示している。（10種類、二次元コードあり）</p>	<p>①・地上の虫だけではなく、土の中の幼虫がイラストで掲載されているので、子どもたちが興味をもって虫探しをすることができる。（上 p. 50）</p> <p>・動くおもちゃの種類が多く、遊び方も具体的なので分かりやすい。（下 pp. 90-92）</p> <p>・「あきのたのしさをつたえよう」では、小さい子呼びたい、プレゼントをあげたい、歌やダンスをしたい、と写真と言葉、計画の板書を提示し、活動の作り方をイラストで紹介している。（上 p. 77）</p> <p>・笑顔のひみつ探検隊で、和菓子屋、靴屋、図書館で、インタビューをして体験したことを、色々な方法で提示している。</p> <p>・「あたらしい1年生をむかえよう」では、写真や吹き出しで活動を分かりやすく示している。（上 pp. 108-111）</p>
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・大分市でも見られる草花やセミの種類がたくさん載っていて、観察に生かすことができる。（「ものしりずかん」 なつのむし（上 pp. 68-69） あきの葉（上 pp. 86-87） 冬の鳥（上 pp. 104-105） 町探検（下 pp. 34-35） 野菜（下 pp. 53-59））</p> <p>・掲載されている野菜の種類が多く、大分市でも育てられるものがたくさんある。</p> <p>・動物園で触れ合うモルモットのことが、詳しく紹介されている。</p> <p>・生きものと友だち（下 pp. 60-61）が、pp. 76-77に白黒で示されており、虫を探しやすく、名前も載っているため、子どもたちが興味をもって探すことができる。</p>	<p>①・どんぐりの種類がたくさん載っているため、自分で拾ったものを調べたいという工夫がされている。（上 p. 69）</p> <p>・身近な材料やえさで、生き物の育て方を説明しているため、進んで飼ってみようという気持ちになる。（めざせ生きものはかせ 下 pp. 42-45, pp. 48-49）</p>
<p>備考</p>		

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (生活)

報告者 部長：安藤 稔

副部長：五十川 恭子

発行者番号	26	38
発行者名	信州教育出版社	光村図書出版
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」の具体例が、写真や絵で示されている。（上 pp. 4-13） ・春夏秋冬の様子を「いつものばしょ」というタイトルで、見開きで変化が分かりやすく掲載している。（上 pp. 26-31 pp. 58-63 pp. 86-91 pp. 102-107）</p> <p>②・生活上必要な習慣や技能を身に付けることを意図した活動例が示されている。 ・季節ごとの年中行事やそれに関連する歌などが多く掲載されており、音楽科等との関連を図りながら日常生活との関わりについて、学べるようになっている。</p> <p>③・観察カード、絵日記、図鑑など表現活動の例が示されている。</p> <p>④・めあてや課題が「～かな」「～したいな」などで示されている。 ・飼育の単元で紹介されている動物はヤギ、カナヘビ、ウサギなどである。 ・上から下にかけて、動物の成長が見られる。</p>	<p>①・各単元、体験から入り感じた疑問や気付きから学びを深めていき、表現につなぐという構成になっている。 ・「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を踏まえた「いちねんせいが はじまるよ」が設けられており、幼児期の学びや育ちを生かした上で、子どもが安心感や自信、期待感をもって学校生活を始めることができるよう、授業の様子や子どもの姿が具体的に示されている。</p> <p>②・生活上必要な習慣や技能を身に付けることを意図して、安全な暮らし、道具の整理整頓、あいさつ、言葉遣い、道具の使い方、掃除の仕方が示されている。 ・日常生活に必要な習慣や技能は、学習活動の流れの中で自然と身に付くように位置付けられているほか、別冊「ひろがる せいかつ じてん」にまとめられている。ワークシートの書き方や記録の仕方がたくさん示されている。</p> <p>③・全小単元に「ふりかえろう」コーナーが設けられ、内容のまとめりに子どもが自ら「情意面」と「資質・能力の面」から捉え直すことで、自身の学びや変容を自覚できるよう工夫されている。 ・子どもの思考に沿ったマンガを掲載することで、自分ならどうか、という考えを促すような工夫をしている。</p> <p>④・「ヒントを見て考えよう（上 p. 34, 下 p. 18）」のコーナーで、学習意欲を喚起している。</p>
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・縦書きで字の大きさがほぼ同じ。</p> <p>②・あさがおのつぼみ→花→種までの変化が写真等で分かりやすく説明している。あさがおの花びらを使った作品も数種類掲載している。（上 pp. 68-73） ・古来より伝わる風習等を、多く紹介している。 ・ワークシート例は、縦書きになっており、国語科との関連を図りやすい。</p>	<p>①・字体・・・UDフォント ・色覚・・・カラーUD ・文章・・・文節改行、分かち書き ・漢字・・・ルビ ・レイアウト・・・見開きごとに振り返り</p> <p>②・単元末や巻末に「ひろがる せいかつ じてん」や「はるのなかま」等のページが上下巻合計で52ページある。とても新鮮な写真で植物や生き物が示され、子どもの興味が高められる。 ・資料には、植物の成長や季節ごとの生き物が示されている。 ・「保護者の皆様へ」のコーナーで、きめ細かく保護者へのメッセージを載せている。</p>
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・写真や絵の色合いが上下ともに統一されている。 ・版画の挿絵が多く取り入れられている。 ・季節ごとの身近な遊びには、高原が紹介されており、冬遊びでは主に雪遊びが紹介されている。 ・あさがおの発芽など実物大の写真が掲載されている。（上 p. 40）</p> <p>②・折込のページが多い。</p>	<p>①・A4判。紙面が広い。紙質もよい。厚紙が入っているので少し硬く開きにくい面もある。 ・写真がクリアで明るい。 ・挿絵や文字がマンガ調でポップな感じである。（親しみやすい） ・子どもの写真が国際的である。 ・あさがおの種→芽→つぼみ→花までが分かりやすい。</p> <p>②・巻末に四季折々の動植物図鑑が、光沢厚紙で掲載されている。</p>
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・季節の行事（たんごのせつく、たなばた、おつきみ、せつぶん、ひなまつり）を掲載し、学習意欲の喚起につなげている。 ・地域や季節の特色を生かした大豆栽培や料理を取り上げている。 ・冬の遊び（雪遊び、スキー）が、たくさん紹介されている。 ・冬の生活の備えが、たくさん紹介されている。</p>	<p>①・子どもたちの馴染みのあるイラストレーターイラストで、楽しみながら進んで学習に取り組むことができる。 ・「あきともだち」の単元では、終盤に「一緒に楽しもう」と幼稚園児に招待状を書き、招待した様子を写真や吹き出しで紹介している。（上 p. 75） ・「ようこそ私たちの学校」で幼稚園児（年長）を招待し、活動の様子を写真で紹介している。（上 p. 100） ・町探検後、再度図書館、和菓子、パン屋、農家、お囃子会などに関わる人にインタビューし、更に聞きたいことをネットや電話で調査し、発信するなどダイナミックな活動が展開されている。（下 pp. 78-79）</p>
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・カナヘビなど身近な動物について扱っている。 ・次の学年へ上がることに期待感が記載されている。 ・大分市とは違う地域の生活や遊び、栽培などが紹介されていて、興味をもてる内容になっている。</p>	<p>①・動物園にいるモルモットについて詳しく掲載されているので、興味をもつことができる。（上 pp. 63-65） ・巻末に切り取り式の「春夏秋冬の仲間たち」と題して、身近な動植物の図鑑があり、興味をもつことができる。 ・別冊の生活図鑑に花や草を使った遊び、春秋から育てる花のコーナーがあり、活用しやすい。</p>
<p>備考</p>		

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (生活)

報告者 部長：安藤 稔

副部長：五十川 恭子

発行者番号	6 1
発行者名	新興出版社啓林館
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・単元導入「わくわく」、主な活動「いきいき」、振り返り「ぐんぐん」の3段階構成となっており、単元の流れが分かりやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上巻の巻頭「すたあとぶっく〜がっこう だいすき いちねんせい」の単元では、幼児期に生まれた資質・能力を発揮しながら、楽しく安心して学校生活をはじめることができるように工夫されている。 <p>②・生活上必要な習慣や技能を身に付けることを意図して、病気の予防、交通安全、あいさつ、インタビューでの言葉遣い、道具の使い方が示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末資料「がくしゅうずかん」では、調べ方や記録の仕方などを示しており、基本的な知識や技能が身に付くよう工夫している。 <p>③・紙面右下の「めくり言葉」で「次の活動にむけての思いや願い」を示すことで、子どもの活動の連続性、広がりをサポートし、スパイラルに深い学びが実現できるようになっている。</p> <p>④・単元末の「ひろがるきもち（上 p. 77, 下 p. 25）」コーナーでは、生活科の学習が日常生活に広がり、子どもが自立し、生活を豊かにしようとする姿を例示している。</p>
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・字体・・・UDフォント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色覚・・・判別しやすい配色、デザイン ・文章・・・文節改行、分かち書き ・漢字・・・ルビ ・レイアウト・・・右下「めくり言葉」で次の活動に向けての思いや願いを示す。 <p>②・単元末や巻末に「がくしゅうずかん」や「びっくりずかん」等のページが上下巻の合計で64ページあり、観察する時の視点や約束事などが詳しく紹介されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料には、道具の使い方や季節ごとの食べ物が示されている。 ・右ページ下に、次時につながる投げかけが書かれている。
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・A4判より少し小さい。紙質もよく、硬くないので教科書を開きやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真がクリアで、挿絵が比較的多い。 ・多様性に配慮したイラストや写真を取り入れている。 ・「あきのあそびをたのしもう」では、木の実や落ち葉の写真とその遊び方が多く掲載されている。 ・単元末には、「できるかな できたかな?」「ひろがるきもち」があり、挿絵を用いて振り返りの仕方を説明している。 <p>②・スタートカリキュラムのページを少し小さくすることで、活用しやすくしている。</p>
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・巻頭にスタートカリキュラムが載せられており、学校でどんなことをするのが分かる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ校庭の様子が、季節によって変わっているところをイラスト化していることで、子どもたちが自然の変化を進んで探することができる。（上 p. 10, p. 42, p. 68, p. 98） ・「秋の遊びランド」を開き、幼稚園児を招いて遊びを楽しもうという単元がある。（上 p. 76） ・活動の様子が分かるイラストや吹き出し、プログラムなどが示されている。 ・町探検では、和菓子、地域のパトロール隊、駅、農家、町工場、図書館などでインタビューし、町の素敵を広げる活動を展開している。インタビューの仕方も分かりやすく掲載している。（下 pp. 80-85） ・「あたらしい1年生を招待しよう」の単元では、計画から活動、振り返りまでをイラストや写真で表していて分かりやすい。 ・3年へのステップブックが付いていて、見通しがもちやすくなっている。
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・「わくわくタイム」「びっくりずかんLIVE」のページに、身近な草花や生き物の写真での紹介がたくさんあり、興味をもつことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びのヒント」が活動の手立てとなる。
<p>備考</p>	

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (音楽)

報告者 部長：園田 俊二

副部長：山口 牧

発行者番号 発行者名	17 教育出版	27 教育芸術社
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・目次の次の頁に1年間の各題材の学習内容について「学習マップ」として位置付けており、子どもに学習の見通しをもたせている。</p> <p>・各学年の目標や内容に対応した教材が、学年の系統性と発展性をもって構成され、その題材を軸に教材が配置されている。</p> <p>②・[共通事項]の「音楽を形づくっている要素」を子どもたちが意識しながら学習できるように「音楽のもと」として見開きごとに提示している。</p> <p>・「音楽のもと」を図で表したり「音楽」を料理に例えて表現したり、音楽のつくりの理解を深めるために様々な方法がとられている。</p> <p>③・1～5年までの「音楽づくり」や「鑑賞」を中心に、学習のねらいに迫ることができるように、曲の特徴や感じたことなどを記入する場が設定されている。</p> <p>・「音楽を表すいろいろな言葉」が、各学年の発達の段階に応じた言葉で記載されており、感じたことを言語化するのにとっても分かりやすい表現が使われている。</p> <p>・1年「たとたとたのリズムであそぼう」(1年 p.23)で、自分で作った拍を書き込み、友達とつながって打つことができる。</p> <p>④・「まなびナビ」では、学習の目標に合わせて、活動の手順が示されているので、見通しをもって主体的に学習を進めることができる。</p> <p>・題材のテーマ(大きなめあて)が色分けして、学習内容が一目で分かる。</p>	<p>①・「学習マップ」では、各領域別の年間学習内容について全体像を分かりやすく表記している。</p> <p>・各学年の目標や内容に対応した教材が、学年の系統性と発展性をもって構成され、その題材を軸に教材が配置されている。</p> <p>②・「おもいだそう」のコーナーを設置しており、以前学習したことをもう一度確かめることで、新たな学習に生かせるようにしている。</p> <p>・「かくふマスター」では、音符、休符、記号をなぞり書き・一人書きできる欄がある。(3年 p.19, 5年 p.25)</p> <p>・「振り返りのページ」を巻末に設けており、1年間の[共通事項]のまとめとして、譜例を入れて分かりやすく見直す工夫がされている。</p> <p>③・学習のねらいにそって、「気づいたこと」「感じたこと」「つくってみたこと」などをメモや印で記録したり、感想を書いたりなど適切な大きさの表や枠が設定されており、言語活動の充実や対話的な学習の手立てとなっている。特に6年では、全ての領域で書き込みのページが設けられている。(4年 p.40, p.49, 6年 p.18, p.20, p.22, p.30, p.33, p.35, p.37)</p> <p>・作った旋律を、友達とつながり対話的、協働的な学びに広げている。(1年 p.48)</p> <p>④・学習意欲を引き出すための興味・関心につながるポイントとして6年間の教科書の全てにキャラクターが使用されている。</p> <p>・主体的な学びのサポートとなるように、「見つける」「考える」「うたう」「演奏する」「つくる」の視点で、学びを深めたり、広めたりするためのポイントが書かれている。</p> <p>・音楽がどのように生活・社会と関わっているかが巻頭にあり(3年から)、音楽に対する視野や価値を広げたり、学習の意欲を高めたりすることができる。</p> <p>・1年～4年の「育てよう」のコーナーでは、子どもたちが協力して楽しみながら主体的に学べる手立てが示されている。</p>
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・文字や色の変化により視覚的に想像を膨らませることができ、声による音楽づくりの手がかりになっている。</p> <p>②・資料巻末には、「音楽のもと」まとめを掲載しており、それぞれの学年で学習する「音楽を形づくっている要素」を適宜確認できるようにしている。</p>	<p>①・楽譜や歌詞、文については、無地や単色の部分に配置されていたり、ハイライト表示にされていたり、見やすさや読みやすさが工夫されている。(4年 p.44)</p> <p>②・曲の題名が全学年同じデザインで書かれており、曲を見付けやすい。</p> <p>・目次で「こころのうた」(共通教材)、歌いっごう「日本の歌」が一覧になっており把握しやすい。</p>
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・4年の「日本の楽器をたずねて」では、こと(箏)について楽器の特徴や奏法、楽譜について、写真や図で簡潔な内容でまとめられている。(4年 p.62)</p> <p>・低学年には子どもの写真と絵を組み合わせた挿絵があり、教科書に親しみやすくなっている。</p> <p>・1年時の鍵盤ハーモニカ、3年時のリコーダーでは、子どもが着実に習得できるように奏法についてイラストや写真で発達の段階に合わせて構成が工夫されている。</p> <p>・表紙の絵が、わくわく感が広がるイメージである。</p> <p>・4年からの教科書の冒頭ページでは、様々なジャンルの芸術家のメッセージを掲載しており、子どもたちの音楽の学びへの意欲につながっている。</p> <p>・オペラ、ミュージカル、祭り等、世界や郷土の音楽という多様な音楽に触れられ、写真もきれいで場面を想像しやすい。</p> <p>②・写真が学習の様々な場面で多様に使用されている。また「日本のうた」では、3年までは見開きの写真、4～6年までは、より日本の美しい自然や四季を感じ取れるように、3つ折りの写真が掲載されている。(3年 pp.40-41, 6年 pp.10-11)</p> <p>・「日本のうた」では、言葉の意味についての補足部分は、次のページに分かりやすく掲載されている。</p>	<p>①・4年「日本の音楽でつながろう」では、箏の特徴や奏法について多くの写真が多様な視点で掲載されている。</p> <p>・挿絵や写真は、学習のねらいに合わせて、発達の段階に応じた大きさと適切な情報量で配置されている。</p> <p>・1年の鍵盤ハーモニカ、3年のリコーダーでは、初めのページに楽器の構造を写真で大きく分かりやすく示している。</p> <p>・ナビゲーター役として出てくるキャラクターが統一されており、学びの継続性が得られる。</p> <p>・表紙の絵が学年に応じて、人も楽器も増えていき、音楽の広がりを感じられる。</p> <p>・キャラクターの絵が多様性について配慮されたものとなっている。</p> <p>・リコーダーの穴番号が表記されていて、子どもの指導やリコーダーの理解に有効である。</p> <p>②・共通教材の歌詞の注釈を同じページに載せてあり分かりやすい。</p>
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・「音楽づくり」では、「音のスケッチ」という項目で、創作の意欲を引き出すための学習の手順を分かりやすくイラストや図などで示されている。</p> <p>・「もっとあそぼう」というコーナーがあり、発展的な活動を紹介している。意欲が増す構成になっている。</p> <p>・全学年共通の教材曲があり、全校合唱の指導等に役立つ。「音楽のおくりもの」「さんぼ」</p>	<p>①・「音楽づくり」では、創作の意欲を引き出すためにワークシートでどの子も取り組みやすくなっている。(1年 p.48, 2年 p.41, 4年 p.62, 5年 p.39, 6年 p.23)</p> <p>・既習曲からの学習のつながりをもとに、キャラクターの吹き出しの言葉を手がかりとして、意欲をもってグループ学習ができるように工夫されている。</p>
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>○大分ゆかりの滝廉太郎の曲が掲載されている。</p> <p>・1年「おしょうがつ」6年「荒城の月」「箱根八里」(1年巻末, 6年 p.82)</p> <p>・6年巻末の「にっぽんのうた みんなのうた」では、滝廉太郎の歌が楽譜や歌詞、プロフィールとともに掲載されている。(6年末巻)</p> <p>○5年「日本の民ようをたずねて」では、大分県の民謡「鶴崎踊り」が掲載されている。(5年 p.40)</p>	<p>○大分ゆかりの滝廉太郎の曲が掲載されている。</p> <p>・1年「おしょうがつ」6年「花」「箱根八里」「荒城の月」(1年 p.79, 6年 pp.36-39)</p> <p>・6年では「花」「箱根八里」「荒城の月」が詩と音楽との関わりを味わう学習のねらいに沿って掲載されている。</p> <p>○3年「ちいきに伝わるまつりばやし」で「日田祇園囃子」が掲載されている。(3年 p.63)</p>
<p>備考</p>	<p>○ショートタイムラーニング(Short Time Learning)では、他教科と関連させ、短時間で横断的な学習教材として扱えるように提示されている。</p> <p>・国語の物語の歌や九九の歌、外国語の歌、手話で歌える歌が掲載されており、他教科とのつながりがある。(1年 p.62, 2年 p.70, 3年 p.72, p.73)</p> <p>○SDGsの内容に触れた歌や内容が掲載されており、音楽から様々な学びへとつなげている。(5年 p.65)</p>	<p>○3年から英語の歌が入っているので、外国語の学習と関連付けることができる。(3年 p.77, 4年 p.79, 5年 p.72, 6年 pp.64-65)</p> <p>○6年アンサンブルの学習の前に、「著作権」についての概要を記載されており、高学年での権利学習の機会を設けている。(6年 pp.24-25)</p>

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (図画工作)

報告者 部長：衛藤 俊明

副部長：岡本 早苗

発行者番号	9
発行者名	開隆堂出版
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習(言語活動等)が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・各学年における題材は、発達の段階に応じて実践に適切な季節や行事との関係、内容(造形遊び、絵、立体、工作、鑑賞)、学習指導要領で扱われる用具・材料によって系統的に構成され、カリキュラム順に配列されている。</p> <p>・学習指導要領に示されている3つの資質・能力(「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」)をバランスよく育成できるように6年間を通して考えられている。各題材では、3つの目標のうち、1つを中心的な目標として強調して示し、主な目標に対応したキャラクターが子どもの学習を深める支援を行うように全編を通して編集されている。</p> <p>・身近な材料を使った題材から始まり、段階的に発想や構想を広げていけるよう系統的に題材配列が工夫されている。また、表現と鑑賞を一体的に扱ったり、一つの題材での学習が次の題材につながったりするように題材と題材のつながりが工夫されている。</p> <p>・図画工作科で大切にしたいことや育てたい力が「学習のめあて」として明示され、子どもの自己評価「ふりかえり」と併せて、学習の目標、内容及び育てたい力との関連が明確になっており、資質・能力の定着が図られる構成となっている。</p> <p>②・題材ページや巻末の「学びの資料」で、材料についての知識や用具の扱い方、技法等、基本的な内容がポイントを焦点化して提示され、学年に応じて系統的にまとめられている。</p> <p>③・題材ページで子どもの思考・判断・表現する姿が写真や吹き出しで提示されている。「学習のめあて」に対応したキャラクターが、主体的・対話的で深い学びへ子どもを導くようになっている。</p> <p>④・作品だけでなく、造形に関わっている人(生き生きと活動する子ども、作家)の姿を掲載することで、子どもの「楽しそう」「やってみたい」という気持ちを促している。</p> <p>・各題材には、図画工作の学習と他教科や学校生活を関連付けるヒントの例を「あわせてまなぼう」として示し、子どもが主体的に学べるように工夫されている。</p>
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・低学年では子どもたちに呼びかけるような文章が多く、学年が上がると敬体で作品の説明が書かれている。</p> <p>・リード文や吹き出しの中の文章が読みやすいように、改行が工夫されている。</p> <p>・学年に合わせて文字の大きさや行間を調整しているため、読みやすい。</p> <p>・コントラストや文字の背景色等、カラーユニバーサルデザインに配慮し編集されており、字の大きさも適切で、より見やすい紙面となっている。</p> <p>②・発想豊かな作品が資料として提示されている。</p> <p>・活動している子どもの写真が掲載されており、活動の見通しをもちやすくなっている。</p> <p>・各題材の振り返りや教科書全体のまとめ、振り返りを促す文章が記載されている。</p> <p>・各題材に必要な道具が分かりやすいイラストで位置に示されており、技法や用具の使い方等で関連のある資料ページが紹介されている。</p> <p>・各題材に二次元コードが掲載され、用具の使い方や作り方の動画、作品を見ることが出来る。また、「作品カード」や「ふりかえりシート」等の資料がダウンロードできるようになっている。二次元コードのコンテンツが多い。</p> <p>・発想・構想を広げることが中心的な課題となっている題材では、紙面で発想・構想を促すような投げかけがされている。また、二次元コードから「アイデアシート」を利用できるようになっている。特に「ひらめきショートチャレンジ」では、短時間で発想の方法を知り、気軽に実験的に楽しみながら表現することで、造形的な発想の方法(見方や考え方)を学ぶことができるようになっている。</p>
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・発想豊かな作品が提示されている。色彩が鮮やかである。また立体作品では、高さ等も表示されており、大きさが想像しやすい。</p> <p>・使用する道具や材料がイラストと文字でかかれている。</p> <p>・写真における子どもの表情が分かりやすい。</p> <p>・巻頭の見開きページに目次と各教材の写真が掲載されており、1年間の活動の見通しがもちやすい。</p> <p>・図版に番号が打ってあるので、子どもに指導がしやすい。</p> <p>②・題材ページには、子どもの活動の場面や作品の写真が大きく掲載されており、メリハリのある楽しい紙面となっている。</p>
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p> <p>・A表現(1)発想や構想に関する項目</p> <p>・A表現(2)技能に関する項目</p> <p>・B鑑賞(1)</p> <p>・[共通事項]</p>	<p>①・「A表現」と「B鑑賞」の学習を通して育成する3つの力をキャラクターで表し、図画工作科の特徴が分かりやすく示されている。</p> <p>・表紙に教科書の題名が付いており、発達の段階に応じて図画工作科で大切にしたいテーマが子どもに分かりやすく示されている。</p> <p>・題材名に活動とその結果できる作品の内容が表されており、子どもがイメージしやすい。</p> <p>・各題材の「タブレットたんまつで見てみよう」では活動の紹介やワークシート等の提供がされており、子どもも教師も図画工作科でICTを活用しやすいように編集されている。</p> <p>・各題材は、楽しい題材名、分かりやすいリード文で学習への意欲を喚起するように構成されている。二次元コードから見られるデジタルコンテンツ「はじめに」動画では、キャラクターが登場してこれから始まる学習の内容や重点課題を分かりやすく説明している。指導者にとっても授業の導入が分かりやすいようになっている。</p> <p>・造形的な面白さを感じ取り、自分の見方を広げる情景写真が大きく掲載されている。表現題材でも友人の作品を鑑賞する様子が掲載されている。地域素材や伝統文化を含む多様な造形を取り扱う「みんなのギャラリー」が設定されている。</p>
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・大分市の子どもが見学に行ける地域素材を使った活動や別府竹細工の作品を紹介している。(3・4年下 p.23)</p> <p>・大分県立美術館が中心となって取り組んでいる「地いきの色・自分の色」の活動が取り上げられており、子どもが親しみをもって学習に取り組むことが期待できる。(3・4年下, p.57)</p>
<p>備考</p>	

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (図画工作)

報告者 部長：衛藤 俊明

副部長：岡本 早苗

<p>発行者番号</p>	<p>116</p>
<p>発行者名</p>	<p>日本文教出版</p>
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・全ての題材において表現と鑑賞が一体的に学習できるよう配慮されている。教科の目標に基づく「学習のめあて」を設け、資質・能力の3つの柱（「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」）の育成が実現できるよう工夫されている。子どもが自分の感覚や行為を通して造形的な視点（知識）について理解できるよう、感覚や行為を大切にしたい題材が扱われている。また、低・中・高学年と経験を重ねていけるよう、題材が配置されている。</p> <p>・思いや考えを基に構想し、意味や価値を創造していくことができるように、多様な発想のきっかけとなる題材が配列されている。子どもが創造的に発想や構想をすることができるように、その手がかりとなる多様な情景写真や参考作品が掲載されている。また、より発想や構想を広げ深めることができるように、作品コメントや製作過程のワークシート等も掲載されている。</p> <p>・巻頭の「学習の進め方」では、活動やめあてを確認し、教科の目標に沿って学習を進めていく流れを、イラストとともに分かりやすく示している。</p> <p>・各題材に「学習のめあて」が示されており、子どもが見通しをもって学習を進められるよう配慮されている。また、活動の終わりには振り返りを促す問いかけがあり、身に付いた力を子どもが自覚するとともに、学びを次の活動につないでいけるよう工夫されている。</p> <p>②・題材ページに、「特に大切なめあてのヒント」（表現のヒント）「かん賞のヒント」を示すことで、子どもが造形的な見方・考え方を働かせながら活動できるよう促し、知識や技能の習得・活用を助ける工夫がされている。</p> <p>・巻末の「材料と用具のひきだし」で、材料についての知識や用具の扱い方、技法等、基本的な内容が詳しく提示されており、学年に応じて系統的にまとめられている。</p> <p>③・題材ページに子どもの思考・判断・表現する姿や友達と協働して活動する姿が写真や吹き出しで多く提示されている。キャラクターからの言葉や巻末の「アート・カード」が主体的・対話的で深い学びへ子どもを導くようになっている。特に高学年では、「ミニ・アートカード」を自分で作れるようになっており、より美術作品を手元で親しむことができやすいように工夫されている。</p> <p>④・作品や授業における様々な場面の写真を掲載することで、子どもの「やってみよう、自分ならこうしたい」という気持ちを促している。</p> <p>・各題材に他教科等との関連が簡潔に示されている。</p>
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか。</p>	<p>①・低学年では呼びかけるような文章が多く、学年が上がると敬体で作品の説明の文章が書かれている。</p> <p>・学年に合わせて、文字の大きさを調整している。</p> <p>・コントラストや文字の背景色等、カラーユニバーサルデザインに配慮し編集されている。</p> <p>②・発想豊かな作品が資料として提示されている。</p> <p>・活動している子どもの写真や感想が多く掲載されており、活動の見通しがもちやすくなっている。</p> <p>・活動の見通しをもったり、振り返りを促したりする吹き出しなどが多く使われている。</p> <p>・題材ごとに、片付けや安全指導についての留意点が詳しく記載されている。</p> <p>・題材ページに技法や用具の使い方等で関連のある資料のページが紹介されている。また二次元コードも掲載され学習の手引きとなっている。</p>
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・発想豊かな作品が提示されている。色彩が鮮やかである。</p> <p>・実際の授業を撮影した写真が用いられ、子どもが親近感をもち、写真の豊かな表情に触発されながら、活動に興味・関心をもつことができるよう工夫されている。</p> <p>・立体作品では、高さ等も表示されており、大きさが想像しやすい。</p> <p>・題材で使用する道具や材料がイラストと文字でかかっている。</p> <p>・造形的な見方・考え方を働かせ、紙面全体を通して、自分のイメージをもちながら意味や価値をつくり出すことができるように、図版や吹き出しなどが配置されている。</p> <p>・目次が表紙裏にあって、使いやすい。ただし1・2年上では、入門期の子どもが扱いやすいように目次や見開きページの位置が工夫されている。</p> <p>②・資料となる作品や作成中の様子等の写真が多く配置されている。手元を映した写真が多く、具体的にどのように手を動かせばいいのかを子どもがイメージしやすい。</p>
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p> <p>・A表現（1）発想や構想に関する項目</p> <p>・A表現（2）技能に関する項目</p> <p>・B鑑賞（1）</p> <p>・〔共通事項〕</p>	<p>①・「A表現」と「B鑑賞」の学習内容が豊富に盛り込まれており、自ら活動したくなるように編集されている。</p> <p>・題材名からどんな活動をするのか、子どもが分かりやすい。</p> <p>・作品例や活動中の写真が多く掲載されており、発想や構想の手がかりとなる。</p> <p>・題材は、子どもが多様な興味・関心をもつことができるように、様々な発想のきっかけから活動に取り組めるものになっている。</p> <p>・造形的な面白さを感じ取り自分の見方を広げる情景写真が大きく掲載されている。表現題材でも友人の作品を鑑賞する様子が掲載されている。伝統文化を含む多様な造形を取り扱う「教科書美術館」が設定されている。</p>
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあがり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・大分市の大分県立美術館所蔵の展示作品が紹介されている。（5・6年上、p.23、p.57）</p> <p>・大分県日田市の小鹿田焼の作品が紹介されている。（5・6年下 p.29）</p>
<p>備考</p>	

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (家庭)

報告者 部長：松本 紀子

副部長：工藤 千加子

発行者番号 発行者名	2 東京書籍	9 開隆堂出版
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習(言語活動等)が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・題材数は5年8,6年7である。2年間を見通し、発達の段階に応じた題材構成になっている。</p> <p>・5年「ものを生かして住みやすく(かたづけ・そうじ)」,6年「夏をすずしくさわやかに」「冬を明るく暖かく」となっており、関連性のある内容を同じ学年に配列している。</p> <p>・「見つめよう」「計画しよう・実践しよう」「生活に生かそう・新しい課題をみつけよう」というステップで学習を進めている。</p> <p>・6年のミシンの学習は2学期,5年は3学期に設定されている。</p> <p>・6年の「消費生活・環境」に関する内容は、「家庭生活」の中で扱われている。</p> <p>・導入では、自分の生活を振り返り、話し合うことにより、課題を見付けていくような問いが設定されている。</p> <p>②・身に付けたい基礎的・基本的な知識及び技能については、巻末に資料として示されている。</p> <p>・実習の活動後にある「できたかな」の場面で、技術の習熟度をチェックできる。</p> <p>・実習では食材の実際の大きさの写りが掲載されている。(p.88)</p> <p>③・話し合う活動が学習過程の各所に位置付けられており、様々な言語活動が行われるように示されている。「話し合おう」「調べよう」「やってみよう」「深めよう」などの学習活動が示されている。</p> <p>④・題材の初めに、生活実態が写真やイラストで掲載され、興味・関心をもって学びに向かうことができるようになっている。</p> <p>・2年間の成長の記録が書き込み、見開きで確認できるようになっている。(p.6, p.7)</p> <p>・「深めよう」では、学習したことを生かして、更に実践できるような例が掲載されている。</p> <p>・「夏休みわくわくチャレンジ」「生活を変えるチャンス」など、家庭での課題を見付け、今までの学習を生かした活動ができるようにしている。</p> <p>・単元ごとに「プロに聞く！」として、キャリア教育について関連のある内容が記載されている。</p> <p>・2年間の学びの振り返りができる。(p.135)</p>	<p>①・題材数は5年11,6年9である。2年間を見通し、発達の段階に応じた題材構成になっている。</p> <p>・目次に学年の表記がなく、各学校で題材の入れ替えを行うことができる。</p> <p>・題材が細かく構成されており、前年度の学習を振り返り、次の学年で更に深められるようになっている。</p> <p>・「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」というステップで学習を進めている。</p> <p>・5・6年のミシンが2学期に設定されている。</p> <p>・「消費生活・環境」の項目について、5年「消費生活」、6年「環境」として扱っている。</p> <p>・導入では、自分の生活の中から課題を見付けられるような問いが設定されている。</p> <p>②・身に付けたい基礎的・基本的な知識及び技能についての資料が巻末や裏表紙に示されている。</p> <p>・実習の活動後にある「できたかな」の場面で、技術の習熟度をチェックできる。</p> <p>・実習では食材の実際の大きさの写りが掲載されている。(p.149)</p> <p>③・話し合う活動が学習過程の各所に位置付けられており、様々な言語活動が行われるように示されている。「調べよう」「やってみよう」「考えよう」「生かす・深める」の学習活動が示されている。</p> <p>④・題材の初めに生活実態が写真やイラストで掲載され、興味・関心をもって学びに向かうことができるようになっている。</p> <p>・人物が登場する写真が多く、身近な場面を想像しやすい。</p> <p>・題材ごとに「学習のめあて」「学習を振り返ろう」「生活に生かそう」があり、これからの生活に生かしていきたいことを記入する欄がある。</p> <p>・題材の最後の「生かす・深める」では、学習したことを生かして実践につなげたり、更に考えを深めたりすることができるようになっている。</p> <p>・「レットトライ！生活の課題と実践」では、自分の生活をよりよくするための計画の仕方や例も詳しく示されている。</p> <p>・単元の終わりや巻末に「キャリアインタビュー」としてキャリア教育について関連のある内容が記載されている。</p> <p>・中学校での学習内容を示し、2年間の学びがどのようにつながっていくのか確認できる。(pp.136-137)</p>
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・資料が多数掲載されており、情報量が多い。</p> <p>・子どもの主体的な学びを促す文末表現で記述されており、難しい語句には振り仮名がふられていたり、重要語句は太字で示されたりしている。</p> <p>②・作業手順を左から右に見開きで示し、細かな解説が掲載されている。</p> <p>・生活の営みに係る見方・考え方の4つの視点が各単元の始めに示されており、単元ごとに学習する視点が明確になっている。</p> <p>・二次元コードが各ページに付いており、コンテンツが利用できる学習項目については、マークで示されている。(二次元コードの数は68)</p> <p>・動画資料の中に、左利き用のコンテンツが多く含まれている。</p> <p>・キャリア教育、環境教育、SDGsを扱う資料がある。</p> <p>・他教科との関連が分かるように学習項目が「リングマーク」で示されている。(項目数は27)</p> <p>・実習の手順が左から右へ示されている。見開きで2段にわたって示されているものもある。</p>	<p>①・資料が多数掲載されており、情報量が多い。</p> <p>・子どもの主体的な学びを促す文末表現で記述されており、難しい語句には振り仮名がふられていたり、重要語句は太字で示されたりしている。</p> <p>・テーマごとに色分けがされている。</p> <p>②・作業手順を左から右に見開きで示し、細かな解説が掲載されている。</p> <p>・生活の営みに係る見方・考え方の4つの視点が各単元の始めに示されており、単元ごとに学習する視点が明確になっている。</p> <p>・二次元コードが各ページについており、コンテンツが利用できる学習項目については、マークで示されている。(二次元コードの数は66)</p> <p>・動画資料の中に、左利き用のコンテンツが含まれている。</p> <p>・キャリア教育、環境教育、SDGsを扱う資料がある。</p> <p>・他教科との関連がきちんと分かるように学習項目が「関連マーク」で示されている。(項目数は22)</p> <p>・実習の手順が左から右へ示されている。見開きで1段にわたって示されている。</p>
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・等身大の小学生と重なる登場人物やキャラクターを使って子どもの興味・関心を高めるようにしている。</p> <p>・キャラクターの吹き出しで学習ポイントを示唆している。</p> <p>・人物がイラストで描かれているものが多い。</p> <p>②・基礎的・基本的な知識及び技能の習得のために、大きさの目安となる実寸写真(p.88)や手元の拡大・利き手ごとの写真(p.137, p.138, p.139, p.141, p.143)が掲載されている。</p> <p>・5・6年共通した参考資料が巻頭4ページ,巻末11ページにまとめられている。</p> <p>・A4版,重さ340グラム,総ページ数149ページ,用紙が薄手である。</p> <p>・ページ数の隣に内容に関連のある簡単な英単語が紹介されている。</p>	<p>①・等身大の小学生と重なる登場人物やキャラクターを使って子どもの興味・関心を高めるようにしている。</p> <p>・キャラクターの吹き出しで学習ポイントを示唆している。</p> <p>・イラストに外国の子どもや車いすを使用している子どもなどが描かれ、多様性に配慮している。</p> <p>②・基礎的・基本的な知識及び技能の習得のために大きさの目安となる実寸写真や手元の拡大・利き手ごとの写真(p.149)が掲載されている。</p> <p>・5・6年共通した参考資料が巻末11ページにまとめられている。</p> <p>・A4版,重さ362グラム,総ページ数153ページ,用紙が厚手である。</p> <p>・ページ数の隣に内容に関連のある簡単な英単語が紹介されている。</p>
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p>	<p>①・目次から2年間の学びが分かるように構成されている(色を使って衣・食・住が分かるようにしている)</p> <p>・SDGsの視点を持ち、生活の中から課題を見付け、学校で学んだことを家庭生活での実践につなげられるよう、「生活を変えるチャンス」が設けられている。また、参考例に作り方が詳しく示されている。</p> <p>・安全、環境、日本の伝統、日々の備えなど、生活課題がマークで示されていたり、「プロに聞く」や「いつもたしかめよう」など、子どもたちが家庭科に興味をもつようなコーナーが設けられていたり工夫がみられる。</p> <p>・資料が多数あり、写真や挿絵を使い、視覚的にも科学的にも理解を深めることができる。また、二次元コードが随所にあり、動画、資料、活動のコンテンツを分けて掲載している。</p> <p>・実際の生活場面の流れに即した単元構成になっている。</p>	<p>①・目次から2年間の学びが分かるように構成されている。(色を使って衣・食・住が分かるようにしている)</p> <p>・生活の中から課題を見付けて取り組む「生活の課題と実践」を5つのステップで示し、具体例をヒントに自分の「生活の課題と実践」に取り組みやすくしている。</p> <p>・安全、環境、消費、防災、伝統など、生活課題がマークで示されていたり、「キャリア」や「参考」など、子どもたちが家庭科に興味をもつようなコーナーが設けられていたり随所に工夫がみられる。</p> <p>・資料が多数あり、写真や挿絵を使い視覚的にも科学的にも理解を深めることができる。また、二次元コードが随所にあり、動画、資料、活動のコンテンツを分けて掲載している。</p> <p>・環境とのつながりを意識できるよう、5年と6年のつなぎのページをSDGsの視点で振り返られるようになっている。</p> <p>・家族の多様性を取り入れている。(p.9)</p> <p>・2年間の学習が、段階的にかつスパイラルに配列されているので、発達の段階に応じた学習の深め方ができる。</p>
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・夏休みや冬休みにおいて、自主的に取り組める課題が紹介されている。</p> <p>・片付けでは、身近なお道具箱が教材として取り上げられている。</p> <p>・SDGsにつながる取組が紹介されている。</p>	<p>①・各地に伝わるみそ料理として、大分県の「だんごじる」が紹介されている。(p.57)</p> <p>・片付けでは、身近なお道具箱が教材として取り上げられている。</p> <p>・SDGsにつながる取組が紹介されている。</p>
<p>備考</p>		

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (保健)

報告者 部長：野尻 卓宏

副部長：福田 智弘

発行者番号	2	4
発行者名	東京書籍	大日本図書
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・単元・題材構成は、学習指導要領に沿ったものになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達の段階に即した日常生活と結び付く内容で分かりやすく、振り仮名も多いために理解しやすい。 ・各学年の目標に応じた、相応の展開が望める。 ・学習の道筋が「ステップ1～ステップ4」と統一され、知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等を育む言語活動が充実し、主体的・対話的で深い学びができるように工夫されている。また内容が見開き1ページにまとめられているページが多く、学びやすいと考えられる。 ・穴埋め式のまとめを内容ごとに配置しているため、理解の定着が望める。(3, 4年) ・導入やまとめが全体を通して決まった場所に明記されているため、適切である。 <p>②・大切な用語や知識が太字で示されており、それを基にしたまとめがある。</p> <p>③・日常の振り返りや資料が導入で用いられており、子どもが考えを表現しやすく、まとめやすい構成となっている。</p> <p>④・課題や問いが掲載されていて、学習の振り返りもできるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「実習」という項目があり、体験的活動が取り入れられている。(5, 6年 p. 16, p. 41) ・自分の成長の記録(身長)が残るような調べ学習が取り入れられており、ワークシートとして使いやすい。(3, 4年 pp. 28-29) 	<p>①・単元・題材構成は、学習指導要領に沿ったものになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達の段階に即した日常生活と結び付く内容で分かりやすく、振り仮名も多いために理解しやすい。 ・各学年の目標に応じた、相応の展開が望める。 ・学習活動の道筋が「つかむ・考える・話し合う・活かす」と統一され、知識・技能の習得や思考力・判断力・表現等を育む言語活動が充実し、主体的に学べるように工夫されている。 ・まとめで振り返りと今後の生活に生かすものを内容ごとに配置している。 ・導入やまとめが全体を通して決まった場所に明記されているため、適切である。 <p>②・キャラクターごとに、疑問、配慮、指導などの役割が決まっており、必要な場所で明記されている。</p> <p>③・「つかもう」「話し合おう」の活動の明記があり、生活体験や資料の読み取りから活動が行われるよう工夫されている。</p> <p>④・導入で絵図を用いており、生活につなげる工夫がされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「活かそう」の項目を設け、自分自身の生活での注意点などを考え、記述または選択する箇所がある。 ・自分の成長の記録(身長・手の大きさ)が残るような調べ学習が取り入れられており、ワークシートとして使いやすい。(3, 4年 pp. 25-27)
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・文字の大小により、見出しや資料説明など重要度が異なる扱いとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に読み進めることができる文節、振り仮名、敬体表記となっている。 ・吹き出し内の色や文字の色に工夫が見られる。 <p>②・写真やイラストを使って考えたり、統計、調査などから分かることを出し合ったりすることのできる有効な資料を用いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードも適切に配置されており、活用しやすくなっている。 ・ページ内に語句の説明や他教科との関連が明記されており、発展的な活動が見込める。(3, 4年 p. 15, p. 19, p. 23, p. 28, p. 31, p. 32, p. 36, p. 40) ・(5, 6年 p. 29, p. 33, p. 37, p. 38, p. 47, p. 57, p. 58, p. 63p., 67, p. 75, p. 76) 	<p>①・ポイント数の大きな文字を多用し、見やすい表記になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に読み進めることのできる振り仮名、敬体表記となっている。 ・読みやすい位置で改行されている。 <p>②・イラストを使って考えたり、統計、調査などから話し合ったりすることのできる資料を用いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ページ下に、内容に関する「ミニちしき」を多用している。
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・内容に応じた挿絵や写真を豊富に用いており、視覚的に分かりやすくなっている。統計資料も効果的に配置されている。資料は詳しい説明がなされており、理解を深めるのに役立っている。(表・グラフ 56 写真 189 計 245)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様性に配慮したキャラクターを使い、学習を進められるようになっている。 <p>②・図版の大きさ、余白は適切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印刷は鮮明である。 	<p>①・内容に応じた挿絵や写真を用いており、視覚的に分かりやすい。統計資料も効果的に配置されており、知識・技能の習得や思考力等の育成にも役立っている。(表・グラフ 38 写真 149 計 187)</p> <p>②・図版の大きさ、余白は適切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印刷は鮮明である。
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容に応じて体験的活動が組み込まれているか ・今日的課題に対応しているか 	<p>①・喫煙や飲酒を勧められた際の対応について考えさせている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年増加しつつあるサイバー犯罪に関する記述があり、マンガで分かりやすく伝えている。(5, 6年 p. 34) ・メディアルールについて考えさせる資料がある。(3, 4年『コンピュータの使用とけんこう』) ・熱中症、心肺蘇生(ASUKAモデル)についての詳しい記述がある。(5, 6年 pp. 42-43) ・相談窓口をたくさん掲載している。 ・新型コロナウイルス感染症についての記述があり、健康な生活について考えさせている。また、マスクの正しい着け方の説明もあり、感染予防の知識も得られるようになっている。 ・性の多様性や個人の価値の尊重に配慮した記述がある。 	<p>①・喫煙や飲酒、薬物乱用を勧められた際の対応について考えさせている。(5, 6年 p. 64)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンやスマートフォンの使い方等、メディアルールについて考えさせる資料がある。 ・熱中症、心肺蘇生についての記述がある。 ・性の多様性や個人の価値の尊重に配慮した記述がある。 ・ジェンダーに関する悩みを載せている。(5, 6年 p. 17) ・LGBTについての記述がある。(3, 4年 p. 39) ・相談窓口をたくさん掲載している。また、困ったときの対応として公衆電話の使い方の説明もある。 ・不安や悩みがあるときの対処法として、体育(体ほぐしの運動)と連動した内容を載せている。 ・新型コロナウイルス感染症についての記述があり、健康な生活について考えさせている。
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあがり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・生活リズムの大切さを取り扱い、自己チェックする資料が掲載されている。(3, 4年 p. 16)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故防止や犯罪被害防止について、具体的な記述が実態に合っている。 ・「早寝・早起き・食事」や「いろいろな運動の取組」を推奨する内容が記述されている。 ・地震から身を守る方法を考えさせるなど、大分市の子どもたちにとっても役立つ内容を載せている。 	<p>①・導入の教材が、現代を生きる子どもたちにとって学習内容が把握しやすい問題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯体育、健康生活につながる資料が掲載されている。 ・「早寝・早起き・朝ご飯」についての記述がある。 ・緊急通報ダイヤルやチャイルドライン、110番など、カードを切り取り、持ち歩けるようにしており、大分市の子どもたちの生活面での安全にも有効活用できる。
<p>備考</p>		

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (保健)

報告者 部長：野尻 卓宏

副部長：福田 智弘

発行者番号	207	50
発行者名	文教社	大修館書店
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習(言語活動等)が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・単元の題材構成においては、学習指導要領に沿ったものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達の段階に合わせており、日常生活と結び付く内容で分かりやすい。 ・発達の段階に考慮した適切な指導ができるよう、多くの漢字に振り仮名がある。 ・各学年の目標に応じての学習展開が望める。 ・「学習のまとめ」が決まった場所に明記されている。 ・学習の理解や定着のために、考えたり話し合ったりする活動が仕組まれている。 ・学習課題とまとめが対応しており、分かりやすい。 <p>②・大切な用語や知識は、同色で表示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各時間の始めに、「ちょっと思うこと」として、タイトルから子どもが自分事として捉え、共感できる吹き出しを入れている。 <p>③・「学習のめあて」があり、「本時のMenu」とし、この時間に学習することが分かりやすく示されており、進んで学習していけるよう工夫されている。</p> <p>④・各単元の最後に「わたしの〇〇宣言」があり、学習した後にこれからの自分に課題を考え取り組んでいけるような工夫がされている。</p>	<p>①・単元の題材構成においては、学習指導要領に沿ったものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達の段階相応の日常生活と結び付く内容で分かりやすく、発達の段階に考慮した適切な指導ができるよう、多くの漢字に振り仮名がある。 ・「課題をつかもう」「今日の課題」と、本時の課題を明記した上で、「考えよう」「調べよう」「話し合おう」「やってみよう」と学習活動が展開され、最後に「まとめ/生かそう・伝えよう」という「導入活動」「課題解決活動」「学んだことのまとめ活動」の3つのステップで構成している。 ②・「考えよう」では、まず自分なりの考えを記述する場を設定している ・大切な用語や知識は、同色のくりに記述されている。 ③・始めに「課題」が示され、ステップ①→ステップ②→ステップ③の流れで、学習を進めている。ステップ②で友達と話し合っ自分の考えを交流し合うようになっている。 ・キャラクターが思考のきっかけを提供し、友達と話し合い、互いの考えを共有する対話的な活動の場を豊富に用意し、思考力・判断力・表現力等を育成できるようにしている ④・各単元の最後に、資料のページが掲載されており、学習を広げたり深めたりするようになっている。 ・単元の最後には、振り返りのページがあり、これからの自分の生活に生かしていけるようにしている。 ・ウェブサイトの紹介数が多く、クイズなどにチャレンジし学習したことが確かめられるようにしている。
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・見出しと説明との違いがはっきりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に読み進めることのできる振り仮名、敬体表記となっている。 ・囲み、吹き出しにより見やすい配置になっている。 <p>②・写真とイラストを使って考えたり、統計、調査などから分かることを出し合ったりすることのできる有効な資料を用いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くのページ下部に「つぶやきくん」が掲載され、ミニ知識やメッセージなどが示されている。 ・デジタルコンテンツやウェブサイトの紹介数が多い。(18) ・幅広い知識を身に付けるための工夫として、題材の終わりに「Episode」「もつと考えよう課」というコーナーを設けている。 	<p>①・見出しと説明との違いがはっきりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に読み進めることのできる振り仮名、敬体表記となっている。 ・囲み、吹き出しにより見やすい配置になっている。 <p>②・写真とイラストを使って考えたり、統計、調査などから分かることを出し合ったりすることのできる有効な資料を用いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルコンテンツやウェブサイトの紹介数が多い。(3, 4年 5, 6年 計50個程度)
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・内容に応じた挿絵や写真が用いられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計資料が効果的に配置され、考えたり理解を深めたりするのに役立っている。(表・グラフ19 写真193 計212) <p>②・図版の大きさは適切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印刷は鮮明である。 	<p>①・内容に応じた挿絵や写真が用いられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計資料が効果的に配置され、考えたり理解を深めたりするのに役立っている。(表・グラフ44 写真142 計186) <p>②・図版の大きさは適切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印刷は鮮明である。
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容に応じて体験的活動が組み込まれているか ・今日的課題に対応しているか 	<p>①・喫煙、飲酒、薬物の害について分かりやすく説明したり、勧められた際の対応について考えさせたりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車事故を防ぐための記述がある。 ・SNSトラブルについての記述がある。 ・自然災害への備えについての記述がある。 ・性についての理解を深めるために、SDGsと関連した説明をしている。 ・不安や悩みへの対処では、実習を通した対処の方法が示されている。 	<p>①・喫煙、飲酒、薬物の害について分かりやすく説明したり、勧められた際の対応について考えさせたりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車事故を防ぐための記述がある。 ・SNSトラブルスマホ・ゲーム依存についての記述がある。 ・自然災害への備えについての記述がある。 ・性についての理解を深め、人間関係を築いていくことのできる記述がある。 ・新型コロナウイルス感染症、がん教育、SDGs等、保健の内容を取り上げている。
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・防災について、「自助・共助・公助」についての詳しい記述がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・むし歯や歯周病の予防についての詳しい記述がある。 ・歯の磨き方が掲載されている。 ・各所に生活習慣等のチェックコーナーが設けられ、自分の生活を振り返り、改善すべき点を考える活動ができるようになっている。 ・「アスリートからのメッセージ」が掲載され、これからの人生がより豊かなものになるように、前向きで明るく楽しい生活を営んでいく上でのヒントや励ましになる。 	<p>①・むし歯や歯周病の予防についての詳しい記述がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯の磨き方が掲載されている。 ・身近な生活の中から課題を発見することができるよう、授業の導入を工夫し、課題設定がされている。 ・コラム「体育の窓」を各所に設けることで、運動領域の学習内容を保健領域で生かせるようにし、体育(運動)と健康が密接に関係していることを具体的に理解できるようにしている。 ・毎時間の学習の最後にウェブクイズを用意し、その時間に学んだ知識の確実な習得を促している。
<p>備考</p>		

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (保健)

報告者 部長：野尻 卓宏

副部長：福田 智弘

発行者番号	208	224
発行者名	光文書院	Gakken
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習(言語活動等)が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・単元の設定においては、学習指導要領に沿ったものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達の段階相応の日常生活と結び付く内容で分かりやすく、振り仮名も多い。 ・学習の流れが一目で分かるよう、単元のまとめが1ページで完結する形式で作られている。 <p>課題とまとめが対になった構成のため、分かりやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の目標に応じての学習展開が望める。 ・学習の道筋が、「①自分の生活を振り返る」「②学習の課題をつかむ」「③課題解決に向けて学習活動をする(調べよう・考えよう・話し合おう)」「④学習をまとめる」「⑤自分の生活に生かす」という構成になっている。 ・学習の理解や定着のために、考えたり話し合ったりする活動が仕組まれている。 ・学習課題とまとめが対応しており、分かりやすい。 <p>②・大切な用語や知識は、文章中に太字で明記されている。</p> <p>③・日常の振り返りや資料が、導入に用いられており、考えを表しやすく、まとめやすい構成になっている。</p> <p>④・課題や問いが掲載されていて、学習の振り返りもできるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生かそう」という項目があり、自分の生活と結び付けるとともに体験的活動を取り入れている。 ・「広げよう」「深めよう」で発展的な内容を扱うことができる。 	<p>①・単元、題材構成においては、学習指導要領に沿ったものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達の段階相応の日常生活に結び付く内容で分かりやすく振り仮名も多い。 ・各学年の目標に応じた、相応の展開が望める。 ・「学習課題のたしかめ」「①振り返ろう・予想しよう」「②学習課題をたしかめよう」「③課題の解決に取り組もう(自己解決)」「④課題の解決に取り組もう(協働的な解決)」「⑤振り返り・学びを生かそう」という構成になっている。協働的な学びの場が設定できる。 ・学習活動①から③のあとに「ほけんのはこ」として、学習事項の理解・定着を図る資料やチェックシートを掲載するなどの配慮がされている。二次元コードを読み取ることでデジタルチェックシートからの振り返りも可能である。 ・導入では、子ども自身の生活と学習内容とを結び付けるための「振りかえろう」が掲載されている。まとめは自身の考えを書き込む形式となっており、後から見返して生活に役立てられると考えられる。 <p>②・大切な用語や知識が、イラスト付きで特記されており、単元の最後には「ふり返る」「伝える」「つなぐ」が掲載されており、基礎的・基本的事項の定着が期待できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科用図書全体を通して、ワークシートと一体となったページ構成が多く見られる。 <p>③・各単元の学習活動②は、話し合ったり説明したりして課題解決に取り組む構成になっており、課題意識へ導く導入・問いが多数掲載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元によっては「つなぐ」という項目があり、既習事項や他教科、5、6年及び中学校での学習との関連が明記され、学習意欲の喚起が図られている。(3、4年 p.29, p.33, p.45 5、6年 p.27, p.38, p.56, p.80)
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・文字の大小により、見出しや資料説明など重要度が異なる扱いとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・囲み、吹き出しにより見やすい配置になっている。 ・主体的に読み進めることのできる振り仮名、敬体標記となっている。 <p>②・写真とイラストを使って考えたり、統計、調査などから分かることを出し合ったりすることのできる有効な資料を用いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くのページの下に「まめちしき」と他教科との関連などが紹介されている。 ・紙面に二次元コードを配置しており、関連する動画コンテンツをすぐに見られるようにしている。 	<p>①・文字の大小、色により、見出しや資料説明など重要度が異なる扱いとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・囲み、吹き出しを用いることで情報が見やすい配置になっている。 ・主体的に読み進めることのできる振り仮名がふられている。 <p>②・写真とイラストを使って考えたり、統計・調査などから分かることを出し合ったりすることのできる有効な資料を用いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くのページ下側欄外に「プチ」として「くわしい説明や関連情報」が紹介されている。 ・自然災害について(5、6年 pp.38-39)また犯罪の防止についての記述がある。(5、6年 pp.44-45)
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・内容に応じた挿絵や写真を用いており、視覚的に分かりやすい。イラストも優しく見やすい。統計資料も効果的に配置されている。(表グラフ20 写真122 計142)</p> <p>②・図版の大きさは適切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印刷は鮮明である。 	<p>①・内容に応じた挿絵や写真を豊富に用いており、視覚的にも分かりやすい。イラストもやさしく見やすい。統計資料も効果的に配置されている。(表・グラフ28 写真148 計176)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活を振り返る、予想する、考える、話し合う、学習を振り返る、活用する場面において、教科用図書に直接書き込みができ、思考が切れることなく学習に取り組める。 ・書き込みがしやすく消しゴムも使いやすい紙素材になっている。 <p>②・図版の大きさ、余白及び位置は適切である。</p>
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容に応じて体験的活動が組み込まれているか ・今日的課題に対応しているか 	<p>①・飲酒を勧められた際の対応について考えさせている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱中症、心肺蘇生、感染症(コロナウイルス含む)、SDGsについての記述がある。 ・相談窓口をたくさん掲載している。 ・学習内容に関する職業や専門家の人の話が多く掲載されている。 ・性についての理解を深め、人間関係を築いていくことのできる記述がある。 ・性的指向を「異性」と限定しない表記がある。 ・体が発育する時期に起こりやすい、骨や筋などをいためてしまうことなどの記述がある。(3、4年 p.38) 	<p>①・飲酒喫煙その他薬物等に対して、誘われたときの対処について考えさせている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「熱中症」、「心肺蘇生」についての記述がある。 ・新型コロナウイルス感染症についての記述がある。 ・「共生社会」の実現に向けて、身の回りのユニバーサルデザインやジェンダーフリーに関する記述がある。 ・いじめについての記述がある。 ・性についての理解を深め、人間関係を築いていくことのできる記述がある。(3、4年 p.45)
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・「早寝、早起き、朝ご飯」「運動不足と生活習慣病」「スマートフォンなどの使い方」「インターネットと依存症」を考えさせる記述がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の大切さ、運動の日常化などの記述がある。 ・「新型コロナウイルス感染症」や「感染症による差別」に関する内容が記載されている。 ・SDGsについての記述がある。 	<p>①・「早寝・早起き・朝ご飯」を推奨する内容が記述されている。(3、4年 p.12, p.42, p.43)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日的課題である犯罪被害防止について、安全な生活のために気を付けることについての記述がある。(5、6年 pp.47-48) ・パソコンやタブレットの使用についての記述がある。(5、6年 p.88) ・運動の大切さ、運動の日常化などの記述がある。 ・「新型コロナウイルス感染症」や「感染症による差別」に関する内容が記載されている。 ・SDGsについての記述がある。
<p>備考</p>		

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (外国語)

報告者 部長：河野 准一郎

副部長：八坂 博美

発行者番号 発行者名	2 東京書籍	9 開隆堂出版
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習(言語活動等)が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・単元や本時の目標が明確で、身近な題材、他教科との関連や世界の人権、多様性を考える題材を含めた単元配列である。テーマが5年では「自分→地域→日本」、6年では「世界の国々→世界と日本→中学校への扉」となっている。</p> <p>・各単元は、Starting Out(単元の内容に慣れ親しむ)－Your Turn(学習内容の定着を図る)－Enjoy Communication(コミュニケーションを楽しむ)－Over the Horizon(世界の文化を知る)というスモールステップの構成となっており、見通しをもった学習が可能である。音声や映像で重要表現に出会う導入に始まり、ペアやグループで表現に慣れ、巻末コミュニケーションカードで思いを形にして楽しむ展開である。</p> <p>・内容は、スパイラルな扱いで、頻度の高いものは繰り返し登場する。</p> <p>・学期末には、Check your Stepsの時間を設定し、学びを振り返り、確かめることができる。ポートフォリオとして使えるので、統括的評価が可能である。(6年 p.36)</p> <p>・Enjoy Communicationでは、モデル動画や「思考ツール」(クラゲチャートなど)のコーナーなど子どもが主体的に言語活動に取り組めるように工夫されている。(6年 p.37)</p> <p>・各パート共通の1ページ1時間扱いになっているので、紙面構成が明確にされている。</p> <p>・Sounds and LettersがUnitごとに設定され、音と文字をつなぐために段階的にやり残しのないように工夫されている。全ての子音と母音を確認したあと、文を読む構成となっている。</p> <p>②・豊富な歌やチャンツがある。動物たちが子どもに発話を促したり、表現のあとにささやき声が繰り返されたりするので真似してリピートしやすい。</p> <p>・書き込みスペースが多い。また、全ての単元の各ページに学習した単語や英語表現を書き写す活動があるため、単元末の活動にスムーズにつなげることができる。(6年 pp.10-11)</p> <p>・導入のListeningはストーリー性があり、単元の学習内容に入りやすい。</p> <p>③・パフォーマンスで何をすればよいか明確で、発表の形態(1対1でローテーションなど)について動画(実写)を通して具体的に分かるため、指導者が参考にしやすい。また、基本の会話文に対して、簡単な反応の言葉などがあり、子どもが参考にできる。</p> <p>④・Check Your Stepsでは、思考ツールを使って考えをまとめられるように工夫してある。(6年 p.37)</p> <p>・単元の終わりに、その単元で学習したことに関する外国のことを知る設定となっており、子どもの興味・関心を引き、世界の国々を身近に感じることができる。</p> <p>・他教科との関連が示されており、教科横断的な学習を通して知識と融合を図りながら視野を広げることができる。(6年 p.56)</p> <p>・Over the Horizonでは、世界の文化の違いや日本のよさに目を向ける活動が仕込まれている。</p>	<p>①・単元の始まりで全体像を示し、ゴールの見通しがもてる。スパイラルな構成で、定着が図られる。</p> <p>・「できるようになること」の1年間全体の見通しが、CAN-DOチェックでもつことができる。</p> <p>・5年の身近な題材から、6年の世界との関わり、中学へと題材の広がりがある。</p> <p>・単元のゴールを設定し、それに向かって、スモールステップの単元設定がされている。また、年3回、いくつかの単元が終わった後に、ペーパーテスト、パフォーマンス評価による総括的な評価ができるLet's Checkがある。</p> <p>・各単元末に、当該単元で学習した言語材料を用いた絵本的な読み物を読む活動を行うStory Timeが設定されている。(6年 p.23)</p> <p>・ページごと単元の時数があるので、分かりやすい。</p> <p>②・1ページ45分授業で構成され、見通しをもちやすい。また、音声から始まり、歌、チャンツ、ゲームと繰り返し、慣れ親しむことができ、定着を図ることができる。</p> <p>・各単元の冒頭は見開きで、イラストや写真を大きく掲載されているため興味・関心をもつことができる。</p> <p>・5年のテキストでは、3・4年で学習した内容を確認でき、6年のテキストでは5年で学習した基本表現を確認して使うことができる。</p> <p>・多くのページに「読む」「書く」活動が系統的に設定されている。</p> <p>③・「Activity3」の活動に向けて、単元を通して語彙や文を増やしていけるように工夫されている。活動の様子をイラストで、必要な英文を載せて描かれているので、発表の雰囲気をつえやすくなっている。</p> <p>④・巻末に「CAN-DOチェック」が付いており、できるようになったことを3段階の自己評価と記述式の自己評価をすることができる。</p> <p>・海外の生活や文化、海外での日本の取組、世界で活躍している日本人を紹介するページがあり、世界と日本を近く感じることができる。</p>
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・活動内容に関する説明や指示が細かく書かれている。</p> <p>・英語での単元表記の下に日本語での単元のゴールも書かれている。(6年 p.7)</p> <p>・英語の文字の大きさは適度に大きく読みやすい。4線が工夫されており、小学生が書きやすいようになっている。また、なぞるときの書き順の方向が示されている。</p> <p>②・実際の外国の人や建物等の写真や動画が多く、外国の文化や違いに触れさせやすい。</p> <p>・巻末の付録に絵カード、コミュニケーションカードがある。</p> <p>・2年間使用のMy Picture Dictionaryがある。自分で調べたマイ単語も記入できる。</p>	<p>①・活動内容に関する説明・指示が端的に書かれている。</p> <p>・英語での単元表記の下に日本語での単元のゴールも書かれている。(6年 p.14)</p> <p>・英語の文字は太く印字され見やすい。(6年 p.17)</p> <p>②・巻末の付録に絵カード、英語すごろくがある。</p> <p>・付録のページとして、アルファベット表、ローマ字表、学習した表現のまとめがある。</p> <p>・Word Bookが5年用、6年用と2冊ある。</p>
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・My Picture DictionaryのMapの資料では、情報が多く地域ごとに色分けされて分かりやすいため、使いやすくなっている。</p> <p>・挿絵の色が落ち着いた色合いになっていて、集中力が保てる。</p> <p>②・図版の大きさと位置が見やすくなっている。</p>	<p>①・挿絵・図表・統計資料・写真は、場に応じて考えるためのヒントになる。</p> <p>・挿絵、写真の比率もよく、外国の様子や文化を想像することができる。</p> <p>②・冊子自体の大きさが使いやすくなっている。</p>
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p> <p>【外国語学習者用デジタル教科書】</p> <p>②学びを促進するための音声・動画コンテンツや授業中に効果的に活用できるコンテンツが充実しているか。</p> <p>③必要な部分を大きくしたり映像や音声に簡単にアクセスしたりする学習の効率化・充実化が図れるか</p>	<p>①・ストーリー性のある話の構成で、続きが知りたくなったり学習したくなったりする内容である。</p> <p>・ペア活動で聞き取った内容や英文を書き込める欄が多くあり、学習の足跡が残せる。ノートにもなる。</p> <p>・巻末のカードが切り取れる。イラストが実写的で、実際に写真を使ったカードもあり興味を引く。</p> <p>②・アニメ動画や実写動画が充実しており、特に「Watch & Think」では国ごとに人物が登場し、例えばクリケットの紹介では、オーストラリアで実際に町の人々がクリケットをしている動画も付け加えられており、理解しやすい。(6年 p.7)</p> <p>・My Picture Dictionaryでは、基本の単語と、マイ単語や新しい単語カードをイラストと文字で作成する機能があり、子どもの希望に合った単語カードを作ることができる。</p> <p>・デジタルを用いたデジタルワークシートを用いて活動できるように工夫されている。(6年 p.7)</p> <p>③・二次元コードは7ページごとに載っている。それに加えて、活動ごとに問題の横に再生ボタンがあり、すぐにその活動の動画や音声を再生できるようにもなっており便利である。</p>	<p>①・5年の最初に3・4年の学習を振り返るページがあり、イラストを手掛かりに思い出せる。</p> <p>・単元の最初の映像がアニメーションになっており、ゴールへの見通しがもてる内容になっている。</p> <p>・1単元の中で4技能の活動と様々なゲームがリズムよく配置されており、飽きさせない工夫がある。</p> <p>・問題にある写真や絵の一つ一つに英語が書かれていることが多く、単語や表現を確認できる。</p> <p>・世界遺産や世界の標識、朝ごはんを紹介するページがあり、実際に行ってみたいという気持ちにさせる。</p> <p>②・チャンツや歌はナチュラルスピードで、速度を4段階で選べるようになっており、自分に合ったものを使えるようになっている。</p> <p>・「Activity3」は見本動画(実写)があり、分かりやすい。(6年 p.21)</p> <p>・アニメ画像では、登場人物が一人ずつ話すように工夫されており、場面の状況をつかみやすい。</p> <p>③・2ページごとに右上に二次元コードがあり、単元ごとに目次があり、活動が分かりやすく整理され、選べるようになっている。</p>
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみが有り、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・「日本探検」に九州編があり、親しみをもてる。(5年 p.69)</p> <p>・地域の良さや自慢を紹介する活動を通して、自分の地域についての学習を生かすことができる単元がある。(5年 p.72)</p> <p>・文を指で追いながら聞く活動が仕込まれている。(6年 p.10)</p>	<p>①・Story Timeで日本各地のことが紹介されている中に大分県の紹介も含まれている。(5年 p.105)</p> <p>・自分たちの「町のすてきなところ」を伝え合う活動を通して、自分の地域についての学習を生かすことができる単元がある。(5年 Lesson7)</p>
<p>備考</p>		

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (外国語)

報告者 部長：河野 准一郎

副部長：八坂 博美

発行者番号	1 5	1 7
発行者名	三省堂	教育出版
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・大単元（Unit）3つで構成され、学期ごとにHop（思いえがく）－Step（出会う、慣れ親しむ、伝え合う）－Jump（表現する）の段階がある。</p> <p>・Step（Lesson）は、語句や表現が使われる場面や状況を示した1枚絵のパノラマで導入している。</p> <p>・5年は、「自己紹介をしよう」「あこがれの人を紹介しよう」「おすすめの場所を紹介しよう」の3単元で構成されている。</p> <p>・6年は、「地域のことを伝えよう」「思い出を伝えよう」「将来の夢を伝えよう」の3単元で構成されている。</p> <p>・アニメーションで導入し音声中心に慣れ親しむ、練習活動で口慣らしをし、最後にMini Goalとして短時間のコミュニケーション活動を設定しているため、子どもが達成感を得られやすい。</p> <p>・各Partは見開き構成で、1ページを1単位時間とし、知識・技能の指導場面としてPartのめあてを明示している。</p> <p>②・身近な場面が設定されているため、子どもが英語表現を使う場面に入っていくやすい。</p> <p>・単元の最初のページでは、10個程度の文字があり、言語活動でそのまま使うことができる。場面を通して、表現や語彙に出会い、それらを使って表現していくことで身に付けられるようになっている。</p> <p>・語句や表現をインプットし、「聞く」「話す」を中心とした言語活動が繰り返されることで基本的な表現を定着できる。</p> <p>③・「Let's try」の活動では実写動画があり、話すスピードが適切で内容も分かりやすく、子どもが参考にできる。単語の種類を変えるバージョンのビデオも選択できる。実際にパフォーマンスで使うカードも用意されている。</p> <p>④・ユニットの最初に自分の目標を立て（記述）、最後に振り返ることができる。</p> <p>・単元の最後の振り返りでは、「友だちがしていたことで、まねしたいことはありましたか。」と投げかけ、それを交流することで意欲を喚起できるようにしている。（6年 p. 11, p. 19）</p>	<p>①・見開きの場面で導入し、単元のめあてを明記している。</p> <p>・「映像を見て内容をとらえる - 口慣らしをする - 聞く - やり取りをする - 文を読む・書く - 総合的な発信活動 - 音声と文字の特徴を学ぶ - 活動や学んだことをふり返る」の流れで見通しがもちやすい。</p> <p>・学校生活にあったテーマで、友達とのコミュニケーションを通じて、やさしく無理のないインプットからアウトプットにつなげている。</p> <p>・教材の中に子どもが他教科で学んだことがある物語「お手紙」や「はしの上のおおかみ」を題材にした読み物があり、身近で話の内容を知っているものが使われている。（6年 p. 66）</p> <p>・Activity 1 から2にかけてレベルアップができるよう構成されており、やりとりが増えていくよう工夫されている。</p> <p>・各時間、見開き2ページを進めていくようになっている。</p> <p>②・分かりやすい豊富なインプットから無理なくアウトプットへつながる言語活動が設定されている。</p> <p>・単元の導入部分で見える映像は、学習内容をイメージできるような内容になっている。</p> <p>・Let's Listen では、いろいろな表現に慣れ親しむことができる。</p> <p>③・「Final Activity」に向け、活動が積み上げられていく。どんな方法で、何をを用いて発表すればよいかイラストで分かりやすく表現されていること、またモデル動画（実写）を通して具体的なイメージをつかみやすくされていることにより、子どもが理解しやすい。</p> <p>④・「Final Activity」で活用できるワークシートが付いており、英文だけでなく関連する絵を加えて表現できるようにしている。</p> <p>・My Book 作りを通して、2年間の学習のまとめができるように工夫されている。</p> <p>・活動用シールが付いており、貼り直しができる工夫もある。</p>
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・活動内容に関する説明・指示が端的に書かれている。</p> <p>・英語での単元表記の横に日本語での単元ゴールも書かれている。（6年 P. 11）</p> <p>・4線の幅を十分にとってあり、手書きフォントで親しみやすい。</p> <p>②・Hello, World! では、世界のことを知るための役立つ情報が載っている。（6年 P. 20, 21）</p> <p>・別冊のMy Dictionaryは2年間使用し、語句を調べたり、音声を聞いたりすることができる。</p> <p>・巻末に絵カードが豊富に付いている。</p> <p>・付録のページとして、「英語でこんなことできた!」「ローマ字表」がある。（6年 P. 110）</p>	<p>①・アルファベットが何度も使われ親しみがもてるように工夫されている。</p> <p>・単元名は、日本語表記がなく、英語のみで表記されている。（6年 p. 10）</p> <p>・活動内容に関する説明・指示が端的に書かれている。</p> <p>②・巻末の付録に、シール、絵カード、レッスンごとのワークシート、My Book がある。</p> <p>・付録のページとして、ローマ字表、ジングル、My Word Bank がある。</p>
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・識別しにくい配色を避けるとともに、形や記号、番号、説明文などの補助的な手がかりがあり配慮されている。</p> <p>・5領域を表すキャラクターのアイコンがあるため、どのような活動をするか分かりやすい。</p> <p>②・図版の大きさや位置が見やすくなっている。</p>	<p>①・識別しやすい配色の写真や挿絵であり、誰にとっても学習しやすいように配慮されている。</p> <p>・多くの写真やイラストから、外国の文化を感じ取ることができる。</p> <p>・Read and Act では、低学年で習った絵本の話がある。絵も見慣れていて親しみやすい。</p> <p>②・図版の大きさや位置が見やすいものになっていて、配慮されている。</p>
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p> <p>【外国語学習者用デジタル教科書】</p> <p>②学びを促進するための音声・動画コンテンツや授業中に効果的に活用できるコンテンツが充実しているか。</p> <p>③必要な部分を大きくしたり映像や音声に簡単にアクセスしたりする学習の効率化・充実化が図れるか</p>	<p>①・世界のスポーツや祭り、小学校等を紹介する文化を学ぶページがあり、他国についても調べてみたくなるような内容になっている。（6年 pp. 20-21）</p> <p>・巻末のカードでは自分のことについて書けるようになっており、学習後も外国人との交流会やいろいろな場面でも使える。</p> <p>・他の教科と連携した題材や活動（社会：日本の名所、家庭科：世界の食べ物、算数：円グラフ）がある。（6年 p. 97）</p> <p>②・イラストだけでなく、実写のモデル映像もあり、どのような活動をすればよいか見通しをもちやすい。</p> <p>・同じ言語活動でも違う（単語の）内容ならどうすればよいか分かるように、数種類のモデル映像も選べるようになっている。</p> <p>・授業で扱った単語を用いた「単語ゲーム」が設定されており、興味をもって繰り返し取り組みやすい。</p> <p>・活動とワークシート等が連携され、デジタルワークシートも充実している。</p> <p>③・2ページごとに右上に二次元コードが配置され、単元ごとに各活動の見出しが明記されているため、扱いやすい。</p>	<p>①・紙面構成が外国語活動と似ており、1ページの活動が1～2つで分かりやすい。</p> <p>・イラストや写真が豊富な日本や世界の「名所・名物マップ」が付いていて、見るだけでも楽しい。</p> <p>・物語のコーナーではやさしい英語を使用しており、読んだ後には楽しく演じることもできる。</p> <p>②・歌やチャンツでは字幕あり・なしを選択でき、その内容も短い英文で作られており、歌いやすく工夫されている。</p> <p>・特に「Words」では、単語を繰り返し言うだけでなく、チャンツ風にリズムよく、「単語、単語、I like 単語」のように英文も言えるように作られている。</p> <p>・会話モデル動画がアニメと実写の2つあり、場面の状況の理解に役立つよう工夫されている。（5年 p. 12）</p> <p>③・再生できる活動の見出しの右横に二次元コードがあり、迷わずにアクセスすることができる。</p> <p>・「学習者支援」のタブが見付けやすく、大きい文字や読み上げ機能が助けになる。</p>
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・5年「自分たちの地域でできることを考えて言う活動」や6年「地域の行事や施設・自然のことを伝え合う活動」等、自分の地域についての学習を生かすことができる単元がある。（5年 p. 88・6年 p. 27）</p> <p>・子どもたちが知っている話をStory Timeで紹介している。（6年 p. 107）</p> <p>・Try ではプログラミングやドルを使つての買い物の活動など子どもが興味をもちやすい題材を扱っている。（6年 p. 76）</p>	<p>①・先生が「行ってみたい都道府県」について書いた文に大分県が紹介されており、興味をもって取り組むことができる。（5年 p. 72）</p> <p>・各都道府県の名所・名物を英語で紹介しており、興味ももてる。その中で大分県も紹介されており親しみももてる。（5年 p. 66）</p>
<p>備考</p>		

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (外国語)

報告者 部長：河野 准一郎

副部長：八坂 博美

発行者番号	38	61
発行者名	光村図書出版	新興出版社啓林館
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・単元ゴールまでの流れが見える Unit 構成でパノラマイラストより始まり「聞く - 口慣らし - 話す - 書く」の段階で指導する構成となっている。</p> <p>・1単元は、Hop-Step-Jump で構成され、最後の Jump では、学習をまとめる活動や発表が行われるようになっている。</p> <p>・いくつかの単元が終了後、既習事項が使われた「世界の友だち」の映像を見る場を設け、復習できるよう構成している。</p> <p>・5年では自分のこと、身近な人のこと、地域のことを伝え合う活動になっている。</p> <p>・6年では日本のこと、世界のこと、将来のことを伝え合う活動になっている。</p> <p>・単元ゴール活動の後には観点別に振り返るコーナーが設けられており、自己評価ができる。</p> <p>②・単元の最初のページに最終 Goal があるだけでなく、Hop!、Step1、Step2、Jump と具体的に何をするか、何のためにするかが分かり、見通しをもつことができる。</p> <p>・Alphabet Time では、スモールステップで取り組める。</p> <p>・単元の最後には、次に生かせる振り返りができるようになっている。</p> <p>③・「Let's speak」「Let's speak and write」「Let's write」と評価の内容に合うような活動の場面や方法が明確に設定されている。イラストが工夫され、実写モデル映像もあり、子どもが活動をイメージしやすく工夫されている。また、話すときや聞くときに気を付けることがアドバイスされている。</p> <p>④・各ユニットの導入に小学生のキャラクターたちが繰り広げるストーリーアニメを設けてあり、5、6年を通して一貫している。登場人物を身近な存在として親しむことができる。</p> <p>・CAN-DOリストによる振り返りがある。</p>	<p>①・各 Unit の構成は Unit の扉で導入と学習の動機付け、Step1・2 でインプット活動+ミニアウトプット活動、Step3 でまとめの活動、Look Back や Did you know? で振り返りができるようになっている。</p> <p>・スモールステップで「分かった」「できた」を重ねる授業展開がされている。</p> <p>・各 Unit の配当時間は7時間となっている。各 Step は見開き2時間で余裕をもたせた配当になっている。</p> <p>②・Unit の GOAL に加えて、各 Step のめあてが記載され、見通しをもつことができる。</p> <p>・Step では、コミュニケーションに役立つ情報が紹介されていて、コミュニケーションをする際に参考になる。</p> <p>③・「Activity」でどんな活動をすればよいか、イラストやモデル写真が分かりやすく紙上に描かれている。また、実写モデル映像も、子どもが手本として真似しやすい内容やスピードであり、見通しをもちやすい。学級担任が同じ活動を実際に行う際にイメージしやすくできている。</p> <p>④・学習事項の振り返りは、単元末に Look Back でチェック評価と記述評価と2種類ある。しかも、記述内容が「実際のどんな場面で使いたいか」を書くようになっており、実際の場面での活用につながる工夫がある。</p> <p>・各 Unit で異文化に関する内容を取り上げ、同様の情報についてもっと知りたいという意欲がわくような工夫がある。</p> <p>・他教科との関連が示されており、教科横断的な学習を通して知識と融合することを図りながら視野を広げることができる。</p> <p>・外国と日本の違いや英語と日本語の違い、外来語について取り上げており、身近な話題に興味をもてる。</p>
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・単元名は日本語がなく英語のみで表記されている。(6年 p.14)</p> <p>・活動内容に関する説明や指示が端的に書かれている。</p> <p>②・巻末の付録に All About Me が付いており、学習の成果が一覧できるシートになっている。</p> <p>・絵辞典を別冊として挟み込んであり、本体から脱着可能である。</p> <p>・付録のページでは、CAN-DOリストやアルファベット、おすすめの絵本やローマ字表がある。</p>	<p>①・単元名は、英語のみで表記されている。(6年 p.14)</p> <p>②・巻末の付録に豊富な絵カードが付いている。</p> <p>・付録のページには Story、Word List や Can-Do List、へボン式ローマ字表が付いている。</p> <p>・Word List は巻末に付いている。</p> <p>・Did you know? プラスのコーナーでは SDG s に関する外国の文化や取組を紹介している。(6年 pp.48-49)</p>
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・識別しやすい配色の写真や挿絵であり、誰にとっても学習しやすいように配慮されている。</p> <p>・CAN-DOリストでは、領域ごとに色を変えていて、先の見通しがもちやすい。</p> <p>・多くの写真やイラストから、外国の文化を感じ取ることができる。</p> <p>②・図版の大きさや位置が見やすいものになっていて、配慮されている。</p>	<p>①・単元の最初の人物をクイズ形式で探す活動では、A4サイズのイラストで、楽しみながら導入ができる。</p> <p>②・冊子自体が子どもにとって扱いやすい大きさである。</p> <p>・図版の位置が見やすい位置になっている。</p>
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p> <p>【外国語学習者用デジタル教科書】</p> <p>②学びを促進するための音声・動画コンテンツや授業中に効果的に活用できるコンテンツが充実しているか。</p> <p>③必要な部分を大きくしたり映像や音声に簡単にアクセスしたりする学習の効率化・充実化が図れるか</p>	<p>①・Small Talk は最後はキャラクターから問いかけられる形で終わっており、会話が自然に展開できる。</p> <p>・世界の同年代の子どものインタビューでは、映像も現地撮影で食べ物や名所の紹介が興味を引く。</p> <p>②・歌やチャンツ、「Story」の話を9段階のスピードに調節して、好みの速さを選んで聞くことができる。</p> <p>・歌やチャンツでは、イラストは一枚で2～3文の英文が書かれており、歌っている部分に色が表示される仕掛けが設定されている。</p> <p>・聞こえてきた話の順に、カードの並べ替えをすることができ、学習に参加しやすく確認もしやすい。</p> <p>③・二次元コードが見開きページの右上に一つあり、開くと各項目に順に音声や動画を再生できるようになっている。</p> <p>・先生や友達と1分トークを行うコーナーでは、やり取りの前に映像を観ることができ会話をイメージしやすくなっている。</p>	<p>①・単元最初のアニメーション映像がユーモアを交えたものになっており、子どもになじみやすい。</p> <p>・1ページの活動内容が1～2つなのでじっくり取り組みやすい。</p> <p>・文化紹介のコーナー (Did you know?) では世界の学校で学ぶことや誕生日にすること等が映像付きで紹介されている。使われている表現や英語には中学校レベルのものもあるが日本語字幕が付いているので、理解ができる。また、実際に海外に行つて体験してみたい気持ちにさせる。</p> <p>②・英語の音声聞き取りやすい発音と適切なスピードで話されている。</p> <p>・チャンツや歌もあるが、3つの英文を順に追う形である。イラストが点滅することで理解の助けとなっている。</p> <p>・「Friends」では、世界に住む子どもたちが自分の地域を紹介する内容で、実写となっており興味深く学ぶことができる。(6年 p.20)</p> <p>③・二次元コードが工夫して配置されており、子どもにとって問題等に合わせてすぐに音声や動画を再生しやすくなっている。</p>
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・各学年に Let's start があり、4つの大切「スマイル」「アイコンタクト」「クリアボイス」「レスポンス」が、大分市が長年大切にしてきたコミュニケーションの方法と同じなので、取り組みやすい。</p> <p>・世界12か国で暮らす本物の小学生の映像から、多様な文化や価値観に触れられるようになっている。(6年 p.20)</p>	<p>①・日本の魅力を紹介する単元で、大分県別府市の温泉や温泉の蒸気熱を活用した料理の紹介が載っている。(6年 p.24)</p> <p>・子どもたちが知っているお話(お手紙・はらぺこあおむしなど)の紹介が載っている。(6年 p.81)</p> <p>・文構造を学ぶことへのギャップを埋めるために文をたくさん書く活動を取り入れている。(6年 p.21)</p>
<p>備考</p>		

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (道 徳)

報告者 部長：大久保 敬

副部長：栗田 薫

発行者番号 発行者名	2 東京書籍	17 教育出版
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・学習指導要領及び子どもの能力等に応じた単元・題材の構成、取り上げ方になっている。</p> <p>・いじめ防止に直接関わる「いじめ（いじめの防止）」「いのち（生命尊重）」「じぶん（自己肯定感）」の3つのユニットに扉ページを設けるなど、重要項目として位置付けている。</p> <p>・「自分の心を見つめる」低学年、「道徳的価値の理解を深める」中学年、「現代社会と向き合う」高学年と、発達の段階を意識した教材構成となっている。</p> <p>・目標を達成するため、「道徳的判断力・心情」の育成をねらう内容の教材の次に、「実践意欲・態度」の育成をねらう内容の教材が構成されているなど、内容項目の発展性を考慮した展開になっている。</p> <p>・教材の題名の前に、道徳的価値を端的な言葉で示している。全教材の題名の下に「絵を見ながら朗読を聞く」・「書き込みができるワークシート」を利用するための二次元コードがある。また、教材の最後に、自分を振り返り、問題を自分事として捉えるための書き込みの欄のページが一部ある。学習意欲の喚起につながる導入動画を設置した教材がある。</p> <p>・学んだことを、他教科の学習とつなげたり、普段の生活に広げたりできるよう、「つながる・広がる（6年, pp.132-133）」として提示されている。</p> <p>・巻末の「学習の記録」を利用して、学びの振り返りができる。</p> <p>②・学習指導要領の4つの視点をイメージしたマークを、学習のテーマとともに示している。また、全ての教材に二次元コードが用意されており、充実した資料が活用できる。</p> <p>③・巻末に、自分の考えをもったり友達の考えと比べたりするためのツールがイラスト入りで紹介されている。（6年, p.192）</p> <p>・展開の中で教材のねらいに迫る中心発問、終末の段階で深める発問の設定がある。</p> <p>④・巻頭の「どんな学びをするのかな？」において、1時間の授業の見通しがもてるよう、学び方や話合いの進め方について示している。導入教材で、「気づく・考える・広げる・深める」という学び方や話合い活動の仕方についてイラストで示している。（6年, pp.6-7）また、セリフだけで進んでいく教材では、アニメの動画として教材を理解することができるといった、興味・関心を喚起するための工夫がある。（二次元コード）（6年, pp.60-61）</p>	<p>①・学習指導要領及び子どもの能力等に応じた単元・題材の構成、取り上げ方になっている。</p> <p>・今日的課題である「いじめ問題」と「情報モラル」については、全学年で特に大切にしているテーマとしてユニット化し、効果が高まるように工夫されている。高学年では、「SNSいじめ」、「情報と向き合う」など子どもの発達の段階に応じた内容項目の重点化が図られている。（6年, pp.47-49）</p> <p>・導入場面で主題に関わる問題意識をもたせたり、教材の内容に興味・関心をもたせたりすることで、学習への意欲を高め、目的意識をもって学習に取り組めるようにしている。</p> <p>・各教材に学びの手引きが位置付けられている。巻末には振り返りのページを設け、心の成長をみとることができる。</p> <p>・全ての教材ごとに3つの観点の「自己評価欄」が設けられており、授業で学んだことを記録することができる。</p> <p>②・学習指導要領の4つの視点を色分けしたマークを示している。また、「まなびリンク」として二次元コードが用意され、あらすじや登場人物についての情報を見ることができるようになっている。</p> <p>③・教材文をもとにして考える発問が示された「考えよう」の1項目として、「やってみよう」が設定され、「体験的な学習（モラルスキルトレーニング、役割演技）」をすることで道徳的価値を深める活動が用意されている。</p> <p>・中心発問につなげる補助発問、展開の中で教材のねらいに迫る中心発問、終末の段階で深める発問の設定がある。</p> <p>④・1時間の授業の見通しがもてるよう、巻頭に「学びのガイダンス」が設定されている。「考えよう・深めよう・つなげよう」という学び方や、まなびリンクを使った学びの広げ方やタブレットの学習への生かし方についてイラストで示している。（6年, pp.4-7）</p> <p>・教材に応じて、授業の導入の例示がある。</p>
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・学年相応の文章表現である。難解語句については、話の最後に解説を設けている。</p> <p>・発達の段階に応じた文字の大きさである。少し太めのユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>②・二次元コードから、「朗読」「スライドショー」「デジタルノート」「学習記録シート」「思考ツール」「動画」「ウェブサイトリンク」がある。</p> <p>・巻末の教材名一覧とともに、防災・安全、キャリア教育、国際理解等の「関係するテーマ」や「他教科等との関連」を記載しており、教科等と横断的な指導の参考資料となっている。</p>	<p>①・学年相応の文章表現である。難解語句については、ページ下段に解説を設けている。</p> <p>・発達の段階に応じた文字の大きさである。ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>②・二次元コードから、教材の理解を助けたり学習を広げたりする資料を見ることができ、道徳の授業におけるタブレット端末の活用例がある。</p> <p>・巻末の学習教材一覧に、「他教科等との関連」について教科等が記載されており、教科等横断的な指導の参考となっている。また、SDGsの説明ページにつながる二次元コードとともに、「SDGsとの関連」について、SDGsの目標項目の番号が記載されており、教材の学習をより深められるようになっている。</p> <p>・巻末の資料として、学年に応じて、礼儀・マナー・SDGs・世界人権宣言などの掲載がある。</p>
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・教材への興味や理解が深まるよう、内容に応じた挿絵や写真が掲載されている。</p> <p>②・図版の大きさ、位置ともに適切である。</p> <p>・環境に配慮した再生紙、植物油インキ、カラーユニバーサルデザインを使用している。</p> <p>・本文用紙の軽量化を図り、紙面をしっかりと開くことができる。</p> <p>・各学年A B版1冊となっている。（別冊なし）</p>	<p>①・教材への興味や理解が深まるよう、内容に応じた挿絵や写真が掲載されている。</p> <p>②・図版の大きさ、位置ともに適切である。</p> <p>・環境に配慮した再生紙・植物油インキを使用し、表紙には抗菌加工を施している。</p> <p>・ページ数を抑え、用紙を軽量化し、製本には長時間の使用に耐えられる堅牢なつくりになっている。</p> <p>・各学年A B版1冊となっている。（別冊なし）</p>
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p> <p>②生命の尊重や多様性などを題材とした教材</p> <p>③体験活動や日常生活を振り返る教材</p> <p>④今日的な課題（情報モラル・SDGs等）に関わる教材</p> <p>⑤学級や学校生活の課題について考える教材</p>	<p>①・子どもの発達の段階に即した、ねらいを達成するのにふさわしい教材である。</p> <p>②・各学年3つずつ「生命の尊さ」について考える教材がある。（6年, p.68「たった一つの命だから」）</p> <p>・どの学年にも多様性について考える教材がある。（国際理解 6年, p.86「ともにくらすわたしたち」）</p> <p>③・各学年に役割演技や動作化などの体験的活動を取り上げた教材がある。（6年, p.123「ピアノの音が」）</p> <p>・他教科等の学習活動や地域や家庭での活動を意識したコラム「つながる・広がる」がある。（6年, p.167「世界で活躍する日本人たち」）</p> <p>④・どの学年にも「情報モラル（6年, p.60）」「SDGs（6年, p.167「世界で活やくする日本人」）」を題材とした教材がある。</p> <p>⑤・どの学年にも「いじめ問題（6年, p.42）」に関わる内容の教材がある。</p> <p>・1, 2年は2つの教材を組み合わせ、3～6年は2つの教材とコラム「つながる・広がる」を組み合わせ、いじめの防止について多角的に考えを深めている。</p>	<p>①・子どもの発達の段階に即した、ねらいを達成するのにふさわしい教材である。</p> <p>②・3年に3つ、3年以外の学年は2つずつ「生命の尊さ」について考える教材がある。（6年, p.126「その思いを受けついで」）</p> <p>・1, 2年の「生命の尊さ」はユニット化されている。</p> <p>・どの学年にも多様性について考える教材がある。5, 6年は「人と人が認め合う世界」について考える教材をユニット化している。（6年, p.92「みんなが幸せに暮らせる社会へ」）</p> <p>③・役割演技や動作化などの体験的活動を取り上げた教材が多数ある。</p> <p>・「道徳的行為に関する体験的な学習」を行うため、「モラルスキルトレーニング」が全学年に位置付けられている。（6年, p.18「だまって借りてもいいのかな」）</p> <p>④・どの学年にも「情報モラル（6年, p.47「個人の権利って？」）」「SDGs（6年, p.70「ちょっとの可能性」）」を題材とした教材があり、ユニット化されている。</p> <p>⑤・どの学年にも「いじめ問題」に関わる内容の教材があり、ユニット化されている。（6年, p.28「友達だからこそ」）</p>
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・中津市の「青の洞門」（6年, pp.156-161）の題材が取り上げられている。</p> <p>・歴史的人物、俳優、音楽家など多方面から先人を取り上げている。</p> <p>・どの学年にも「情報モラル」と「いじめ問題」を扱った教材がある。</p>	<p>①・ねらいを達成するのにふさわしく、子どもが興味・関心をもてる題材がある。</p> <p>・歴史やスポーツ選手、医学者など様々な分野で活躍した先人を取り上げている。</p> <p>・どの学年にも「情報モラル」と「いじめ問題」を扱った教材がある。</p>
<p>備考</p>		

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (道 徳)

報告者 部長：大久保 敬

副部長：栗田 薫

発行者番号	3 8	1 1 6
発行者名	光村図書出版	日本文教出版
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・学習指導要領及び子どもの能力等に応じた単元・題材の構成、取り上げ方になっている。</p> <p>・「いじめ問題」「情報モラル」の2つのテーマについて、教材とコラムを組み合わせるなど、重点項目として位置付けられている。</p> <p>・何を学ぶのかをはっきりと意識できるよう、学びのめあてを太字で示し、それに沿った発問が用意されている。</p> <p>・導入場面において、キャラクターが登場して投げかけをすることにより、子どもが無理なく学習に入れるように工夫している。</p> <p>・各教材に設けられた手引き「つなげよう」の中で、キャラクターの呼びかけによって、道徳での学びが次の行動につながるようにしている。</p> <p>・巻末の「学びの記録」を活用して、自分の学びの変化や成長を振り返ることができるようにしている。</p> <p>②・学習指導要領の4つの視点をイメージしたマークを、学習のテーマとともに示している。</p> <p>③・「学びの道具箱」が設定され、思考ツールの使い方やインタビュー対話の仕方など、考えを深めるための方法を示している。（6年，pp.204-205）</p> <p>・教材の最後には、「考えるヒント」としてその教材の内容項目について考えをもつのに適した思考ツールが示されているページがある。（6年，pp.47-51）</p> <p>・展開の中で教材のねらいに迫る中心発問、終末の段階で深める発問の設定がある。</p> <p>・発問によっては、発問箇所を示すためにページ数の記載がある。</p> <p>④・巻頭のオリエンテーションで、授業のイメージをもたせるとともに、思考ツールの使い方や話し合いの進め方、まとめ方などが、詳しく例示されている。</p> <p>・教材に応じて、授業の導入の例示がある。</p> <p>・教材に入る前に、「学びの準備」として内容に興味・関心をもたせるページがある。（6年，p.80）</p>	<p>①・学習指導要領及び子どもの能力等に応じた単元・題材の構成、取り上げ方になっている。</p> <p>・「いじめ防止」を重要なテーマと捉え、複数の教材を組み合わせた「人との関わり」としてユニット化し、重点項目として位置付けている。</p> <p>・導入場面で主題に関わる問題意識をもたせたり、教材の内容に興味・関心をもたせたりすることで、学習への意欲を高め、目的意識をもって学習に取り組めるようにしている。</p> <p>・題名の下に、「朗読・ワークシート・道具箱（心情メーター・思考ツール・ワークシート）」をウェブサイトで見ることができるための二次元コードがある。</p> <p>・自己肯定感を高めることをねらいとし、知識を深めたり、考えたりできるコラム「心のベンチ」が設定されている。（6年，pp.40-41）</p> <p>・別冊「道徳ノート」を活用して、自らを振り返り、自身の変容や成長を確認できるようにしている。</p> <p>②・各教材に学習指導要領の4つの視点がマークで示されているとともに、あらすじ、登場人物も示されている。</p> <p>③・道徳的価値の理解を深めるための手立てとして「ぐっと深める」を設定し、「問題解決的な学習」や「体験的な学習」「多様な実践活動を生かす学習」ができるようにしている。（6年，pp.30-31）</p> <p>・展開の中で教材のねらいに迫る中心発問、終末の段階で深める発問（テーマ発問）の設定がある。</p> <p>④・巻頭の「道徳のとびら」（6年，pp.2-3）では、イメージ図を用いて、どんなことを学ぶのかを示している。また、「道徳の学び方」（6年，pp.4-5）では、イラストや写真、動画でどのように考えを深めていけばよいかを示している。「気づく、考える・深める、見つめる・生かす」という学び方について写真やイラストで示している。さらに、「話し合ってみよう」、「動いてみよう」、「書いてみよう」という方法について、動画で具体的に学べる二次元コードがある。</p> <p>・教材に応じて、授業の導入の例示がある。</p>
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・学年相応の文章表現である。難解語句については、ページ左下に解説を設けている。</p> <p>・発達の段階に応じた文字の大きさである。本文には手書き文字と差異の生じない書体を使用し、目次や吹き出し等にはユニバーサルデザイン書体を使用し、2年までは少し太めの教科書体を使用している。</p> <p>②・二次元コードから「朗読音声」「資料画像」「資料動画」「思考ツール」などの資料を見ることができる教材がある。</p> <p>・巻末にSDGsに関連した日本各地の伝統文化や取組に関する資料が付いている。（6年，p.206）</p>	<p>①・学年相応の文章表現である。難解語句については、ページ下段に解説を設けている。</p> <p>・発達の段階に応じた文字の大きさである。少し太めのユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>②・二次元コードから「朗読音声」「画像」「動画」「メッセージ・アニメーション動画」「オリエンテーション動画」「思考ツール」「クイズ等アプリケーション」「ワークシート」などの資料を見ることができる教材がある。</p> <p>・そのページの内容がSDGsにおけるどの目標と関連しているのか考えるための資料がある。（6年，p.190）</p>
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・教材への興味や理解が深まるよう、内容に応じた挿絵や写真が掲載されている。</p> <p>②・図版の大きさ、位置ともに適切である。</p> <p>・環境に配慮した再生紙・植物インキを使用している。</p> <p>・B5版（A4版より横が約3cm狭い）を10mm横に広げたサイズを使用している。</p> <p>・各学年A4版1冊となっている。（別冊なし）</p>	<p>①・教材への興味や理解が深まるよう、内容に応じた挿絵や写真が掲載されている。</p> <p>②・図版の大きさ、位置ともに適切である。</p> <p>・環境に配慮した再生紙・植物インキを使用している。</p> <p>・A4版を使用し、挿絵を大きくしている。</p> <p>・各学年A4版1冊となっている。（別冊あり：「道徳ノート」子どもの道徳性の成長を見取り、学習状況を継続的に把握でき、指導と評価の参考になる。）</p>
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p> <p>②生命の尊重や多様性などを題材とした教材</p> <p>③体験活動や日常生活を振り返る教材</p> <p>④今日的な課題（情報モラル・SDGs等）に関わる教材</p> <p>⑤学級や学校生活の課題について考える教材</p>	<p>①・子どもの発達の段階に即した、ねらいを達成するのにふさわしい教材である。</p> <p>②・各学年3つずつ「生命の尊さ」について考える教材がある。（6年，p.70「命の旅」）</p> <p>・どの学年にも多様性について考える教材がある。（6年，p.152「エルトゥールル号一友好の始まり」）</p> <p>③・各学年に役割演技や動作化などの体験活動を取り上げた教材が多数ある。（6年，p.38「心を通わそう」）</p> <p>④・どの学年にも「情報モラル（6年，p.87「気に入らなかった写真」）」「SDGs（6年，p.76「よりよい世界をめざして」）」を題材とした教材がある。</p> <p>・3年以上でインターネットを扱った教材がある。</p> <p>⑤・どの学年にも、ユニット「いじめをゆるさない心（6年，p.47「この胸の痛みを」）」や、コラムを設けて重点的に指導できるような教材が配置されている。（6年，p.52「コラム『隣の人』として寄りそう」）</p>	<p>①・子どもの発達の段階に即した、ねらいを達成するのにふさわしい教材である。</p> <p>②・1～4年は3つずつ、5，6年は2つずつ「生命の尊さ」について考える教材がある。（6年，p.18「命のアサガオ」）</p> <p>・どの学年にも多様性について考える教材がある。（6年，p.26「心づかいと思いやり」）</p> <p>③・各学年に役割演技や動作化などの体験的活動を取り上げた教材がある。</p> <p>・体験活動を取り上げたページ数が多い。</p> <p>・コラム「心のベンチ」が各学年に5箇所配置されている。学習した道徳的価値をより深く思考し、多面的・多角的な見方・考え方をつかっけて他教科の教育活動につなぐことができる。</p> <p>④・どの学年にも「情報モラル（6年，p.36「カスミと携帯電話」）」「SDGs（6年，p.32「緑の闘士 - ワンガリ・マータイ - ））」を題材とした教材がある。</p> <p>⑤・どの学年にも「いじめ問題」に関わる内容の教材がある。（6年，p.142「わたしのせいじゃない」）</p>
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どもにとって親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・付録「日本の『伝統工芸』」（6年，p.207）に、別府の竹細工が掲載されている。</p> <p>・学者や折り紙作家、スポーツ選手など、多岐にわたり国内外の先人を取り上げている。</p> <p>・どの学年にも「情報モラル」と「いじめ問題」を扱った教材がある。</p>	<p>①・中津市の「青の洞門」（6年，pp.126-131）の題材が取り上げられている。</p> <p>・昆虫学者、医者、俳人などの先人を取り上げている。</p> <p>・どの学年にも「いじめ防止」は重要項目として扱っている。</p>
<p>備考</p>		

令和6年度使用小学校用教科書 調査研究報告書

種目 (道 徳)

報告者 部長：大久保 敬

副部長：栗田 薫

発行者番号	208	224
発行者名	光文書院	Gakken
<p>1 単元・題材等の構成及び内容の取扱い</p> <p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を効果的に構成して、単元・題材等が設定されているか</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得が図られるよう工夫がなされているか</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む観点から、対話的、協働的な学びの場が設定できるなど、学習（言語活動等）が充実し、深い学びにつなげることができているか</p> <p>④主体的に学びに向かう力を育むために、興味・関心を喚起するよう工夫がなされているか</p>	<p>①・学習指導要領及び子どもの能力等に応じた単元・題材の構成、取り上げ方になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ」「いのち」「共生」については、これからの時代を生きていく子ども自身の問題として捉えられるよう、重要な課題として、全学年で位置付けられている。 ・導入場面で主題に関わる問題意識をもたせたり、教材の内容に興味・関心をもたせたりすることで、学習への意欲を高め、目的意識をもって学習に取り組めるようにしている。 ・一人一人が自らの学習を振り返る手立ての一つとして、巻末に「学びの足あと」（自己評価シート）が用意されている。 ・展開の中で教材のねらいに迫る中心発問、終末の段階でまとめる発問を提示し、授業の始めと終わりでの考えの変容が実感できるように設定されている。 ・学んだことが、他教科・領域や家庭生活、地域社会へとつながるような課題やポイントを、「ひろげよう」として提示している。 <p>②・各教材にマークで表された学習指導要領の4つの視点と、主題名、導入の課題が提示されている。</p> <p>③・「問いを見つけよう・考えよう・ひろげよう・つなげよう・まとめよう・ふりかえろう」という学び方についてイラストを用いて具体的に示している。また、「いろいろなやり方で考えてみよう」のページでは、様々な思考ツールについて紹介され、「話し合ってみよう」のページでは対話ツールについて紹介されている。さらに「まとめよう・ふりかえろう」のページでは、考えや分かったことをまとめる方法について具体的に示している。（6年、pp.4-5）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなでやってみよう！（6年、p.30）」というページがあり、友達と思いを伝え合うための方法をイラストで示し、実際にやってみよう促すコーナーがある。実際にやってみた感想を書く欄もある。（6年、p.31） <p>④・巻頭のオリエンテーションで、1時間の授業の見通しをもたせるとともに、道徳の学習が、他教科の学習や学校行事、日常生活へとつながることを意識させている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材に応じて、授業の導入の例示がある。 ・副題の下には、学習に役立つ動画が見られる二次元コード付きの教材もある。（6年、p.32） 	<p>①・学習指導要領及び子どもの能力等に応じた単元・題材の構成、取り上げ方になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いのち」を最重要テーマとし、内容項目「生命の尊さ」は、全学年で3つの教材が取り上げられている。 ・連続した学びから考えを深められるように、一つのテーマのもと、内容項目が異なる2つの教材を連続で配置した、「いのち」「多様性」「キャリア」という3つのユニット教材が設定されている。 ・主題名を記載せず、子どもの問題意識を大切に構成になっている。 ・各資料に「考えよう」として、考えを深め、自己を見つめるきっかけとなる問いが提示されている。 ・巻末の「つなげよう 広げよう」を利用して、学習を振り返るとともに、子どもがこれからの自分をイメージできるようにしている。 <p>②・学習指導要領の4つの視点を色分けしたマークで示している。</p> <p>③・巻頭の「つながるわたし 広がるわたし」では、自分のことを書き込むスペースがある。（6年、pp.2-3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の最後には、「深めよう」のコーナーにおいて「つかもう・探そう・見つめよう（ふみ出そう）」のそれぞれの思考過程で問いかけがあり、考えを書きこむ欄もある。（6年、p.17） ・ところどころに「心のパスポート」というページがあり、他の教科等の学習や普段の生活につながる資料が取り入れられ、自分のことを書き込めるようになっている。（6年、p.83） ・重点的な内容の教材では、思考ツールを使って考えが書き込めるワークシートが、二次元コードを使用して見ることができる。 ・展開の中で教材のねらいに迫る中心発問、終末の段階で深める発問の設定がある。 <p>④・巻頭にイラストを使って学び方を示している。また、子どものいろいろな考えを引き出せるように、主題名を記載しないようにしている。</p>
<p>2 文章表現・資料等</p> <p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等に配慮がなされているか</p> <p>②子どもの自主的、自発的な学習を促すために、指導者にとっても資料・手引き等が有効に使われるものとなっているか</p>	<p>①・学年相応の文章表現である。難解語句については、ページ下段に解説を設けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達の段階に応じた文字の大きさである。少し太めのユニバーサルデザインフォントを使用している。 <p>②・二次元コードから「資料画像」「メッセージ動画」「資料動画」「ウェブサイトリンク」等の資料を見ることができる教材がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間35時間分（1年は34時間）の教材に加え、5本の選択教材が用意されていることで、学校の重点目標や学級の実態、家庭・地域の願いに応じて柔軟性をもった授業が展開できる。 ・学習する教材がSDGsにどのように関連しているか、例を挙げ、豊かな未来のためにできることを紹介する「みんなでつくる『わたしたちの未来』」という資料が付いている。（6年、p.164） 	<p>①・学年相応の文章表現である。難解語句については、ページ下段に解説を設けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達の段階に応じた文字の大きさである。教科書体文字を使用している。 <p>②・巻末の教材と主題名とともに、二次元コードの紹介があり、教材の理解の補助となる「音声」「画像」「資料動画」「クイズ動画」「ワークシート」「思考ツール」「ウェブサイトリンク」などの資料を見ることができる。</p>
<p>3 挿絵・図表及び紙質・造本</p> <p>①内容に応じて、適切な挿絵・図表・統計資料・写真等が配置されているか</p> <p>②図版の大きさ、位置等に配慮がなされているか</p>	<p>①・教材への興味や理解が深まるよう、内容に応じた挿絵や写真が掲載されている。</p> <p>②・図版の大きさ、位置ともに適切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した再生紙を使用している。 ・AB版、カラーユニバーサルデザインを使用し、軽量化されている。 ・各学年AB版1冊となっている。（別冊なし） 	<p>①・本文と挿絵の配置など、読みやすさに配慮した紙面構成になっている。</p> <p>②・図版の大きさ、位置ともに適切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生紙、カラーユニバーサルデザインを使用し、AB版の紙面になっている。 ・各学年AB版1冊となっている。（別冊なし）
<p>4 教科独自の特色や長所</p> <p>①学習内容が子どもにとって分かりやすく、学んでみたいと思う工夫がなされているか</p> <p>②生命の尊重や多様性などを題材とした教材</p> <p>③体験活動や日常生活を振り返る教材</p> <p>④今日的な課題（情報モラル・SDGs等）に関わる教材</p> <p>⑤学級や学校生活の課題について考える教材</p>	<p>①・子どもの発達の段階に即した、ねらいを達成するのにふさわしい教材である。</p> <p>②・各学年に3～4つずつ「命の尊さ」について考える教材がある。（6年、p.136「生命のメッセージ」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年には、高崎山自然公園の両手が不自由なサルの子の姿を取り上げた教材がある。 ・どの学年にも多様性について考える教材がある。（6年、p.54「ピンクのバッグ」） <p>③・各学年に役割演技や動作化などの体験的活動を取り上げた教材がある。（6年、p.30「ナイスリターン」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなでやってみよう」という体験活動を取り上げた教材がある。 <p>④・どの学年にも「情報モラル（6年、p.48「スマホや携帯電話の使用時間）」「SDGs（6年、p.130「地球があぶない）」を題材とした教材やコラムがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンの利用については、1年から取り扱うようになっている。 ・全学年にレジリエンスコラムを設け、子どもが自身の「立ち直る心の力」について考えることができる。（6年、p.88） <p>④・どの学年にも「いじめ問題」に関わって、友達や思いやりについて考える教材がある。（6年、p.50「森川君のうわさ」）</p>	<p>①・子どもの発達の段階に即した、ねらいを達成するのにふさわしい教材である。</p> <p>②・各学年3つずつ「命の尊さ」について考える教材がある。（6年、p.94「命を見つめて」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの学年にも「いのちユニット」「多様性ユニット」「キャリアユニット」があり、よりよく生きることについて多面的・多角的に考えを深めることができる。 <p>③・全学年に役割演技や動作化など体験的活動を取り上げた教材がバランスよくある。（6年、p.88「初めてのアンカー」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こころのパスポート（6年、p.83「いざというときの備えを考えよう）」があり、自分につなげて考えたり、体験したり、話題を広げたりすることができる。 <p>④・どの学年にも「情報モラル（3年、p.130「家のパソコンで）」（6年、p.116「会話のゆくえん）」「SDGs（6年、p.12「チョモランマ清掃登山隊）」を題材とした教材がある。</p> <p>⑤・どの学年にも、友達との関わりを考え、いじめ防止につながる教材がある。（6年、p.18「友達だからこそなやむこと」）</p>
<p>5 大分市の子どもの実態</p> <p>①大分市の子どものために親しみがあり、興味をもてる題材が扱われているか</p>	<p>①・大分市の高崎山自然動物園「さるのおかあさん・サヤカ」（1年、pp.144-148）、姫島村の国選択無形民俗文化財「姫島の盆踊り」「キツネおどり」（3年、pp.60-63）、宇佐市の院内町の石橋「ねがいをつみ上げた石橋」（4年、pp.36-39）、中津市の「青の洞門」（6年、pp.108-113）の題材が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年「シンボルマークにこめられたものは」（5年、P.51）では、日本各地の県のマークの紹介の中に、大分県のマークが掲載されている。 ・世界で活躍する人物、スポーツ選手、偉人などの先人を取り上げている。 ・どの学年にも「情報モラル」と「いじめ問題」を扱った教材がある。 	<p>①・中津市の「青の洞門」（6年、pp.44-49）の題材が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昆虫学者、オリンピック選手、偉人などの先人を取り上げている。 ・どの学年にも「情報モラル」と「いじめ問題」を扱った教材がある。
<p>備考</p>		